

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



## 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

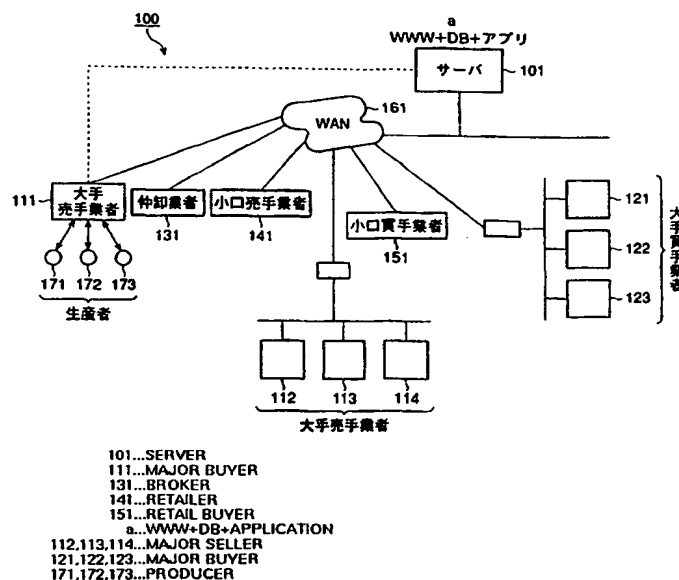
(51) 国際特許分類 G06F 17/60		A1	(11) 国際公開番号 WO99/30259
		(43) 国際公開日 1999年6月17日(17.06.99)	
(21) 国際出願番号 PCT/JP98/05522		(72) 発明者；および (75) 発明者／出願人（米国についてののみ） 竹熊俊哉(TAKEKUMA, Toshiya)[JP/JP] 村中正信(MURANAKA, Masanobu)[JP/JP] 中牟田哲也(NAKAMUTA, Tetsuya)[JP/JP] 斎藤優子(SAITO, Yuko)[JP/JP] 〒100-8071 東京都千代田区大手町2丁目6番3号 新日本製鐵株式会社内 Tokyo, (JP) 柴崎太喜一(SHIBAZAKI, Takikazu)[JP/JP] 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目29番10号 Tokyo, (JP)	
(22) 国際出願日 1998年12月7日(07.12.98)		(74) 代理人 弁理士 國分孝悦(KOKUBUN, Takayoshi) 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目17番8号 池袋TGホームストビル5階 Tokyo, (JP)	
(30) 優先権データ 特願平9/337541 1997年12月8日(08.12.97) JP 特願平9/337542 1997年12月8日(08.12.97) JP 特願平9/337543 1997年12月8日(08.12.97) JP 特願平9/337544 1997年12月8日(08.12.97) JP 特願平9/337545 1997年12月8日(08.12.97) JP 特願平10/196529 1998年6月26日(26.06.98) JP 特願平10/196530 1998年6月26日(26.06.98) JP 特願平10/323118 1998年11月13日(13.11.98) JP 特願平10/337416 1998年11月27日(27.11.98) JP		(81) 指定国 CN, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE).	
(71) 出願人（米国を除くすべての指定国について） 新日本製鐵株式会社 (NIPPON STEEL CORPORATION)[JP/JP] 〒100-8071 東京都千代田区大手町2丁目6番3号 Tokyo, (JP)		添付公開書類 国際調査報告書	

(54) Title: COMMODITY EXCHANGING APPARATUS, COMMODITY EXCHANGING SYSTEM, COMMODITY EXCHANGING METHOD AND STORAGE MEDIUM

(54) 発明の名称 商品取引装置、商品取引システム、商品取引方法、及び記憶媒体

(57) Abstract

Terminals on the buyer side and the seller side intercommunicate with a host to execute a processing of cross trading by subscription based on purchase information issued on the buyer side, a processing of cross trading by subscription based on selling information issued on the seller side, and a processing of trading where a plurality of pieces of purchase information is collated with a plurality of pieces selling information and commitments are made one by one in order of agreement. Since the generally called future delivery trading can be made on a network, both the buyer side and the seller side can make a selling plan or a purchasing plan without going to a wholesale market and can make a transaction of commodity by using their own terminals. The buyer side and the seller side can be provided with more chance than ever and can make commodity exchange more efficiently.



(57)要約

買手側及び売手側の各端末装置がホストと相互通信することで、買手側が発する購入情報に基づく予約相対取引の処理と、売手側が発する販売情報に基づく予約相対取引の処理と、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理とを実行可能とする。このように、所謂先渡取引をネットワーク上で可能にしたことで、買手側及び売手側は共に、卸売市場に出向く必要はなく、商品の販売計画や調達計画を立てることができ、自端末装置にて商品の売買取引を行うことができる。したがって、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側に与えることができるようになり、従来にない効率的な商品取引を行うことができる。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AE アラブ首長国連邦	ES スペイン	LI リヒテンシュタイン	SG シンガポール
AL アルバニア	FI フィンランド	LK スリ・ランカ	SI スロヴェニア
AM アルメニア	FR フランス	LR リベリア	SK スロヴァキア
AT オーストリア	GA ガボン	LS レソト	SL シエラ・レオネ
AU オーストラリア	GB 英国	LT リトアニア	SN セネガル
AZ アゼルバイジャン	GD グレナダ	LU ルクセンブルグ	SZ スワジランド
BA ボスニア・ヘルツェゴビナ	GE グルジア	LV ラトヴィア	TD チャード
BB バルバドス	GH ガーナ	MC モナコ	TG トーゴ
BE ベルギー	GM ガンビア	MD モルドヴァ	TJ タジキスタン
BF ブルキナ・ファソ	GN ギニア	MG マダガスカル	TM トルクメニスタン
BG ブルガリア	GW ギニア・ビサウ	MK マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TR トルコ
BJ ベナン	GR ギリシャ	共和国	TT トリニダード・トバゴ
BR ブラジル	HR クロアチア	マリ	UA ウクライナ
BY ベラルーシ	HU ハンガリー	ML モンゴル	UG ウガンダ
CA カナダ	ID インドネシア	MN モンゴリア	US 米国
CF 中央アフリカ	IE アイルランド	MR モーリタニア	UZ ウズベキスタン
CG コンゴ	IL イスラエル	MW マラウイ	VN ヴェトナム
CH スイス	IN インド	MX メキシコ	YU ユーゴスラビア
CI コートジボアール	IS アイスランド	NE ニジェール	ZA 南アフリカ共和国
CM カメルーン	IT イタリア	NL オランダ	ZW ジンバブエ
CN 中国	JP 日本	NO ノールウェー	
CU キューバ	KE ケニア	NZ ニュー・ジーランド	
CY キプロス	KG キルギスタン	PL ポーランド	
CZ チェッコ	KP 北朝鮮	PT ポルトガル	
DE ドイツ	KR 韓国	RO ルーマニア	
DK デンマーク	KZ カザフスタン	RU ロシア	
EE エストニア	LC セントルシア	SD スーダン	
		SE スウェーデン	



## 明 細 書

商品取引装置、商品取引システム、商品取引方法、及び記憶媒体

## 5 技術分野

本発明は、例えば、花卉や青果物等のライフサイクルの短い生鮮商品や、有効期限のあるチケット等のサービス商品、使用日時が限れた航空チケットのように、ある期間が過ぎてしまうと商品価値がなくなる或いは減少する各種商品の売買取引に用いられる商品取引装置、商品取引システム、及び該取引を行うための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体に関するものである。

## 背景技術

例えば、生花の売り買いの取引は、卸売市場で行われる。すなわち、買手業者は、現場に出向き、売手業者が実際に販売している現物を観察し、どのような生花がいくらで販売されているか等を把握する。そして、希望する生花が販売されていた場合には、その売手と価格等を含めた取引を行う。このようにして、買手業者は、希望する生花を調達する。

また、買手業者が希望する生花を調達するための取引以外にも、例えば、競りにおける商品価格をスライドさせるために、買手業者が競り以前に予め商品（現品）を引き取る”先取り”と呼ばれる取引も行われる。或いは、緊急に生花が必要であった場合（葬儀等）の緊急取引に対応するために、売手業者が入荷された商品から予め特定分を取り除いておく”引荷”も行われる。したがって、実際に入荷された生花に対して、買手がついたものや、先取りや引荷等の分を除いた残分（販売残商品）が、競りにかけられることになる。

しかしながら、従来では、上述したような生花等の商品の売買取引をシステム化したものはなかった。このため、商品の売買取引の流通が複雑化し、次に述べるような（１）～（８）の問題点があった。

(1) 買手業者は、希望する商品を得るために、決まった時間に現場（卸売市場や卸売会社等）に実際に出向いて行く必要がある。このとき、希望する商品が販売されていればよいが、販売されていない場合には無駄になってしまう。特に、生花等のような商品は、気象や災害等の自然条件の影響を受けやすいものであるため、予定のものが予定通りに販売されない場合が多々ある。したがって、買手業者にとっては、商品を調達する機会が限られており、場当たりの仕入れとなる場合が多く、調達計画を立てることができない。

(2) 売手業者は、卸売市場で商品の販売を行うが、その商品に買手がつくか、どのくらいの量を裁ききれるか等を事前に知ることができず、販売計画を立てることができない。また、裁ききれなかった商品（以下、「販売残商品」又は「現品」とも言う）については、その他の販売手段に頼ることになる。例えば、その販売残商品から引荷分を除いた商品を更に販売し、その販売の結果、残った分を競りにかける、という取引を行う。しかしながら、引荷や競りを考慮して、このような販売残商品の取引を行うことは、非常に販売計画が立てにくい。特に、販売対象が上述したような生花のように、ある期間が過ぎてしまうと品質が低下してしまう商品である場合、入荷、販売、先取りや引荷、競り準備、競り後の分荷によりダメージを受けやすい商品であるため、効率的な販売を行わないと大きなダメージを受ける可能性がある。また、そのダメージが大きい程、価格を下げる必要が出てくる。

(3) 買手業者は、複数種類の商品を大量に希望するが多いが、上述した通り、実際に現場（卸売市場）に出向いていかなければ、希望する商品が希望する数量分、どの売手業者により販売されているのか等を事前に知ることができない。このため、計画購入することができない。また、大量に商品を購入しようとすると、その卸売市場の需要が逼迫し、自分で価格をつり上げることになる。

(4) 売手業者は、上述した通り、販売計画を立てることができないため、生産者側も生産計画を立てることができない。

(5) 商品取引の際の価格決定は、電話やファックス等のやり取りで行われる

ため、価格決定するでに非常に長い時間がかかり、効率的ではない。特に、大量の商品の取引では、この問題は顕著である。

(6) 入荷された商品は、販売、先取りや引荷、競り等により裁かれるが、これらの行為は全て商品が実際に存在した上で、或いは、生産者からの出荷が確定した上でしか実際に裁くことができない。したがって、売手業者は、入荷、販売、先取りや出荷、競り等の各過程で裁ける商品を考慮して、販売計画を立てることができない。

(7) 売手業者は、商品が実際に入荷する前（出荷は確定しているが現品が存在していないとき）に、買手業者からの注文に応じて商品の取引を行う場合がある。この場合には、売手業者が買手業者からの電話やファックス等による注文を見ながら、その注文に対して商品の産地の出荷情報を引き当てていく、という作業が行われる。しかしながら、このような取引では、売手業者は単に仲介的な存在であり、商品の取引に生産者が直接関与して進められるものではない。すなわち、このような取引に限らず生産者は、商品の販売に関与することができないため、販売状況に沿った商品の生産計画を立てることができない。

(8) 上記(7)で述べたような、売手業者の商品の引き当て作業によっては、全ての買手業者に公平に注文商品がわたらず、ある特定の買手業者に偏ってしまう場合がある。

また、上述の(1)～(8)の問題点に加えて、次に述べるような”物流費”についての問題点もある。

具体的には、まず、工業製品の売買取引は、定常的に行われ、在庫からの出荷がなされるのが一般的である。このような商品については、商品の売買取引の成立により発生する出荷量や出荷日を、予め把握することができる。したがって、出荷の際の輸送（運搬）等の物流費についても、固定的に把握することができるため、輸送等のサービスを担う物流業者では、運搬先までの距離等に応じた一定の物流費が設定されている。また、工業製品以外の一般商品についても同様に、様々な売買取引の成立により発生する出荷量や出荷日を予め把握することができ

るため、物流業者では、売買取引により発生する物流費を予測し、実際には都度変動するコストを全体的に把握した上で、それをまかなえる料金としての物流費が一定に設定されている。

- これに対して、花卉（生花）や青果物等の商品、或いは取引がその都度行われるような商品については、上述の工業製品や一般商品とは異なり、定常的に売買取引が行われるものでなく、また、売買取引の成立により発生する出荷量や出荷日が常に変動するものである。例えば、生花等の商品は、上述した通り、気象や災害等の自然条件の影響を受けやすいものであるため、売手業者（生産地を含む）にて実際に出荷できる量を予め把握することは非常に困難である。また、ライフサイクルが短いことから、生産地にて採取した時点で、直ぐに出荷する必要がある。さらに、葬儀等のために緊急に生花が必要である等の理由により、ある買手業者からの注文があった場合にも、その買手業者まで、或いは最寄りの市場まで直ぐに運搬する必要がある。このように、生花や青果物等々の商品については、売買取引がいつ発生するか、それによりどのくらいの出荷量が発生するのか等を予測することが非常に困難であり、また、在庫からの出荷という概念がない。したがって、その物流費を固定にすることはできず、実際に出荷できる量によって物流費が都度変動することになる。

- また、各々の売手業者は、特定の物流業者と契約して、運搬先毎に、出荷量に応じてディスカウントするサービスが行われる場合もある。例えば、売手業者の所在地が愛知県とした場合、愛知県から東京までの物流費については、生花1箱から50箱までの物流費は1箱につき500円、生花50箱から100箱までであれば1箱につき400円、愛知県から北海道までの物流費については、生花1箱から50箱までの物流費は1箱につき700円、生花50箱から100箱までであれば1箱につき500円、というように設定される。このようなディスカウントの物流費についても、上述した出荷量及び出荷日の変動に伴って変動することになる。

したがって、花卉（生花）や青果物等の商品、或いは取引がその都度行われる

ような商品については、商品の物流費や、各売手業者での物流費のディスカウント率が常に変動するため、買手業者は、物流費を含めた購入総額がいくらになるのか、どの売手業者と取引するのが最適であるか等を予め考慮した取引を行うことができなかった。これは、単純に近い場所の売手業者と多く取り引きされてしまう等、買手業者と取り引きする売手業者が自然と特定されてしまい、商品の流通が偏ってしまう、という問題につながる。

そこで、本発明は、かかる実情に鑑み、計画的な商品の生産及び販売、及び計画的な商品の調達を可能とすることで、効率的な商品の売買取引を可能とする商品取引装置、商品取引システム、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

また、本発明は、計画的な商品の生産及び販売、及び計画的な商品の調達を可能とすることで、大量の商品の取引であっても、効率的な商品の売買取引を可能とする商品取引装置、商品取引システム、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

また、本発明は、計画的な商品の生産及び販売、及び計画的な商品の調達を、画面上で容易に且つ効率的に可能とすることで、商品の売買取引の効率を飛躍的に向上させることを可能とする商品取引装置、商品取引システム、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

また、本発明は、計画的な商品の生産及び販売、及び計画的な商品の調達を可能とすることで、大量な商品を競り等の現品販売を含む多様な手段で販売する場合であっても、効率的な商品の売買取引を可能とする商品取引装置、商品取引システム、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

また、本発明は、売手側及び買手側のみならず生産者も関与することが可能な商品の取引を効率的に行うことができ、特に、商品の計画的な販売やその管理に有効な商品取引装置、商品取引システム、商品取引方法、及びそれを実施するた

めの処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

また、本発明は、計画的な商品の販売及び計画的な商品の調達を画面上で容易に且つ効率的に可能とし、特に、異なる取引形態に関する情報を同一画面上に表示することを可能とすることで、商品の売買取引の効率を飛躍的に向上させた商品取引装置、商品取引システム、商品取引方法、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

また、本発明は、商品の物流費についての情報を電子的に参照可能とすることで、商品の流通の偏りを解消し、売買取引の活性化を図った商品取引装置、商品取引システム、商品取引方法、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

#### 発明の開示

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理手段と、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理手段と、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理手段とを備えることを特徴とする。

本発明の商品取引装置において、上記第3の取引手段は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を取引条件として特定する特定手段を備えるものとしてもよい。

また、上記第2の取引手段で発生した未成約商品の販売情報を、上記第3の取引手段での上記販売情報とする複写手段を更に備えるようにしてもよい。

また、各取引処理を実行するためのアイコン機能を有する表示手段を更に備え

るようにしてもよい。

また、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる或いは減少するものとしてもよい。

5 本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、本発明の商品取引装置であることを特徴とする。

1 0 本発明の商品取引システムは、複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、上記ホストは、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理機能と、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理機能と、複数の上記購入情報と  
1 5 複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理機能とを有することを特徴とする。

2 0 本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理ステップと、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理ステップと、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理ステップとを含むことを特徴とする。

2 5 上記の本発明によれば、所謂先渡取引をネットワーク上で可能にし、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側に与えることができるようになる。このため、従来にない効率的な商品取引を行うことができる。具体的には、商品の

売買の取引をシステム化して、買手側が発する注文情報（調達希望する商品の品目や種類、価格等）に基づく予約相対取引処理、売手側が発する販売情報（販売希望する商品の品目や種類、価格等）に基づく予約相対取引処理、及び複数の注文情報と複数の販売情報を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引処理を、端末装置の画面上で行えるようにした。また、買手側は、複数の

5 売手が発した販売情報に対して、それに含まれる情報のうち任意の情報を取引条件として特定できるようにした。例えば、品目を特定、或いは、品目と共に種類までを特定できるようにした。このような構成とすることで、少なくとも次のような効果が得られる。

1 0 （１）買手側は、卸売市場等に出向く必要がなく、自端末装置にて、希望する商品が販売されているか等を容易に把握することができ、希望する商品を容易に仕入れることができる。また、事前にこれを行うことができる。これにより、調達計画を立てることができる。

1 5 （２）売手側は、自端末装置にて、販売する商品に買手がつくか、どのくらいの量を販売できるか等を事前に把握することができる。これにより、販売計画を立てることができるため、無駄な商品の発生も抑えることができ、特に、ある期間を過ぎると価値が無くなる生花等においては、その商品の鮮度保持も可能となる。

2 0 （３）買手側は、自端末装置にて、大量の商品を希望する場合であっても、容易に品揃えすることができる。

（４）売手側は、販売計画を立てることができるため、生産者側もそれに従って、生産計画を立てることができる。

（５）商品の出荷前に売手側と買手側間でその商品を取引を行うことができる。

2 5 よって、本発明によれば、計画的な商品の生産及び販売を行うことができ、また、計画的な商品の調達も行うことができ、これにより、効率的な商品の売買取引を行うことができる。



本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから  
5 順次成約決定する取引の処理を行う取引処理手段を備え、上記取引処理手段は、上記複数の販売情報の処理順を所定条件に従って決定する第1の決定手段と、上記複数の購入情報の処理順を所定条件に従って決定する第2の決定手段とを含むことを特徴とする。

本発明の商品取引装置において、上記取引手段は、上記複数の販売情報の各々  
1 0 に含まれる商品に関する情報の任意の情報を取引条件として特定する特定手段を備えるものとしてもよい。

また、上記取引手段は、上記複数の販売情報を上記特定手段で特定された条件に従ってクラスタ化するクラスタ化手段と、上記クラスタ化手段で得られた各クラスタの各々に含まれる複数の販売情報の中でその処理順を所定条件に従って決  
1 5 定する第3の決定手段を含むものとしてもよい。

また、取引処理を実行するためのアイコン機能を有する表示手段を更に備えるようにしてもよい。

また、上記商品は、商品毎に想定される任意の期間経過後には価値がなくなる或いは減少するものとしてもよい。

2 0 本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、本発明の商品取引装置であることを特徴とする。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置とホストが相互通信することで  
2 5 、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づ

いて行われたユーザからの操作に従って情報を出し、上記ホストは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理機能を有し、上記取引処理機能は、上記複数の販売情報の処理順を所定条件に従って決定する第1の決定機能と、

- 5 上記複数の購入情報の処理順を所定条件に従って決定する第2の決定機能とを含むことを特徴とする。

本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う処理ステップを含み、上記処理ステップは、上記複数の販売情報の処理順を所定条件に従って決定する第1の決定ステップと、上記複数の購入情報の処理順を所定条件に従って決定する第2の決定ステップとを含むことを特徴とする。

- 1 0 上記の本発明によれば、所謂先渡し取引をネットワーク上で可能にし、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側に与えることができるようになるため、従来にない効率的な商品取引ができる。具体的には、商品の売買の取引をシステム化して、複数の購入情報（買手側が調達希望する商品の品目や種類、価格等）と複数の販売情報（売手側が販売希望する商品の品目や種類、価格等）を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引処理を、端末装置の画面上で行えるようにした。また、買手側は、複数の売手が発した販売情報に対して、それに含まれる情報のうち任意の情報を取引条件として特定できるようにした。例えば、品目を特定、或いは、品目と共に種類までを特定できるようにした。そして、購入情報と販売情報の成約決定の際には、複数の販売情報の処理順を
- 1 5 所定条件（予め決められた売手の優先順等）に従って決定し、その順に対象販売情報に紐付けられた複数の購入情報の処理順を所定条件（希望価格の高い順等）に従って決定して処理を進める。このとき、買手側が販売情報に対して任意の情
- 2 0
- 2 5

報を取引条件として特定した場合には、その特定された条件に従って、複数の販売情報をクラスタ化して、各クラスタに含まれる複数の販売情報の処理順を所定条件（下限価格の高い順等）に従って決定し、その順に対象販売情報に紐付けられた複数の購入情報の処理順を所定条件（希望価格の高い順等）に従って決定して処理を進める。このような構成とすることで、少なくとも次のような効果が得られる。

（１）買手側は、卸売市場等に出向く必要がなく、自端末装置にて、希望する商品が販売されているか等を容易に把握することができ、希望する商品を容易に仕入れることができる。また、事前にこれを行うことができる。これにより、調達計画を立てることができる。特に、例えば、花卉や青果物等のライフサイクルの短い生鮮商品や、有効期限のあるチケット等のサービス商品、使用日が限れた航空チケットのように、ある期間が過ぎてしまうと商品価値がなくなる或いは減少する各種商品の大量売買に対して有効である。

（２）売手側は、自端末装置にて、販売する商品に買手がつくか、どのくらいの量を販売できるか等を事前に把握することができる。これにより、販売計画を立てることができるため、無駄な商品の発生も抑えることができ、特に、ある期間を過ぎると価値が無くなる生花等においては、その商品の鮮度保持も可能となる。

（３）買手側は、自端末装置にて、大量の商品を希望する場合であっても、容易に品揃えすることができる。

（４）売手側は、販売計画を立てることができるため、生産者側もそれに従って、生産計画を立てることができる。

（５）商品の出荷前に売手側と買手側間でその商品を取引を行うことができる。

（６）従来電話やファックス等でのやり取りで行われていた商品の取引の際の価格決定を、短時間で非常に効率的に行うことができる。この効果は特に、大量の商品の取引では顕著である。

よって、本発明によれば、計画的な商品の生産及び販売を行うことができ、ま

た、計画的な商品の調達も行うことができ、これにより、大量の商品の取引であっても、効率的な商品の売買取引を行うことができる。

- 5 本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理手段を備え、上記取引処理手段は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として
- 1 0 特定する第1の特定手段と、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定手段と、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行手段とを含むことを特徴とする。

- 本発明の商品取引装置において、上記第1の取引条件を、上記第2の取引条件
- 1 5 より広範囲の条件としてもよい。

また、上記販売情報は、下限価格情報を含むものとしてもよい。

また、各取引処理を実行するためのアイコン機能を有する表示手段を更に備えるようにしてもよい。

- また、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる或いは
- 2 0 減少するものとしてもよい。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、本発明の商品取引装置であることを特徴とする。

- 2 5 本発明の商品取引システムは、複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記端末装置は

、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、上記ホストは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理機能を有し、上記取引処理機能は

5 5、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定機能と、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定機能と、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行機能とを含むことを特徴とする。

- 1 0 本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記処理ステップは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理ステップを含み、上記
- 1 5 取引処理ステップは、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定ステップと、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定ステップと、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行ステップとを含むことを特徴とする。
- 2 0

上記の本発明によれば、所謂先渡し取引をネットワーク上で可能にし、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側に与えることができるようになるため、従来にない効率的な商品取引ができる。具体的には、商品の売買の取引をシステム化して、複数の購入情報（買手側が調達希望する商品の品目や種類、価格

2 5 等）と複数の販売情報（売手側が販売希望する商品の品目や種類、価格等）を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引処理を、端末装置の画面上で行えるようにした。また、買手側は、複数の売手が発した販売情報に対し

て、それに含まれる情報のうち任意の情報を第1又は第2の取引条件として特定できるようにした。例えば、品目のみを第2の取引条件として特定（厳密な特定）、或いは、品目と共に種類までを第1の取引条件として特定（第2の特定条件よりも広範囲な特定）できるようにした。そして、第2の取引条件に従った取引

5 処理で未成約であった販売情報を、自動的に第1の取引条件に従った取引処理に移行し、再度その取引処理で処理できるようにした。このような構成とすることで、少なくとも次のような効果が得られる。

（1）買手側は、卸売市場等に出向く必要がなく、自端末装置にて、希望する商品が販売されているか等を容易に把握することができ、希望する商品を容易に仕

1 0 入れることができる。また、事前にこれを行うことができる。これにより、調達計画を立てることができる。

（2）売手側は、自端末装置にて、販売する商品に買手がつくか、どのくらいの量を販売できるか等を事前に把握することができる。これにより、販売計画を立てることができるため、無駄な商品の発生も抑えることができ、特に、ある期間

1 5 を過ぎると価値が無くなる生花等においては、その商品の鮮度保持も可能となる。

（3）買手側は、自端末装置にて、大量の商品を希望する場合であっても、容易に品揃えすることができる。

（4）売手側は、販売計画を立てることができるため、生産者側もそれに従って

2 0 、生産計画を立てることができる。

（5）商品の出荷前に売手側と買手側間でその商品を取引を行うことができる。

（6）希望する商品を厳密に条件付けた購入と、その条件範囲を広げた購入とを1度の操作で行うこともできる。これにより、成約率を向上させることができ、取引効率も飛躍的に向上させることができる。

2 5 よって、本発明によれば、計画的な商品の生産及び販売を行うことができ、また、計画的な商品の調達も行うことができ、これにより、効率的な商品の売買取引を行うことができる。

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも１つの端末装置であって、上記購入情報に基づく予約相対取引を行う第１の取引処理機能、上記販売情報に基づく予約相対取引を行う第２の取引処理機能、及び複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引を行う第３の取引処理機能の何れかを選択的に実行するための機能一覧表示部と、上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報を表示する情報表示部と、上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報から任意の情報を抽出する際の条件を入力する条件入力部とを含む画面を有することを特徴とする。

本発明の商品取引装置において、上記条件入力部を、少なくとも上記情報表示部の下部に設けるようにしてもよい。

また、各取引処理を実行するためのアイコン機能を有するようにしてもよい。

また、上記第３の取引処理機能は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を取引条件として特定する機能を含むものとしてもよい。

また、上記情報表示部の表示行数は、外部から設定可能であるようにしてもよい。

また、上記第１の取引処理機能実行時において、上記情報表示部は、上記購入情報の総数及び未成約総数を表示するものとしてもよい。

また、上記第２の取引処理機能実行時において、上記情報表示部は、上記販売情報の総数と未成約総数を表示するものとしてもよい。

また、上記第３の取引処理機能実行時において、上記情報表示部は、上記販売情報に含まれる商品の下限価格情報の表示を禁止するものとしてもよい。

また、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる或いは減少するものとしてもよい。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、本発明の商品取引装置であることを特徴とする。

- 5 本発明の商品取引システムは、複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記ホストは、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理機能と、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理機能と、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理機能とを有し、上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力するものであって、上記第1の取引処理機能、上記第2の取引処理機能、及び上記第3の取引処理機能の何れ
- 1 0 かを選択的に実行する機能一覧表示部と、上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報を表示する情報表示部と、上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報から任意の情報を抽出する際の条件を入力する条件入力部とを含む画面を有することを特徴とする。
- 1 5

- 本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための
- 2 0 販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、上記購入情報に基づく予約相対取引を行う第1の取引処理機能、上記販売情報に基づく予約相対取引を行う第2の取引処理機能、及び複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約
- 2 5 決定する取引を行う第3の取引処理機能の何れかを選択的に実行するための機能一覧表示部と、上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報を表示する情報表示部と、上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発



生する情報から任意の情報を抽出する際の条件を入力する条件入力部とを含む画面を表示するステップを含むことを特徴とする。

- 上記の本発明によれば、所謂先渡取引をネットワーク上で可能にし、今迄にない販売及び調達の手機を売手側及び買手側に与えることができるようになる。このため、従来にない効率的な商品取引を行うことができる。具体的には、商品の売買の取引をシステム化して、買手側が発する注文情報（調達希望する商品の品目や種類、価格等）に基づく予約相対取引処理、売手側が発する販売情報（販売希望する商品の品目や種類、価格等）に基づく予約相対取引処理、及び複数の注文情報と複数の販売情報を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引処理を、端末装置の画面上で行えるようにした。また、買手側は、複数の売手が発した販売情報に対して、それに含まれる情報のうち任意の情報を取引条件として特定できるようにした。例えば、品目を特定、或いは、品目と共に種類までを特定できるようにした。そして、このときの画面を、機能一覧表示部、情報表示部、及び条件入力部引処理の３部分で構成し、機能一覧表示部により、各取引処理から任意の取引処理を選択し実行できるようにし、情報表示部により、取引処理で発生した各種情報（注文情報や販売情報等）を参照できるようにし、条件入力部引処理により、取引処理で発生した各種情報から任意の情報を容易に抽出（検索）できるようにした。このような構成とすることで、少なくとも次のような効果が得られる。
- （１）買手側は、卸売市場等に出向く必要がなく、自端末装置にて、希望する商品が販売されているか等を容易に把握することができ、希望する商品を容易に仕入れることができる。また、事前にこれを行うことができる。これにより、調達計画を立てることができる。
- （２）売手側は、自端末装置にて、販売する商品に買手がつくか、どのくらいの量を販売できるか等を事前に把握することができる。これにより、販売計画を立てることができるため、無駄な商品の発生も抑えることができ、特に、ある期間を過ぎると価値が無くなる生花等においては、その商品の鮮度保持も可能となる

。

(3) 買手側は、自端末装置にて、大量の商品を希望する場合であっても、容易に品揃えすることができる。

(4) 売手側は、販売計画を立てることができるため、生産者側もそれに従って、  
5 生産計画を立てることができる。

(5) 商品の出荷前に売手側と買手側間でその商品を取引を行うことができる。  
また、必要な情報を参照或いは利用しながら、複数の取引を同時に行うこともできる。また、自分の得たい商品の情報を容易に抽出し、それを参照することができる。さらに、パーソナルコンピュータ等を利用することで、取引の効率を飛躍  
10 的に向上させることができる。

よって、本発明によれば、計画的な商品の生産及び販売を画面上で容易に効率的に行うことができ、また、計画的な商品の調達も画面上で容易に効率的に行うことができ、これにより、商品の売買取引の効率を飛躍的に向上させることができる。

15

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理手段と、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理手段と、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理手段と、上記第1～第3の取引処理手段の少なくとも何れかの実行で発生した販売残商品に対する取引の処理、或いは、上記第1～第3の取引処理手段によらない販売のための取引の処理を行う第4の取引  
20 処理手段とを備えることを特徴とする。

25

本発明の商品取引装置において、上記第4の取引処理手段は、上記第1～第3の取引処理手段による取引処理中或いは処理後に、上記販売残商品に対する緊急

取引処理を行う手段を含むものとしてもよい。

また、上記第 4 の取引処理手段は、上記第 1 ～第 3 の取引処理手段による取引処理或いは上記緊急取引処理の実行の前後或いは実行中に、特定される競りの対象商品の指定乃至管理を行う手段を含むものとしてもよい。

- 5      また、上記第 4 の取引処理手段は、上記第 1 及び第 2 の取引処理手段の実行で発生した販売残商品、又は、上記第 3 の取引処理手段の実行で発生した販売残商品に対する取引の処理を行うようにしてもよい。

また、上記第 3 の取引手段は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を取引条件として特定する特定手段を備えるものとしてもよい。

- 1 0      また、上記第 2 の取引手段で発生した未成約商品の販売情報を、上記第 3 の取引手段での上記販売情報とする複写手段を更に備えるようにしてもよい。

また、各取引処理を実行するためのアイコン機能を有する表示手段を更に備えるようにしてもよい。

- 1 5      また、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる、或いは、減少するものとしてもよい。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記複数の端末装置の少なくとも 1 つの端末装置は、本発明の商品取引装置であることを特徴とする。

- 2 0      本発明の商品取引システムは、複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、上記ホストは、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第 1 の取引処理機能と、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第 2 の取引処理機能と、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決
- 2 5

定する取引の処理を行う第 3 の取引処理機能と、上記第 1 ～第 3 の取引処理機能の少なくとも何れかの実行で発生した販売残商品に対する取引の処理、或いは、上記第 1 ～第 3 の取引処理機能によらない販売のための取引の処理を行う第 4 の取引処理機能とを有することを特徴とする。

- 5 本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第 1 の取引処理ステップと、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第 2 の取引処理ステップと、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第 3 の取引処理ステップと、上記第 1 ～第 3 の取引処理ステップの少なくとも何れかの実行で発生した販売残商品に対する取引の処理、或いは、上記第 1 ～第 3 の取引処理ステップによらない販売のための取引の処理を行う第 4 の取引処理ステップとを含むことを特徴とする。

- 上記の本発明によれば、所謂先渡取引をネットワーク上で可能にし、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側に与えることができるようになる。このため、従来にない効率的な商品取引を行うことができる。具体的には、商品の売買の取引をシステム化して、買手側が発する注文情報（調達希望する商品の品目や種類、価格等）に基づく予約相対取引処理、売手側が発する販売情報（販売希望する商品の品目や種類、価格等）に基づく予約相対取引処理、及び複数の注文情報と複数の販売情報を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引処理を、端末装置の画面上で行えるようにした。また、買手側は、複数の売手が発した販売情報に対して、それに含まれる情報のうち任意の情報を取引条件として特定できるようにした。例えば、品目を特定、或いは、品目と共に種類までを特定できるようにした。さらに、上記各取引処理の実行により発生した販売残商品の取引、或いは、先取りや引荷等の緊急のニーズに基づき発生した取引

(緊急取引)についても、端末装置の画面上で行えるようにした。このような構成とすることで、少なくとも次のような効果が得られる。

(1) 買手側は、卸売市場等に出向く必要がなく、自端末装置にて、希望する商品が販売されているか等を容易に把握することができ、希望する商品を容易に仕  
5 入れることができる。また、事前にこれを行うことができる。これにより、調達計画を立てることができる。

(2) 売手側は、自端末装置にて、販売する商品に買手がつくか、どのくらいの量を販売できるか等を事前に把握することができる。これにより、販売計画を立てることができるため、無駄な商品の発生も抑えることができ、特に、ある期間  
1 0 を過ぎると価値が無くなる生花等においては、その商品の鮮度保持も可能となる。また、大量の商品を多様な手段で販売することが可能となると共に、販売する商品の流れの一元管理が可能となり、大量の商品を効率的に販売する必要のある業者における業務効率を飛躍的に向上させることができる。例えば、各取引処理後に発生した販売残商品に対して引荷を行い、その引荷分を除いた商品から競り  
1 5 対象となる商品を事前に予測することもできる。これにより、全体の入荷量を把握しながら、引荷及び競り等を考慮した先渡し取引や現品取引等を効率的に行うことができる。

(3) 買手側は、自端末装置にて、大量の商品を希望する場合であっても、容易に品揃えすることができる。

2 0 (4) 売手側は、販売計画を立てることができるため、生産者側もそれに従って、生産計画を立てることができる。

(5) 商品の出荷前に売手側と買手側間でその商品を取引を行うことができる。

よって、本発明によれば、計画的な商品の生産及び販売を行うことができ、また、計画的な商品の調達も行うことができ、これにより、大量な商品を競り等の  
2 5 現品販売を含む多様な手段で販売する場合であっても、効率的な商品の売買取引を行うことができる。

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、確定した情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定後販売処理手段と、  
5 上記確定後販売処理手段の実行で発生した販売残商品の販売処理を行う現品販売処理手段とを備えることを特徴とする。

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、確定前の見込みの情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定前販売処理手段と、確定した情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定後販売処理手段と、上記確定前販売処理手段及び確定後販売処理手段の少なくとも何れかの実行で発生した販売残商品の販売処理を行う現品販売処理手段とを備えることを特徴とする。  
1 0

本発明の商品取引装置において、上記確定前販売処理手段は、上記見込みの情報に基づいた購入情報に対する予約相対取引の処理を行う第1の取引処理手段と、上記見込みの情報に基づいた販売情報に対する予約相対取引の処理を行う第2の取引処理手段とを含むものとしてもよい。  
1 5

また、上記確定後販売処理手段は、上記確定した情報に基づいた販売情報に対する予約相対取引の処理を行う第3の取引処理手段、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第4の取引処理手段、各取引処理中或いは処理後に上記販売残商品に対する緊急取引処理を行う第5の取引処理手段の少なくとも何れかを含むものとしてもよい。  
2 0

また、各取引処理を実行するためのアイコン機能を有する表示手段を更に備えるようにしてもよい。  
2 5

また、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる、或い

は、減少するものとしてもよい。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムであって、上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、本発明の商品  
5 取引装置であることを特徴とする。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、上記ホストは、確定した情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行うための確定後販売処理機能と、上記確定後販売処理機能の実行で発生した販売残商品の販売処理を行うための現品販売処理機能とを備えることを特徴とする。  
1 0

本発明の商品取引システムにおいて、上記ホストは、確定前の見込みの情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行うための確定前販売処理機能を更に備えるものとしてもよい。  
1 5

本発明の商品取引方法は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理を行う商品取引方法であって、確定した情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定後販売処理ステップと、上記確定後販売処理ステップの実行で発生した販売残商品の販売処理を行う現品販売処理ステップとを含むことを特徴とする。  
2 0

本発明の商品取引方法において、更に、確定前の見込みの情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定前販売処理ステップを含むようにしてもよい。  
2 5

本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引

処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、本発明の商品取引方法の処理ステップを含むことを特徴とする。

- 上記の本発明によれば、販売形態を変えた取引をネットワーク上で行うことができ、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側のみならず、商品を出荷する生産者にも与えることができるようになる。このため、従来にない効率的な商品取引、特に、効率的な販売を行うことができる。具体的には、見込み（予測）の販売量等の情報に基づいた取引により商品を販売する販売形態（確定前販売処理）、確定した販売量等の情報に基づいた取引により商品を販売すると共に引荷等の緊急取引を行う販売形態（確定後販売処理）、及び、これらの販売形態の実行の結果残った商品を競り等の対象にして現品販売する販売形態（現品販売処理）を端末装置上で実行可能とし、ある販売形態によって発生した結果が、そのときの環境の変化に伴って、その次の販売形態に反映するように構成した。このように構成したことにより、入荷から現品販売までの商品の取引をデータ上で効率的に行うことができる。特に、売手側は、販売する商品に買手がつくか、どのくらいの量を裁ききれるか等を事前に知ることができ、販売計画を立てることができる。また、引荷や先取り、販売、競り等を考慮して、商品の取引を計画し、入荷された商品全てを効率的に裁くことができる。さらには、販売対象が生花等のように、ある期間が過ぎてしまうと品質が低下してしまう商品であっても、商品がダメージを受ける前に、より高い単価で効率的に裁くこともできる。したがって、競り等の当該日の需要と供給等に併せた、効率的な販売活動及び販売管理を行うことができる。また、買手業者も、商品を調達する機会が増し、効率的な調達計画を立てることができる。さらに、売手業者と買手業者のみならず、商品を出荷する生産者も取引に関与することができる。また、買手業者にとっても売手業者にとっても公平な取引を行うことができ、取引の違う環境下（商品の情報の確定毎の違う各環境下）での商流管理を効率良く行うことができる。

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のた



めの販売情報及び購入情報に基づいて、少なくとも第 1 の取引処理及び第 2 の取引処理を画面上にて実行することで、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも 1 つの端末装置であって、上記第 1 の取引処理に関する情報を表示する第 1 の取引情報表示部と、上記第 2 の取引処理に関する情報を表示する第 2 の取引情報表示部とを含む画面を有することを特徴とする。

本発明の商品取引装置において、上記第 1 の取引情報表示部は、上記第 1 の取引処理によって自端末装置で発生した上記販売情報又は購入情報、及び該情報に対する他の端末装置で発生した情報を表示し、上記第 2 の取引情報表示部は、上記第 2 の取引処理によって他の端末装置で発生した上記購入情報又は販売情報を表示するものとしてもよい。

また、上記第 1 の取引処理及び第 2 の取引処理の何れか一方は、上記購入情報に基づく予約相対取引を行う処理であり、他方の取引処理は、上記販売情報に基づく予約相対取引を行う処理としてもよい。

また、上記第 1 の取引処理及び第 2 の取引処理の何れか一方は、上記購入情報に基づく予約相対取引を行う処理であり、他方の取引処理は、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引を行う処理としてもよい。

また、上記端末装置の画面は、上記第 1 の取引処理及び第 2 の取引処理の実行により発生する情報から、上記第 1 の取引情報表示部及び第 2 の取引情報表示部に表示する情報を抽出する際の条件を入力する条件入力部を更に含むものとしてもよい。

また、各処理を実行するためのアイコン機能を有するようにしてもよい。

また、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる或いは減少するものとしてもよい。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システム

であって、上記複数の端末装置の少なくとも１つの端末装置は、本発明の商品取引装置であることを特徴とする。

5 本発明の商品取引システムは、複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記ホストは、第１の取引処理を行う第１の取引処理機能と、第２の取引処理を行う第２の取引処理機能との少なくとも２つの取引処理機能を有し、上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力するものであって、上記第１の取引処理  
1 0 に関する情報を表示する第１の取引情報表示部と、上記第２の取引処理に関する情報を表示する第２の取引情報表示部とを含む画面を有することを特徴とする。

本発明の商品取引システムにおいて、上記第１の取引情報表示部は、上記第１の取引処理によって自端末装置で発生した上記販売情報又は購入情報、及び該情報に対する他の端末装置で発生した情報を表示し、上記第２の取引情報表示部は、  
1 5 、上記第２の取引処理によって他の端末装置で発生した上記購入情報又は販売情報を表示するものとしてもよい。

本発明の商品取引方法は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、少なくとも第１の取引処理及び第２の取引処理を画面上にて実行することで、商品の売買の成約を決定するための取引処  
2 0 理を行う商品取引方法であって、上記第１の取引処理に関する情報と、上記第２の取引処理に関する情報とを同一画面上に表示するステップを含むことを特徴とする。

本発明の商品取引方法において、上記第１の取引情報に関する情報は、上記第１の取引処理によって自端末装置で発生した上記販売情報又は購入情報、及び該  
2 5 情報に対する他の端末装置で発生した情報であり、上記第２の取引情報に関する情報は、上記第２の取引処理によって他の端末装置で発生した上記購入情報又は販売情報としてもよい。

本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、少なくとも第1の取引処理及び第2の取引処理を画面上にて実行することで、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、本発明の商品取引方法の処理ステップを含むことを特徴とする。

上記の本発明によれば、各々が異なる取引形態を有する各取引処理に関する情報を同一画面上で同時に参照しながら、それらの取引処理の実行による商品の取引（所謂先渡し取引等）をネットワーク上で可能にし、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側に与えることができるようになる。このため、従来にない効率的な商品取引を行うことができる。具体的には、例えば、買手側は、購入希望する商品についての購入情報を入力することで、その購入情報及びそれに対して売手側が出した応募情報等を含む情報（第1の取引処理の実行により発生した情報）と、売手側が出した販売希望する商品についての販売情報のうち購入希望する商品に該当する販売情報（第2の取引処理の実行により発生した情報）

とを、同一画面上にて同時に参照しながら、異なる2つの取引処理の実行により、購入希望する商品の取引を可能にした。また、売手側は、販売希望する商品についての販売情報を入力することで、その販売情報及びそれに対して買手側が出した購入登録情報等を含む情報（第2の取引処理の実行により発生した情報）と、買手側が出した購入希望する商品についての購入情報のうち販売希望する商品に該当する購入情報（第1の取引処理の実行により発生した情報）とを、同一画面上にて同時に参照しながら、異なる2つの取引処理の実行により、販売希望する商品の取引を可能にした。このような構成とすることで、少なくとも次のような効果が得られる。

（1）買手業者は、卸売市場等に出向く必要がなく、自端末装置にて、購入希望する商品が販売されているか、また、自分が購入希望（注文）した商品に対して売手側から応募があったか等を容易に把握することができ、購入希望する商品を容易に且つ確実に仕入れることができる。また、調達計画を立てて、事前にこれ

を行うこともできる。また、買手側は、自端末装置にて、大量の商品を希望する場合であっても、容易に且つ確実に品揃えすることができる。

- (2) 売手業者は、自端末装置にて、販売する商品に買手がつくか、どのくらいの量を販売できるか、また、販売する商品に該当するものを買手側が希望しているか等を容易に把握することができ、販売希望する商品を容易に且つ確実に販売することができる。また、販売計画を立てて、事前にこれを行うこともできる。さらに、無駄な商品の発生も抑えることができ、特に、ある期間を過ぎると価値が無くなる生花等においては、その商品の鮮度保持も可能となる。

- (3) 商品の出荷前に売手側と買手側間でその商品の取引を行うことができる。
- 1 0 また、複数の取引処理に必要な情報を参照或いは利用しながら、それらの取引処理による取引を同時に行うこともできる。さらに、自分の得たい商品の情報を容易に抽出し、それを参照することができる。さらにまた、パーソナルコンピュータ等を利用することで、取引の効率を飛躍的に向上させることができる。

- 1 5 本発明の商品取引方法は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための商品取引方法であって、上記複数の購入情報から、該購入情報に含まれる購入条件に従った集合を形成し、上記複数の販売情報から、上記購入条件に従った集合を形成し、上記購入情報の集合と、それに対応する上記販売情報の集合
- 2 0 との間で、各々の集合に含まれる購入情報と販売情報を紐付けて上記売買の成約を決定する処理ステップを含むことを特徴とする。

本発明の商品取引方法において、上記購入条件は、買手側から任意に指定される条件を含むものとしてもよい。

- また、上記処理ステップは、上記購入情報の集合に含まれる購入情報に対して
- 2 5 、上記紐付け処理を行う順序を所定の条件に従って決定するステップを更に含むようにしてもよい。

また、上記所定の条件は、上記購入情報に含まれる購入条件の抽象度に基づく

条件を含むようにしてもよい。

本発明の商品取引方法は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための商品取引方法であって、上記複数の購入情報に対して、上記売買の成約を決定するための処理順を所定の条件に従って決定し、上記複数の販売情報から、上記処理順に従った処理対象購入情報に含まれる購入条件に従った集合を形成し、上記対象購入情報と、上記販売情報の集合に含まれる販売情報との間で、購入情報と販売情報を紐付けて上記売買の成約を決定する処理ステップを含むことを特徴とする。

- 1 0 本発明の商品取引方法は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための商品取引方法であって、上記複数の販売情報に対して、上記売買の成約を決定するための処理順を所定の条件に従って決定し、上記複数の購入情報から、上記処理順に従った処理対象販売情報に含まれる販売条件に従った集合を形成し、上記対象販売情報と、上記購入情報の集合に含まれる購入情報との間で、販売情報と購入情報を紐付けて上記売買の成約を決定する処理ステップを含むことを特徴とする。

本発明の商品取引方法において、上記所定の条件は、上記購入情報に含まれる購入希望価格が高い順を含むものとしてもよい。

- 2 0 また、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる、或いは、減少するものとしてもよい。

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定する商品取引装置であって、上記複数の購入情報から、該購入情報に含まれる購入条件に従った集合を形成する第1の集合形成手段と、上記複数の販売情報から、上記購入条件に従った集合を形成する第2の集合形成手段と、上記第1の集合形成手段にて形成された集合と、それに対応する上記第2の集合形成手段にて形成

された集合との間で、購入情報と販売情報を紐付けて上記売買の成約を決定する取引決定手段とを備えることを特徴とする。

本発明の商品取引装置において、上記第1の集合形成手段にて形成された集合に含まれる購入情報に対して、上記取引決定手段にて紐付け処理を行う順序を所定の条件に従って決定する処理順決定手段を更に備えるようにしてもよい。

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定する商品取引装置であって、上記複数の購入情報に対して、上記売買の成約を決定するための処理順を所定の条件に従って決定する処理順決定手段と、上記複数の販売情報から、上記処理順決定手段により決定された処理順に従った対象購入情報に含まれる購入条件に従った集合を形成する集合形成手段と、上記対象購入情報と、上記集合形成手段にて形成された集合に含まれる販売情報との間で、購入情報と販売情報を紐付けて上記売買の成約を決定する取引決定手段とを備えることを特徴とする。

本発明の商品取引装置において、上記所定の条件は、上記購入情報に含まれる購入希望価格が高い順を含むものとしてもよい。

また、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる、或いは、減少するものとしてもよい。

本発明の商品取引システムは、商品の売買取引のための販売情報を出力する複数の端末装置と、商品の売買取引のための購入情報を出力する複数の端末装置と、各々の端末装置から出力される複数の販売情報及び購入情報に基づいて商品の売買の成約を決定するホストとが接続されてなる商品取引システムであって、上記ホストは、本発明の商品取引装置の機能を有することを特徴とする。

本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記処理ステップは、本発明の商品取引方法の処理ステップを含むことを特徴とする。

上記の本発明では、例えば、複数の買手側から出力される複数の購入情報から、購入条件（商品の「種類」や「色」等の属性）に従った集合（クラスタ）を形成する（クラスタリング処理）。この購入条件は、市場運営者（仲介業者）より

- 5 予め設定されたり、或いは買手側が任意に設定する。一方、複数の売手側から出力される複数の販売情報についても、上記の購入条件に従った集合を形成する。これにより、購入条件毎に、購入情報の集合と販売情報の集合が形成される。そして、同じ購入条件の購入情報の集合と販売情報の集合の間で、購入情報と販売情報の紐付けを行う。このとき、購入情報の集合を構成する購入情報の中で所定の条件（購入希望価格が高い順等）に従って決定された順序で、上記の紐付けを行うようにしてもよい。また、複数の買手側から出力される複数の購入情報において、販売情報との紐付けを行う順序を、所定の条件（購入希望価格が高い順等）に従って決定する。この順序に従った処理対象の購入情報に含まれる予め設定された購入条件（商品の「種類」や「色」等の属性）に従って、複数の売手側から出力される複数の販売情報から集合（クラスタ）を形成する。これにより、処理対象購入情報の購入条件に対応した販売情報の集合が形成される。そして、この販売情報の集合を構成する販売情報の中で、処理対象購入情報の紐付けを行う。或いは、複数の売手側から出力される複数の販売情報において、購入情報との紐付けを行う順序を、所定の条件（販売希望価格が高い順或いは低い順等）に従って決定する。この順序に従った処理対象の販売情報に含まれる予め設定された
- 1 0 販売条件（商品の「種類」や「色」等の属性）に従って、複数の買手側から出力される複数の購入情報から集合（クラスタ）を形成する。これにより、処理対象販売情報の販売条件に対応した購入情報の集合が形成される。そして、この購入情報の集合を構成する購入情報の中で、処理対象販売情報の紐付けを行う。

- よって、本発明によれば、多様な売買要求に従ったかたちで、複数の購入情報
- 2 5 と複数の販売情報の紐付けを行うことができ、短時間に効率的に取引成立の割合を高めることができる。

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて売買取引の成立を決定するシステムを管理する装置であって、上記売買取引の成立により発生する売手側と買手側間の物流ルートに基づいた物流費の情報を予め記憶する記憶手段と、上記売買取引が行われるときに、その対象となる売手側と買手側間の物流ルートに対応した物流費情報を上記記憶手段から取得して出力する出力手段とを備えることを特徴とする。

本発明の商品取引装置において、上記出力手段は、上記買手側が自端末装置により上記販売情報を用いての商品購入を行うときに、上記買手側と上記販売情報を出力した売手側間の物流ルートに対応した物流費情報を、上記買手側の端末装置に対して出力するものとしてもよい。

また、上記出力手段は、上記販売情報及び上記物流費情報から上記買手側の購入総額或いは購入総額と物流費を個別に算出して出力するものとしてもよい。

また、上記記憶手段は、上記物流費情報を、上記売手側の所在地と上記買手側の所在地の組み合わせにより発生する複数パターンの物流ルートに基づいて記憶するものとしてもよい。

また、上記物流費情報は、取引量に基づいた物流費のディスカウント情報を含むものとしてもよい。

本発明の商品取引装置は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて売買取引の成立を決定するシステムにおける、上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、上記売買取引の成立により発生する売手側と買手側間の物流ルートに基づいた物流費の情報を、上記売買取引での取引先に応じて表示する表示手段を備えることを特徴とする。

本発明の商品取引装置において、上記表示手段は、上記販売情報を用いての商品購入が行われるときに、上記物流費情報を上記販売情報を出力した売手側に応じて表示するものとしてもよい。

また、上記表示手段は、上記販売情報及び上記物流費情報から得られた購入総額或いは購入総額と物流費を個別に表示するものとしてもよい。



また、上記表示手段は、自側の所在地と複数の上記取引先の所在地の組み合わせにより発生する複数パターンの物流ルートに基づいた物流費情報のうち、上記売買取引での取引先に対応した物流情報を表示するものとしてもよい。

また、上記物流費情報は、取引量に基づいた物流費のディスカウント情報を含むものとしてもよい。

また、上記表示手段は、各取引処理を実行するためのアイコン機能を有するものとしてもよい。

また、上記商品は、生鮮品を含むものとしてもよい。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買取引の成立を決定するシステムであって、本発明の商品取引装置を含むことを特徴とする。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買取引の成立を決定するシステムであって、上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、本発明の商品取引装置であることを特徴とする。

本発明の商品取引システムは、複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報から商品の売買取引の成立を決定する商品取引システムであって、上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、上記ホストは、上記売買取引の成立により発生する売手側と買手側間の物流ルートに基づいた物流費の情報を予め記憶する記憶手段と、上記端末装置により上記売買取引が行われるときに、その対象となる売手側と買手側間の物流ルートに対応した物流費情報を上記記憶手段から取得して上記端末装置に対して送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

本発明の商品取引システムにおいて、上記送信手段は、上記買手側が上記端末装置により上記販売情報を用いての商品購入を行うときに、上記買手側と上記販

売情報を出力した売手側間の物流ルートに対応した物流費情報を、上記端末装置に対して送信するものとしてもよい。

また、上記送信手段は、上記販売情報及び上記物流費情報から上記買手側の購入総額或いは購入総額と物流費を個別に算出して送信するものとしてもよい。

- 5     また、上記記憶手段は、上記物流費情報を、上記売手側の所在地と上記買手側の所在地の組み合わせにより発生する複数パターンの物流ルートに基づいて記憶するものとしてもよい。

また、上記物流費情報は、取引量に基づいた物流費のディスカウント情報を含むものとしてもよい。

- 1 0     本発明の商品取引方法は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて売買取引の成立を決定するための商品取引方法であって、上記売買取引の成立により発生する売手側と買手側間の物流ルートに基づいた物流費の情報をメモリに予め記憶する記憶ステップと、上記売買取引が行われるときに、その対象となる売手側と買手側間の物流ルートに対応した
- 1 5     物流費情報を上記メモリから取得して出力する出力ステップとを含むことを特徴とする。

本発明の商品取引方法において、上記出力ステップは、上記買手側が自端末装置により上記販売情報を用いての商品購入を行うときに、上記買手側と上記販売情報を出力した売手側間の物流ルートに対応した物流費情報を、上記買手側の端

- 2 0     末装置に対して出力するステップを含むものとしてもよい。

また、上記出力ステップは、上記販売情報及び上記物流費情報から上記買手側の購入総額或いは購入総額と物流費を個別に算出して出力するステップを含むものとしてもよい。

また、上記記憶ステップは、上記物流費情報を、上記売手側の所在地と上記買

2 5     手側の所在地の組み合わせにより発生する複数パターンの物流ルートに基づいて上記メモリに記憶するものとしてもよい。

また、上記物流費情報は、取引量に基づいた物流費のディスカウント情報を含

むものとしてもよい。

本発明の記憶媒体は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報情報に基づいて、商品の売買取引の成立を決定するための処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記処理ステップは、本発明の商品取引方法の処理ステップを含むことを特徴とする。

上記の本発明によれば、商品の物流費についての情報を電子的に参照可能なように構成したことにより、商品の流通の偏りを解消することができ、売買取引の活性化をも図ることができる。特に、本発明は、生花や青果物等の生鮮商品のよう、出荷量や出荷日が常に変動することにより輸送等の物流費が固定的でない商品の売買取引に用いて有効である。

具体的には、商品（生花等）の売買取引を行う際に、取引先との売買取引の成立により発生する物流費（取引先との間の輸送費等）の情報を、電子的に参照可能なように構成することで、例えば、買手側が商品を購入する場合、買手側の端末装置には、売手側が出力した販売情報（商品の販売希望単価や販売量等の情報を含む）が画面表示されると共に、自側と売手側間の物流費の情報をも画面表示される。ここで、上記の物流費情報は、全国に点在する売手側の所在地（生産地を含む）毎に、全国に点在する買手側の所在地に対応して予め用意されている。また、各々の物流費情報には、取引量の増加に伴って漸減するような物流費のディスカウント情報も含まれている（例えば、1箱～50箱では500円／箱、50箱～100箱では250円／箱等）。このような物流費情報の中から、現在の売買取引の対象となっている買手側と売手側に該当した物流費情報が検索されて、買手側の端末装置にて画面表示される。したがって、買手側は、全国各地に点在する売手側と取引を行った場合に発生する物流費、及び該売手側での物流費のディスカウント率を容易に把握することができる。これにより、買手側は、物流費を含めた購入総額がいくらになるのか、どの売手業者と取引するのが最適であるか等を予め考慮した取引を行うことができる。また、ディスカウント率によっては、遠隔にある売手側から取引した方が希望する商品を安く手に入れるこ

- とができる等も把握することができるため、取引する売手側がある地域に特定されてしまうことはない。したがって、新たな取引を引きを発生させることができ、広範囲での流通の活性化を実現できる。また、物流費を含む購入総額をも画面上で参照可能なように構成すれば、買手業者は、自分が入力した希望購入箱数での
- 5 購入総額を即確認することができ、効率よく取引を行うことができる。

#### 図面の簡単な説明

図 1 は、第 1 の実施の形態において、本発明を適用した生花取引システムの構成を示すブロック図である。

- 1 0 図 2 は、上記生花取引システムの各業者側及びサーバ側の端末装置の内部構成を示すブロック図である。

図 3 は、上記生花取引システムでの買手側のトップ画面を説明するための図である。

- 1 5 図 4 は、上記生花取引システムでの売手側のトップ画面を説明するための図である。

図 5 は、上記生花取引システムで実行される、注文情報に基づく予約相対取引処理（（A）の取引処理）を説明するための図である。

図 6 は、上記（A）の取引処理における注文情報一覧画面を説明するための図である。

- 2 0 図 7 は、上記生花取引システムで実行される、販売情報に基づく予約相対取引処理（（B）の取引処理）と、複数の注文情報及び複数の販売情報に基づいた取引処理（（C）の取引処理）を説明するための図である。

図 8 は、上記（B）の取引処理における販売（出荷）情報一覧画面を説明するための図である。

- 2 5 図 9 は、上記（B）の取引処理における、売手側が発した販売情報の画面を説明するための図である。

図 1 0 は、上記生花取引システムが備える販売価格予測機能を説明するための

図である。

図 1 1 は、上記生花取引システムが備える複写処理を説明するための図である。

図 1 2 は、上記複写処理における未成約出荷一覧画面を説明するための図である。

図 1 3 は、上記複写処理における販売情報一覧画面を説明するための図である。

図 1 4 は、上記生花取引システムが備える集統計処理の機能における集統計情報表示一覧画面を説明するための図である。

図 1 5 は、第 2 の実施の形態での上記生花取引システムにおいて、上記 (C) の取引処理での販売情報 1 : 購入情報 n の紐付けを説明するための図である。

図 1 6 は、上記生花取引システムにおいて、上記 (C) の取引処理での販売情報 n : 購入情報 n の紐付けを説明するための図である。

図 1 7 は、上記販売情報 n : 購入情報 n の紐付けにおける成約決定の処理 (1) を説明するための図である。

図 1 8 は、上記販売情報 n : 購入情報 n の紐付けにおける成約決定の処理 (2) を説明するための図である。

図 1 9 は、第 3 の実施の形態での上記生花取引システムにおいて、上記 (C) の取引処理での (C 2) から (C 1) への取引処理の移行を説明するための図である。

図 2 0 は、上記移行処理を実行するための、買手側の画面上での設定を説明するための図である。

図 2 1 は、上記移行処理後に発生した未成約の販売情報に対してサーバ側が行う処理を説明するための図である。

図 2 2 は、上記移行処理を実行するための、上記サーバ側の画面上での操作を説明するための図である。

図 2 3 は、第 4 の実施の形態での上記生花取引システムにおいて、上記端末装

置での画面構成を説明するための図である。

図 2 4 は、第 5 の実施の形態での上記生花取引システムにおいて、上記サーバ側の端末装置の引荷機能及び現品販売機能を説明するための図である。

図 2 5 は、上記引荷機能及び現品販売機能による引荷処理等の指定乃至管理処理を説明するための図である。

図 2 6 は、上記引荷機能及び現品販売機能により実行される引荷処理を説明するための図である。

図 2 7 は、上記引荷処理における商品の流れを説明するための図である。

図 2 8 は、第 6 の実施の形態での上記生花取引システムにおいて、売手側の販売 1 ～販売 3 の形態による取引の流れの概要を画面イメージで説明するための図である。

図 2 9 は、上記売手側のトップ画面（配荷管理トップ画面）を説明するための図である。

図 3 0 は、上記販売 1 ～販売 3 の形態による取引の流れを説明するためのフローチャートである。

図 3 1 は、上記販売 1 の形態による取引において、取引実行中の見込販売オペレーション画面を説明するための図である。

図 3 2 は、上記販売 1 の形態による取引において、取引確定時の見込販売オペレーション画面を説明するための図である。

図 3 3 は、上記販売 1 の形態による取引において、販売量確定時の見込販売オペレーション画面を説明するための図である。

図 3 4 は、上記販売 2 の形態による取引において、取引実行前の未処理販売オペレーション画面を説明するための図である。

図 3 5 は、上記販売 2 の形態による取引において、取引実行中の未処理販売オペレーション画面を説明するための図である。

図 3 6 は、上記販売 2 の形態による取引において、取引確定時の未処理販売オペレーション画面を説明するための図である。

図 3 7 は、上記販売 2 の形態による取引において、現品数確定時の未処理販売オペレーション画面を説明するための図である。

図 3 8 は、上記販売 1 ～販売 3 の形態による取引での販売量や結果等の情報を、処理の経過に伴って複数行で表示する場合を説明するための図である。

5 図 3 9 は、上記販売 1 ～販売 3 の形態による取引での商品の属性のマッチングをとる処理を説明するための図である。

図 4 0 は、第 7 の実施の形態での上記生花取引システムにおいて、上記各業者側の端末装置での画面構成を説明するための図である。

1 0 図 4 1 は、上記画面構成による画面に表示される上記 (A) 取引処理での注文情報一覧情報を説明するための図である。

図 4 2 は、上記画面構成による画面に表示される上記 (B) 取引処理での出荷情報一覧情報を説明するための図である。

図 4 3 は、上記画面構成による画面に表示される上記 (C) 取引処理での出荷／応札情報一覧情報を説明するための図である。

1 5 図 4 4 は、上記 (A) 及び (B) 取引処理時にて、各業者が参照できる情報を説明するための図である。

図 4 5 は、上記 (A) 取引処理及び (B) 取引処理時にて、上記画面構成での買手側の画面表示状態を説明するための図である。

2 0 図 4 6 は、上記 (A) 取引処理及び (B) 取引処理時にて、上記画面構成での売手側の画面表示状態を説明するための図である。

図 4 7 は、上記 (A) 及び (C) 取引処理時にて、情報の流れを説明するための図である。

図 4 8 は、上記 (A) 取引処理及び (C) 取引処理時にて、上記画面構成での買手側の画面表示状態を説明するための図である。

2 5 図 4 9 は、上記 (A) 取引処理及び (C) 取引処理時にて、上記画面構成での売手側の画面表示状態を説明するための図である。

図 5 0 は、第 8 の実施の形態での上記生花取引システムの構成を示すブロック

図である。

図 5 1 は、上記生花取引システムにおいて、各々の買手側から出力される購入情報を説明するための図である。

図 5 2 は、上記生花取引システムにおいて、各々の売手側から出力される販売  
5 情報を説明するための図である。

図 5 3 は、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を紐付けして取引成立するためのアルゴリズム 1 を説明するためのフローチャートである。

図 5 4 は、上記アルゴリズム 1 でのクラスタリング処理を説明するためのフローチャートである。

1 0 図 5 5 は、上記クラスタリング処理により生成された購入情報のクラスタと販売情報のクラスタを説明するための図である。

図 5 6 は、上記購入情報のクラスタと販売情報のクラスタ内での紐付け処理を説明するためのフローチャートである。

図 5 7 は、上記紐付け処理を具体的に説明するための図である。

1 5 図 5 8 は、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を紐付けして取引成立するためのアルゴリズム 2 を説明するためのフローチャートである。

図 5 9 は、上記アルゴリズム 2 での購入情報の処理順決定を説明するための図である。

図 6 0 は、上記購入情報の処理順決定に従って、購入情報と販売情報のクラ  
2 0 スタ内での紐付け処理を説明するための図である。

図 6 1 は、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を紐付けして取引成立するためのアルゴリズム 3 を説明するための図である。

図 6 2 は、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を紐付けして取引成立するためのアルゴリズム 4 を説明するための図である。

2 5 図 6 3 は、上記の各アルゴリズムにおいて、購入情報と販売情報の対応するクラスタ内での紐付けの一例を説明するための図である。

図 6 4 は、対象商品を航空チケットとした場合の、売手側の販売情報に対して



買手側が様々な条件付けを行った際の紐付け処理順の抽象度を説明するための図である。

図 6 5 は、上記の紐付け処理順をより具体化（買手側が条件のレベルを指定する場合）して説明するための図である。

5 図 6 6 は、上記の紐付け処理順をより具体化（買手側が条件を任意に指定する場合）して説明するための図である。

図 6 7 は、第 9 の実施の形態での上記生花取引システムの構成を示すブロック図である。

1 0 図 6 8 は、上記生花取引システムにおいて、販売情報に基づいた取引が実行される場合の処理の概要を説明するための図である。

図 6 9 は、上記生花取引システムでのサーバ側にて管理される、売手側が発した販売情報を説明するための図である。

図 7 0 は、上記生花取引システムでの買手側にて表示される販売情報画面を説明するための図である。

1 5 図 7 1 は、上記販売情報画面上にてポップアップウィンドウ表示されるディスカウント率情報を説明するための図である。

図 7 2 は、上記買手側にて表示される登録画面を説明するための図である。

図 7 3 は、上記サーバ側にて設定されているディスカウントテーブルを説明するための図である。

2 0 図 7 4 は、上記サーバ側での処理を説明するためのフローチャートである。

図 7 5 は、上記ディスカウントテーブルの他の一例の構成を説明するための図である。

#### 発明を実施するための最良の形態

2 5 以下、図面に基づき、本発明の好適な第 1 ～第 9 の実施の形態を説明する。

#### [第 1 の実施の形態]

本発明は、例えば、図 1 に示すような生花取引システム 1 0 0 に適用される。

この生花取引システム 1 0 0 では、上記図 1 に示すように、生花の市場管理を行うサーバ側の端末装置 1 0 1 と、複数の売手業者側の端末装置 1 1 1 ~ 1 1 4 及び 1 4 1、複数の買手業者側の端末装置 1 2 1 ~ 1 2 3 及び 1 5 1、及び中卸業者側の端末装置 1 3 1 とが、WAN 1 6 1 を介して互いに通信可能に接続された構成としている。

ここで、複数の売手業者の中には、大手業者（大手売手）や小口の業者（小口売手）も含まれており、また、複数の買手業者の中にも大手業者（大手買手）や小口の業者（小口買手）も含まれているものとする。

1 0     サーバ側、売手業者側、買手業者側、及び中卸業者側の各端末装置は、例えば、中央処理装置（CPU）、キーボード、マウス、表示器、通信器、及び本システムの処理プログラムが予め格納されたメモリ等を備えたパーソナルコンピュータ（パソコン）からなり、該メモリの処理プログラムをCPUにより読み出して実行することで、後述する種々の処理を行うようになされている。

1 5     尚、上記図 1 の生花取引システム 1 0 0 において、サーバ側、売手業者側、買手業者側、及び中卸業者側の各端末装置は、本発明に係る商品取引装置を適用したものである。また、ここでは、WAN 1 6 1 を介してのサーバ側と各業者側の接続構成としたが、これに限らず、ホストコンピュータと端末装置の接続構成でもよいし、サーバ側とクライアント側の接続構成でもよい。また、複数の売手業者側の端末装置 1 1 1 ~ 1 1 4、及び複数の買手業者側の端末装置 1 2 1 ~ 1 2 3 は個々に、WAN 1 6 1 を介してサーバ側と接続された構成としてもよい。また、上記図 1 中の 1 7 1 ~ 1 7 3 は、生産者であり、大手売手業者 1 1 1 とは通信で接続されておらず、電話やファックス等で連絡するようになされている。

2 0     上述のような生花取引システム 1 0 0 は、買手側から発生する商品情報に基づいた各業者間の取引（注文情報に基づいた取引）、売手側から発生する商品情報に基づいた各業者間の取引（販売情報に基づいた取引）、及び複数の買手側から発生する注文情報と複数の売手側から発生する販売情報に基づいた複数の各業者

間の取引（複数の注文情報と複数の販売情報に基づいた取引）を含む生花の売買取引を、生花取引システム 100 に加入している各業者（参加者）側の端末装置上で行うようになされている。

- ここでの”商品の情報”は、例えば、数量、単価、情報入力時刻、及び属性データを含み、該”属性データ”は、期日、期限、品種、及び色等を含む。また、ここでの”生産者”には、実際の生産者から販売の委託を受けている販売代理人、販売卸業者、販売エージェント、或いは輸入業者等も含まれる。

- そこで、まず、サーバ側の端末装置の内部構成、及び各業者側の端末装置の内部構成について、図 2 を用いて説明する。

- 上記図 2 に示すように、サーバ側の端末装置 300 は、種々の情報の受信及び送信（配信）を行うための情報受信配信機能 310 と、アプリケーション機能（APP 機能）としての取引処理及び価格形成機能 321、価格予想機能 322、システム運用管理機能 323、個人別マーケット分析機能 324、及び個人別データ配信管理機能 325 と、トランザクションデータやマスターデータを記憶すると共に各種処理に必要なデータを記憶するための記憶機能（データベースメモリ：DBM）330 とを有している。

- 取引処理及び価格形成機能 321 とは、注文情報に基づいた取引、販売情報に基づいた取引、及び複数の注文情報と複数の販売情報に基づいた取引等、各種の取引処理を行うための機能である。

価格予想機能 322 とは、各業者間での取引において、取引対象となる生花の価格の変動を予測するための機能である。

システム運用管理機能 323 とは、サーバ側の端末装置を運用して生花取引システム 100 を制御管理するための機能である。

- 個人別マーケット分析機能 324 とは、参加者の登録を行うと共に、その参加者が実際に取引した日時、その取引後の取引状況、及び取引された生花についての情報（生花の種類や取引価格等）等、各参加者が行った取引に関する情報を D

BMに記憶させ、その記憶情報を基に、例えば、取引される生花の季節別の傾向値、値段の高低、各参加者の今後の取引傾向（売買動向）等进行分析するための機能である。

5 個人別データ配信管理機能325とは、各参加者に対するデータ配信管理についてフィルタリングをかける機能であり、例えば、売手側や買手側の各参加者の業態（中卸や量販店等）、或いは商品の引き渡しの条件、或いは各参加者に提供されるサービスの内容等によって、配信データの全体或いは一部の表示を行ったり行わなかったりする機能、或いは上述の理由により各参加者側毎で端末装置上に表示される全体或いは一部の内容を変更させたりする機能である。

10 一方、各業者側の端末装置400は、種々の情報の受信及び配信を行う情報受信配信機能410と、WWWブラウザ等によるユーザインターフェース（I/F）機能420と、アプリケーション機能としての自己勘定管理機能431及び連携機能432と、トランザクションデータやマスターデータを記憶すると共に各種処理に必要なデータを記憶するための記憶機能440とを有している。

15 自己勘定管理機能431とは、先の取引により発生する支払いの管理等、参加者側で処理する自己勘定を管理するための機能である。

連携機能432とは、直属する小売店側のシステムや社内販売システムと連携して、先の取引についての情報を通知する等、参加者側に所属する側と連携可能とするための機能である。

20 尚、ここでは、業者側の端末装置400に自己勘定管理機能431、連携機能432、及び記憶機能440を設けるようにしたが、これらの機能については、必ずしも業者側の端末装置400に設ける必要はなく、業者側の端末装置400に設ける代わりに、サーバ側の端末装置300に設けるようにしてもよい。

25 つぎに、生花取引システム100による各種処理の流れ、特に、（A）注文情報に基づいた取引処理、（B）販売情報に基づいた取引処理、及び（C）複数の注文情報と複数の販売情報に基づいた取引処理の流れについて説明する。ここで

の（Ａ）、（Ｂ）、及び（Ｃ）の各取引処理についての説明では、例えば、買手業者と売手業者間の取引とする。

ここで、各業者の端末装置には、例えば、インターフェース機能としてのWWWブラウザにより、サーバ側を介して送られてくる各種データが画面表示されるものとする。そして、端末装置の利用者が、画面上で操作することで、処理が進められるものとする。

そこで、ある業者が生花取引システム１００を利用して、（Ａ）、（Ｂ）、及び（Ｃ）の各取引処理等を行う場合、先ず、自端末装置でサーバ側にアクセスすることで、該装置には、例えば、図３又は図４に示すようなトップ画面が表示される。

上記図３は、買手となる場合に表示されるトップ画面であり、「注文」、「予約」、「一般Ⅰ」、「一般ⅠⅠ」、「成約・着荷」、「集統計」、「お知らせ」、「終了」等、各種項目が表示される。

一方、上記図４は、売手となる場合に表示されるトップ画面であり、「注文」、「予約」、「複写」、「一般」、「成約・着荷」、「集統計」、「お知らせ」、「終了」等、各種項目が表示される。

尚、これらの表示は、アイコン機能と同様に、その文字部をクリックすると、その文字部に対応した処理が実行されるようになされている。ここでは文字表示としているが、これに限らず、絵柄等で表示するようにしてもよい。

上記図３又は図４のトップ画面が表示された端末装置の利用者（買手業者又は売手業者）は、マウス等を用いて各項目を選択的に指定（クリック）する。これにより、このとき指定された項目に対応した処理が実行される。例えば、（Ａ）の取引を行う場合には「注文」の項目、（Ｂ）の取引を行う場合には「予約」の項目、（Ｃ）の取引を行う場合には「一般Ⅰ」又は「一般ⅠⅠ」、或いは「一般」の項目を選択して指定する。

（Ａ）注文情報に基づいた取引処理

(第1の取引：注文情報に基づく予約相対取引)

本取引処理は、例えば、図5に示すような流れに従って実行される。

買手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図3参照）上で「注文」の項目を選択し指定する。これにより、装置は、注文情報入力可能状態となる。そして、

- 5 買手業者は、調達（仕入）計画に従って、希望する購入日、生花の品目、品種、色、等階級、産地、総本数、及び価格等の購入希望情報である注文情報をキーボード入力する。この情報は、サーバ側に送られる。この結果、例えば、図6に示すような注文情報一覧がサーバ側で作成され、買手業者側の端末装置で画面表示される。そして、この画面（注文情報一覧画面）上には、買手業者が入力した注文情報の他、
- 1 0 ” 合計本数”、未選定合計本数”、及び” 合計金額”等の情報も表示される。これらの” 合計本数”、未選定合計本数”、及び” 合計金額”等は、サーバ側で計算して得られ、端末装置に送信されて表示される。このようにして、買手業者は、自端末装置上で調達（仕入）計画に従った生花の注文を行う。

- 1 5 売手業者は、自端末装置にて、買手業者が発した注文情報を画面上で参照することで、販売（生産）計画に従って、買手業者が希望する生花を出荷可能であるか否かを判断し、出荷可能であれば、それを応募情報としてキーボード入力する。このとき、売手業者は、買手業者が希望する総本数全てに対して応募することもでき、その一部に対して応募することもできる。或いは、買手業者が希望する総本数より多い本数を応募することもできる。このような応募情報は、サーバ側
- 2 0 に送られる。このようにして、売手業者は、買手業者が発した注文情報に対して、自端末装置上で応募する。

- 買手業者は、自端末装置にて、上記図6に示した注文情報一覧を画面上で再度参照する。このときの注文情報一覧には、サーバ側により、売手業者が発した応募情報が反映されている。具体的には、例えば、注文情報一覧の” 応募” 欄には
- 2 5 、注文情報に対して応募した売手業者の注文件数が表示されるようになされており、買手業者は、” 応募” 欄部分の隣の” 応” のアイコン部をマウスで指定することで、注文情報に対して応募した売手業者の詳細情報が参照できるようになさ

れている。このような注文情報一覧画面を買手業者が参照することで、買手業者は、注文情報に対して応募した売手業者のなかから希望する売手業者を選択して予約し、それを発注情報としてキーボード入力する。この発注情報は、サーバ側に送られ登録される。

5     そして、サーバ側にて、買手業者と売手業者の成約が成り立つと、サーバ側から売手業者側に対して成約通知が送られ、売手業者は、これを受け、買手業者との取引が確定したことを認識する。このとき、該成約通知を送らずに売手業者が自端末装置にて、例えば、成約情報一覧を画面上で参照することで、買手業者の取引が確定したことを認識するようにしてもよい。

1 0     したがって、買手業者側の上記図 6 に示した注文情報一覧には、上記の成約が”未選定”欄に反映される。例えば、ある希望する生花の希望総本数が 1 0 0 本であり、本成約で 1 0 0 本全て確定した場合、未成約本数である未選定本数は 0 本となる。また、1 0 0 本のうち 4 0 本が確定した場合、未選定本数は 6 0 本となる。また、売手業者が応募した本数が、希望する総本数より多い場合には、未  
1 5     選定数のマイナス表示を許すことにより、未選定本数がマイナス本数（－6 0 本等）となる。

尚、ここでは、買手業者の注文情報に対して各々の売手業者が応募した後、買手業者が該応募情報を参照して所望する売手業者を選択するようにしたが（上記図 5 参照）、例えば、買手業者は、このときの選択を行わずに、再度新たな注文  
2 0     情報の追加登録するようにしてもよい。或いは、以前の注文情報を削除して新たな注文情報を登録するようにしてもよい。この場合、更新され注文情報に対して、上述したような売手業者の応募が繰り返して行われることになる。また、買手業者が上記の応募情報を選択する際、それらの応募情報の全て或いは一部を選択可能、或いは拒絶可能とするようにしてもよい。

2 5

（B）販売情報に基づいた取引処理

（第 2 の取引：販売情報に基づく予約相対取引）

本取引処理は、例えば、図 7 の (B) に示すような流れに従って実行される。

売手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図 4 参照）上で「予約」の項目を選択し指定する。これにより、装置は、販売情報入力可能状態となる。そして、売手業者は、希望する生花の品目、品種、色、着荷日、等階級、産地、生産者名、箱数、及び価格等の販売希望情報である販売情報（出荷情報）をキーボード入力する。この結果、例えば、図 8 に示すような出荷情報一覧が作成され、画面表示される。そして、このような販売情報は、サーバ側に送られる。このようにして、売手業者は、自端末装置上で生花の販売を行う。

- 買手業者は、自端末装置にて、例えば、図 9 に示すような、売手業者が発した販売情報を画面上で希望商品を検索し参照することで、希望する品の箱数等を購入登録情報としてキーボード入力する。このとき、希望する箱数の一部の登録も行うことができる。例えば、出荷情報の残箱数が 50 箱であり、買手業者が本来希望する箱数は 20 箱であるが、そのうちの 10 箱のみを登録することもできる。そして、このような購入登録情報は、サーバ側に送られる。このようにして、買手業者は、売手業者が発した出荷情報に対して、自端末装置上で購入登録する（タイプ 1）。

売手業者は、自端末装置にて、買手業者の登録状況を画面上で参照して判断し、買手業者と成約する。

- 尚、買手業者側において、上述したような購入登録を行う際（以下、この取引をタイプ 1 の取引処理とし、(B 1) の取引処理とも言う）、購入価格の指定を行って、これを購入登録情報とすることもできる（以下、この取引をタイプ 2 の取引処理とし、(B 2) の取引処理とも言う）。この場合、例えば、売手業者側の端末装置において、複数の買手業者から指定された各購入価格に基づいて、適切な買手業者、例えば、最も購入価格の高い買手業者を自動的に決定するようなアルゴリズムを実行させるようにしてもよい。また、販売情報で残数 10 箱に対し、買手業者は、購入登録情報として、例えば、6 箱とし、且つ、6 箱以下でも購入する旨の情報を登録することもできる。これにより、残数 10 箱に対して、



甲乙2名の買手業者が各々6箱の購入登録しても、甲が6箱以下でも購入するという情報であれば、乙に6箱、甲に4箱、という成約も可能となる。

(C) 複数の購入情報及び複数の販売情報に基づいた取引処理

- 5 (第3の取引：複数の購入情報と複数の販売情報を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引)

本取引処理は、例えば、上記図7(C)に示すような流れに従って実行される。

。

- 10 ここで、本取引処理は、2つの取引処理((C1)の取引処理、(C2)の取引処理とする)に分けられ、これらの2つの取引処理が、買手となる場合のトップ画面(上記図3参照)の「一般I」と「一般II」に対応する。そして、(C1)の取引処理と(C2)の取引処理は、例えば、買手業者が上述したような購入登録する際に、詳細は後述するが、売手業者側が発した販売情報に対して行う購入登録の方法が異なる。

- 15 例えば、売手業者は、上述した(B)の取引処理の結果、販売情報として発した数量を全て裁ききれなかった場合、具体的には、ある生花を100箱、販売希望したにも関わらず、そのうちの60箱しか買手業者と成約できなかった場合、40箱が残ってしまう。

- 20 このような販売漏れの生花(未成約の生花)がある場合には、売手業者は、自端末装置にて、未成約の生花を検索し、その情報を得て、トップ画面(上記図4)の「複写」項目を選択し指定することで、販売漏れの生花、すなわち(B)の取引処理での生花のうち販売漏れの生花についてを、本取引処理に移行する。そして、売手業者は、販売漏れの生花について、(B)の取引処理と同様にして、販売情報をキーボード入力する。また、このとき、新規に販売希望する生花があれば、それについての販売情報も入力する。このときに、下限価格情報(販売下限価格値)も入力する。

他の売手業者も同様にして各々、自端末装置にて、販売希望する生花の販売情

報を入力する。これらの販売情報は、サーバ側に送られる。したがって、サーバ側には、複数の売手業者の販売情報が存在することになる。

尚、トップ画面（上記図 4 参照）の「複写」による処理についての詳細は後述する。

- 5 買手業者は、自端末装置にて、複数の売手業者が発した販売情報を画面上にて参照し、希望する条件に合った販売情報に対して、（B）の取引処理と同様にし、購入登録するが、このとき、上述の（C 1）の取引処理、或いは、（C 2）の取引処理で購入登録する。すなわち、（C 1）の取引処理で購入登録する場合、買手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図 3 参照）上で「一般 I」を選択し指定する。これにより、装置は、上述のように、複数の売手業者が発した販売情報の参照可能状態となり、購入登録可能状態となる。ここでの購入登録は、例えば、希望する生花の”品目”及び”色”のみの条件を特定できるようになされている。

- 1 5 一方、（C 2）の取引処理で購入登録する場合、買手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図 3 参照）上で「一般 I I」を選択し指定する。これにより、装置は、（C 1）の取引処理と同様に、複数の売手業者が発した販売情報の参照可能状態となり、購入登録可能状態となるが、ここでの購入登録は、例えば、希望する生花の”品目”及び”色”のみならず、”品種”や”等階級”等、その他の詳細な条件を特定できるようになされている。また、買手業者は、このような詳細な条件を複数の販売情報に対して特定できるようになされている。

- 2 0 他の買手業者も同様にして各々、自端末装置にて、複数の売手業者が発した販売情報を参照して、（C 1）或いは（C 2）の取引処理で購入登録する。これらの購入登録情報は、サーバ側に送られる。したがって、サーバ側には、複数の売手業者が発した販売情報と、複数の買手業者が発した購入登録情報とが存在することになる。

2 5 サーバ側では、所定の成約決定アルゴリズムによる成約決定処理により、複数の売手業者が発した販売情報と、複数の買手業者が発した購入登録情報とに対し

て、双方の条件の折り合うものから順次成約（価格）を決定する。例えば、ここでの成約決定アルゴリズムは、例えば、販売下限価格の条件を満たし、且つ、購入価格の高い順、購入情報の入力時間の早い順等により成約を決定するものである。この成約決定についての情報は、売手業者側及び買手業者側に通知される。

- 5 これにより、売手業者及び買手業者は各々、自端末装置にて、成約決定について認識する。

尚、上述した（C）の取引処理での構成を、次のような構成としてもよい。

- ・成約決定アルゴリズムとしては、購入希望価格の高い順や情報入力の早い順に成約決定するアルゴリズムに限らず、例えば、購入希望数量の多い順や過去の取引規模などの因子により予め決められた優先順位に従って成約決定するようなアルゴリズムを用いるようにしてもよい。或いは、購入希望数量の一部でも販売残数があれば購入したいという要求をも許容して、これを優先順位決定に反映させて成約決定するようなアルゴリズムでもよい。したがって、例えば、購入希望価格の高い順に成約決定する場合で、同じ価格の購入情報が存在した場合、それら
- 1 0 の中でさらに数量の多い順や、情報入力の早い順、或いは上述の購入希望数量に欠けが存在した場合の購入許可など、買手業者側の購入条件に許容範囲の広いもの、などの一部或いはこれらの組み合わせのアルゴリズムを用いるようにしてもよい。

- ・対象商品の条件許容度が高い（条件が緩い）場合に、（C）の取引処理へ移行
- 2 0 し、許容度が低い（条件が厳しい）場合には、（C）の取引処理に移行しない、というようなアルゴリズムを付加するようにしてもよい。

- ・ここでは売手業者が発する販売情報中に下限価格情報（販売下限価格値）を含むようにしたが、下限価格情報を” 0 ”（ゼロ）とし、完全な販売委託方式にしてもよし、下限価格情報の代わりに別のパラメータを用いるようにしてもよい。
- 2 5 例えば、販売最低本数の情報を用いるようにしてもよい。

- ・（C 1）及び（C 2）の取引処理での条件入力（（C 2）では詳細は条件入力、（C 1）では該条件を緩和した条件入力）を、買手業者が決定して行うものと

したが、例えば、システム内で予め各々の項目（「品種」、「品目」、「色」等）及びその内容（例えば、項目「品目」であれば、「菊」、「バラ」等の内容）を設定しておき、その中から買手業者が所望する項目及びその内容（条件）を指定するようにしてもよい。具体的には例えば、取引対象商品が野菜であった場合、

5 「品種」、「規格」のみの条件と、この「品種」、「規格」に産地・生産者名の条件とを予めテーブル等で用意しておく。また、航空チケットの場合には、フライト日と区間のみの条件と、これに航空会社名或いは具体的な便名（複数可）等の複数の条件を予め用意しておく。これにより、買手業者は、多様な条件の設定を行うことができる。

1 0

以上、生花取引システム 1 0 0 による（A）、（B）、及び（C）の各取引処理の流れについて説明した。

つぎに、上述したサーバ側の端末装置が有する”価格予想機能”について具体的に説明する。

1 5 この価格予測機能とは、上述したような（A）、（B）、及び（C）等の各取引において、取引対象となる生花の価格の変動を予測するための機能であり、この機能により、市場運用（管理）者は、自端末装置（サーバ側の端末装置）上で価格を容易に予測することができる。

すなわち、図 1 0 に示すように、サーバ側の端末装置において、記憶機能（D

2 0 BM）には、個人別マーケット分析機能により種々のデータが記憶されると共に、取引時に発生した各種データが記憶される。この D B M に記憶された各種データを多変量解析処理等により解析し、その解析結果からモデルを生成する。そして、生成したモデルにより、そのときの市場状況に対する価格の変動等を予測する。このような価格予測は、生花の品目毎や季節等の予測条件に応じて行えるよ

2 5 うになされている。

つぎに、上述したトップ画面（上記図 4 参照）の「複写」による処理について

具体的に説明する。

「複写」による処理（複写処理）は、上述したように、売手側において、（B）の取引処理の結果、販売漏れがあった場合に行われる処理であり、この複写処理を実行することで、（B）の取引処理が（C）の取引処理に移行される。すなわち、図11に示すように、（B）の取引処理の結果、成約された生花（成約出荷商品）と、未成約となった生花（未成約出荷商品）とが発生する。このときの商品の価格（販売価格）を“x”、下限価格（最低希望価格）を“y”とする。これらの成約出荷商品及び未成約出荷商品の各情報は、サーバ側の端末装置に送られ、そのDBMに記憶される。

10 売手側は、自端装置にて、サーバ側のDBMの記憶情報から生成された、例えば、図12に示すような、未成約出荷一覧の画面を参照することで、複写処理を実行するか否かを判断し、上記図4に示した画面の「複写」を選択し指定する。そして、売手側は、複写する商品を個別に選択し、複写するものを指定する。このとき、未成約商品を全て一括して指定できるようにしてもよい。

15 また、売手側は、販売価格xを販売価格x'（ $x \neq x'$ ）、下限価格yを下限価格y'（ $y \neq y'$ ）に各々変更する指定も行うことができる。

これにより、サーバ側のDBMに記憶された不成立出荷商品の情報は、価格変更も含めて、（C）の取引処理での商品の情報とされる。このとき、売手側が新たに商品の登録（新規登録）を、販売価格x<sub>1</sub>'、下限価格をy<sub>1</sub>'として行っ

20 た場合には、これらの情報も含めて、（C）の取引処理での商品の情報とされる。

そして、売手側は、自端末装置にて、例えば、図13に示すような販売情報一覧画面により、（C）の取引処理に移行した商品、新規登録した商品、及びそれらの情報を登録した日（情報登録日）を確認する。

25 尚、売手業者が発する販売情報において、下限価格の代わりに、上述したような他のパラメータ（販売最低本数等）を利用した場合、そのパラメータを変更することになる。

つぎに、生花取引システム 1 0 0 で行える他の処理として、集統計処理について説明する。

この集統計処理は、売手側の端末装置において、上記図 4 に示したトップ画面  
5 の「集統計」の項目が選択され指定されたときに実行される処理である。すなわち、売手側は、自端末装置にて、トップ画面の「集統計」の項目を選択し指定する。これにより、装置には、例えば、図 1 4 に示すような集統計情報表示一覧画面が表示される。この集統計情報表示一覧画面には、今後発生する予定の取引（既に決定している取引）についての情報、具体的には、先渡し（荷渡し）の日付  
1 0 、生花の平均価格、最高価格、最低価格、及び総本数等の情報を含む。これらの情報は、画面上で日付け、品目、品種等の条件を指定することで、指定された条件毎の情報を表示することもできる。

このような画面により、売手側は今後の予定を把握することができる。また、同様に買手側も、自端末装置にて、トップ画面（上記図 3）の「集統計」の項目  
1 5 を指定し、種々の条件を指定することで、買手側の今後の予定を把握することができる。

尚、本実施の形態では、対象商品を生花等の生鮮商品を一例として説明したが、これに限られることはない。航空チケットや他の交通機関のチケット、コンサートチケットのように、使用可能な期限が決まった商品にも適用することができる。例えば、航空チケットの場合、上述した生産者が航空会社に対応し、大手売手業者が航空会社の支店などの営業部門、或いは大手旅行会社などの販売エージェントに対応し、小口売手業者が各旅行代理店や航空チケットを扱うコンビニエンスストアなどの販売店に対応する。また、1 2 月 3 0 日又は 2 9 日の X X X 便  
2 0 を 2 席購入したい、或いは 1 2 月 2 9 日の A 空港から B 空港までの X X X 便又は Y Y Y 便を 2 席購入したい等が（A）取引処理に対応し、1 2 月 2 9 日から 1 月 5 日までの X X X 便が  $\alpha$  円、Y Y Y 便が  $\beta$  円で各々 1 0 0 席ずつある等の情報に  
2 5

基づいた取引が（Ｂ）取引処理に対応し、これらの条件に様々な広がりをもつ購入情報と販売情報を突き合わせて価格と数量の決定を行う取引が（Ｃ）取引処理に対応する。したがって、航空チケット等の期限付きの商品や期日付きの商品についても、本発明は適用可能である。

5

### 〔第２の実施の形態〕

本実施の形態では、上述した第１の実施の形態における（Ｃ）の取引処理での、複数の販売情報と複数の購入情報を突き合わせて双方の条件の折り合うものから順次成約を決定していく処理を、次のようにして行う。

1 0     まず、例えば、図１５に示すように、２つの販売情報１及び２（販売希望価格と下限価格を含む）が登録され、販売情報１に対しては２つの購入情報１及び２が登録され、販売情報２に対しても２つの購入情報３及び４が登録された場合、どの購入情報を販売情報に結び付けるか、すなわち成約させるかを決定する必要がある。

1 5     この決定方法としては、先ず２つの購入情報に対して下限価格をクリアした購入情報を抽出し、次にこの中で単価が一番高いものを抽出し同じであれば数量が多いものを抽出する、というような処理を販売情報１から順に行う方法が考えられる。

2 0     しかしながら、このような決定方法は、１つの販売情報に対して複数の購入情報が紐付いた構成（販売情報毎に複数の購入情報、１：ｎの紐付けがＮ個）である場合には問題ないが、このような方法を（Ｃ２）の取引処理に用いた場合、この取引処理では、例えば、図１６に示すように、購入情報からも複数の販売情報に対して紐付けられる構成、すなわちｍ：ｎの紐付けの構成となりうるため、販売情報の処理順によっては、購入情報が影響を受けてしまう。

2 5     そこで、ここでは、図１７に示すような処理に従って、（Ｃ２）の取引処理での複数の販売情報と複数の購入情報の成約を決定する。

尚、以下の上記図１７を用いた説明では、上記図１６に示したように、３つの

販売情報と、5つの購入情報とが存在し、販売情報1に対しては3つの購入情報1、2、及び3が登録され、販売情報2に対しては3つの購入情報1、3、及び4が登録され、販売情報3に対しては3つの購入情報2、3、4、及び5が登録されているものとする。

- 5      先ず、(C2)の取引処理の場合、販売情報での販売商品に関係なく、販売情報の処理順を決定する。このとき、例えば、市場において特定された売手業者が出した販売情報については最優先し、残りの販売情報については入力順に決定する。この他にも、過去の取引量の多さ順、過去の販売総額の高い順、或いは、その取引における販売希望総額(=販売希望価格×本数)の高い順等によって、優先度を決定して、処理順を決定するようにしてもよい。この結果、上記図17では、販売情報1、販売情報2、販売情報3、の順に処理順が決定される。
- 10      次に、決定された処理順に各販売情報について、購入情報の処理手順を決定する。これについては販売情報毎に紐付いた各購入情報の希望価格の高いものを優先し、希望価格が同じである購入情報については入力順に決定する。

- 15      具体的には、先ず、販売情報1について、登録された3つの購入情報1、2、及び3の処理順を、希望単価が高い順に決定する。この結果を購入情報2、購入情報1、購入情報3の順とする。ここで、販売情報1での販売数が100本であり、購入情報2での希望数が70本、購入情報1での希望数が70本、購入情報3での希望数が60本であった場合、購入情報2については希望数70本全て終了(成約決定)となるが、購入情報1については希望数70本のうち30本が終了となり残り40本については残数(一部未成約)となる。また、購入情報3については手つかず(未成約)となる。したがって、次の処理対象である販売情報2においては、残数が40本である購入情報1(購入情報1')、手つかずの購入情報3、及び購入情報4が対象となる。
- 20      次に、販売情報2について、ここでも同様にして登録された3つの購入情報1'、3、及び4の処理順を、希望単価が高い順に決定する。この結果を購入情報3、購入情報1'、購入情報4の順とする。ここで、販売情報2での販売数が1



1 0 本であり、購入情報 4 での希望数が 3 0 本であった場合、購入情報 3 については希望数 6 0 本全て終了となり、購入情報 1' についても残数 4 0 本全て終了となる。購入情報 4 については、希望数 3 0 本のうち 1 0 本が終了となり残り 2 0 本については残数となる。したがって、次の販売情報 3 においては、残数が 2 0 本である購入情報 4（購入情報 4'）、及び購入情報 5 が対象となる。ここで、最初に登録されていた購入情報 2 については、上述の販売情報 1 により終了しているため、対象とならない。

そして最後に、販売情報 3 について、ここでも同様にして登録された 2 つの購入情報 4' 及び 5 の処理順を、希望単価が高い順に決定する。この結果を購入情報 4、購入情報 4' の順とする。ここで、販売情報 3 での販売数が 1 1 0 本であり、購入情報 5 での希望数が 1 0 5 本であった場合、購入情報 5 については希望数 1 0 5 本全て終了となり、購入情報 4' については残数 2 0 本のうち 5 本が終了となり残り 1 5 本については残数となる。この購入情報 4' の残数 1 5 本は、購入漏れとなる。

1 5 以上が（C 2）の取引処理での成約を決定する処理である。

一方、（C 1）の取引処理での成約を決定する処理は、先ず販売情報の処理順を品目及び色でくくられた販売情報の中で下限価格の高い順に決定し、次に決定された処理順に各販売情報について購入情報の処理手順を希望価格の高い順に決定する。

2 0 ここで、（C 1）の取引処理とは、上述したように、希望する生花の品目（“リングク”等）及び色（“白”等）を条件として特定して購入登録する処理である。その一例を図 1 8 に示している。この図 1 8 では、売手側（甲）が出した販売情報 1（リングク／白）及び販売情報 2（ガーベラ／赤）と、他の売手側（乙）が出した販売情報 3（リングク／白）、販売情報 4（キク／黄）、及び販売情報 5（バラ／5）が存在した場合、これらの販売情報 1～5 を品目及び色でクラスタ化、すなわち、あるまとまり、集団等を特定する。この結果、例えば、販売情報 1 及び 3 を含むリングク／白の情報群（クラスタ）が得られる。そして、こ

の情報群に含まれる複数の販売情報の処理順を、販売情報での下限価格の高い順に決定する。この結果を販売情報 1、販売情報 3、・・・の順とする。

そこで、先ず、リングク／白の情報群の販売情報 1 について、登録された購入情報の処理順を希望価格の高い順に決定する。このときの購入情報には、（C 2）の取引処理から（C 1）の取引処理に流れてきたものも含む。例えば、販売情報 1 に対して 3 つの購入情報 1（リングク／白）、購入情報 3（リングク／白）、及び購入情報 5（リングク／白）が登録されていた場合、これらの処理順を入力順に決定する。この結果を購入情報 5、購入情報 3、購入情報 1 の順とする。以降、上述した（C 2）の取引処理の場合と同様に、その決定した順に処理を進める。

また、リングク／白の販売情報群だけではなく、他の品目／色についても同様にして販売情報群が得られ、その情報群の中で処理順が下限価格の高い順に決定され、決定された処理順に各販売情報について、購入情報の処理順が入力順に決定される。

尚、本実施の形態において、上記図 18 に示したように、売手業者が発した販売情報に基づいて、買手業者が発した購入情報はクラスタリングされるが、これとは逆に購入情報に基づいて販売情報がクラスタリングされるようにしてもよい。この場合、例えば、買手業者の購入情報に対して売手業者の販売情報を割り当てる際、購入情報に上限価格を含ませ、この価格が高いものから順に、また、商品によっては低いものから順に販売情報を割り当てるようする。これは航空チケットや他の交通機関のチケット、コンサートチケットのように、使用可能な期限が限られた商品にも適用することができる。

## 2 5 [第 3 の実施の形態]

本実施の形態では、上述した第 1 の実施の形態での（C）の取引処理において、（C 2）の取引処理（品目や色と共に種類等の条件も特定）の結果、未成約の

購入情報については、買手業者側の自端末装置での操作により、その購入情報にて条件を緩和して（品目や色のみの条件を特定）、（C 1）の取引処理に移行することを可能とし、これを自動的に行うことも可能とする。

例えば、図 1 9 に示すように、先ず、上述したように、（B）の取引処理の結果、未成約の生花については、売手業者側からトップ画面（上記図 4 参照）の「複写」項目が選択され指定されることで、（C）の取引処理に移行される。例えば、（C 2）の取引処理に移行される。これにより、（B）の取引処理での未成約の販売情報が、（C 2）の取引処理での販売情報として登録される。また、このとき、新規に販売希望する生花があれば、その販売情報も（C 2）の取引処理での販売情報として登録される。

次に、買手業者が自端末装置上で、（C 2）の取引処理での販売情報として登録された未成約の販売情報を参照して、希望する生花があれば、その購入情報を登録する。

これにより、サーバ側において、それらの販売情報と購入情報を突き合わせ、双方の条件が折り合った場合には成約決定とされ、折り合わなかった場合には未成約とされる。そして、その結果は売手業者側及び買手業者側に通知される。

買手業者側は、サーバ側からの通知により、登録した購入情報が未成約であった場合、自端末装置にて、販売情報の条件を緩和して（品目や色のみの条件を特定）、その購入情報を（C 1）の取引処理に移行する。これにより、このときの購入情報は、（C 1）の取引処理での購入情報として登録され、（C 1）の取引処理で処理される。

ここで、このような（C 2）の取引処理から（C 1）の取引処理への移行を自動的に行いたい場合、買手業者側は、購入情報の登録時に、自端末装置にて、登録した購入情報が（C 2）の取引処理で未成約であったならば（C 1）の取引処理に自動移行するための設定を行う。例えば、図 2 0 に示すように、買手業者は、（C 2）の取引処理時の画面上にて、マウス等により、購入情報毎に対応して設けられたアイコン部を指定（クリック）することで、自動移行の設定を行う。

この設定情報は、サーバ側に送られる。

これにより、サーバ側で自動移行の設定が認識され、売手業者側の販売情報と、買手業者側の購入情報の双方の条件が折り合った場合には、上述したように成約決定とされ、逆に、双方の条件が折り合わなかった場合には、その購入情報は  
5 未成約とされて、(C 1)の取引処理での購入情報として自動的に登録され、(C 1)の取引処理で処理される。

上述のような自動移行の設定により、買手業者は、(C 2)の取引処理と、(C 1)の取引処理とを1度の操作で行うことができる。

また、ここでは、例えば、(C 2)の取引処理の結果、大量の販売情報が未成  
1 0 約で残ってしまった場合、サーバ側が買手業者側と売手業者側に介入して取引を行うことも可能とする。

すなわち、図 2 1 に示すように、サーバ側(市場運営者等)は、自端末装置にて、(C 1)の取引処理の結果を参照する。例えば、サーバ側は、図 2 2 に示すように、自端末装置の画面上にて、マウス等により、「成約検索」や「未成約検  
1 5 索」等のアイコンを指定(クリック)する等の操作を行うことで、成約した販売情報や未成約の販売情報の一覧画面を出力させ、この画面上の情報により、(C 1)の取引処理の結果を把握する。そして、未成約の販売情報に含まれる各種情報を調整し、成約率を上げて確定させるようにする。

このとき、未成約の販売情報に含まれる下限価格の調整を行った場合、その調  
2 0 整を行った販売情報を再度(C 1)及び(C 2)の取引処理での販売情報として登録する。したがって、下限価格が調整された販売情報は、上述したようにして(C 2)の取引処理から順に(C 1)の取引処理で処理される。

尚、上述したようにして、下限価格が調整された販売情報を再度(C 1)及び(C 2)の取引処理で処理する場合、この結果は、仮成約又は未成約となる。

2 5

#### [第 4 の実施の形態]

本実施の形態では、上述した第 1 の実施の形態における(A)～(C)の取引

処理で発生した各種情報（注文情報や販売情報等）を画面上で参照可能とし、また、該各種情報の中から所望する情報を容易に抽出（検索）可能とする。

このため、各業者の端末装置に表示される画面として、例えば、図 2 3 に示すような構成の画面を設ける。この画面は、同図に示すように、機能一覧部 2 0 1、結果表示部 2 0 2、及び条件入力部 2 0 3 から構成される。これらの各部は画面上端から順に配置されており、各部での種々の項目はアイコン表示等されている。画面上での項目等の表示は、文字或いは絵柄等でもよく、アイコン機能と同様に、その文字或いは絵柄等の部分をクリックすると、その部分に対応した処理が実行されるようにしてもよい。

1 0 機能一覧部 2 0 1 には、生花取引システム 1 0 0 が有する各種機能を実行するための「注文」、「予約」、「一般 I」、「及び「一般 I I」等の項目がアイコン表示される。したがって、装置の使用者からの操作により、これらの項目から任意の項目が選択され指定されることで、その選択された項目に対応した処理が実行される。

1 5 結果表示部 2 0 2 には、機能一覧部で選択された処理における各種データが表示される。結果表示部 2 0 2 の表示行数（取引件数等も含む）は、サーバ側で自在に設定できるようになされている。例えば、サーバ側が伝送時のデータ量に適した表示行数を設定する。

また、結果表示部 2 0 2 には、件数表示部 2 0 2 a が設けられており、この件  
2 0 数表示部 2 0 2 a には、（A）の取引処理時には応募件数（買手業者側の注文情報に対して売手側から応募があった件数）が表示され、（C）の取引処理時には購入件数（買手業者側が購入登録した際の件数）が表示される。このとき、例えば、“ 0 0 1 8 ” 等の件数表示、或いは、“ 大 ”、“ 中 ”、“ 小 ”、“ 無 ” 等のランク表示で行われる。

2 5 条件入力部 2 0 3 には、ある取引処理での対象商品の情報を抽出（検索）するための各種条件が入力される。ここでは、対象商品である生花の色を入力する色入力部 2 0 3 a、種類を入力する種類入力部 2 0 3 b、及び生産者を入力する生

産者入力部 2 0 3 c 等が設けられている。この条件入力部 2 0 3 で入力された各種条件に合った情報が、取引時に発生した各種情報のなかから検索される。そしてその検索結果は、結果表示部 2 0 2 に表示される。

種類入力部 2 0 3 b には、例えば、“キク”、“バラ”、“ヒマワリ”、・・

- 5 ・のように、生花の種類名が各参加者毎の使用頻度順にソートされている。また、生産者入力部 2 0 3 c においても、生産者名が使用頻度順にソートされている。

これらの種類入力部 2 0 3 b 及び生産者入力部 2 0 3 c において、生花の種類名や生産者名の一部を固定に持つようにしてもよい。例えば、情報検索する際に必ず使用するものについては、上部段に固定して持ち、その次段に使用頻度順のものを持つようにしてもよい。また、使用頻度順を決定するための対象期間を変更できる機能により、対象期間、例えば、3 か月間の使用頻度順を決定するようにしてもよい。或いは、季節毎や期間毎に使用頻度順を自動的に変えるようにしてもよい。

- 1 5 また、条件入力部 2 0 3 には、(A) の取引処理時において、そのときに買手業者側が発した注文情報に対して売手業者側からの応募があった商品、及び応募がなかった商品を検索条件として入力するための応募有無入力部 2 0 3 d が設けられている。この応募有無入力部 2 0 3 d にて“有”が選択され指定された場合には、売手業者側からの応募があった注文情報の検索が行われ、“無”が選択され指定された場合には、売手業者側からの応募がない注文情報の検索が行われ、何れをも選択指定されなかった場合には、(A) の取引処理における注文情報全ての検索が行われる。

- 2 0 また、条件入力部 2 0 3 には、「販売情報検索」と「購入情報検索」の項目からなる検索入力部 2 0 3 e が設けられており、これらの項目は、(C) の取引処理時にのみ表示される。

「販売情報検索」が選択され指定された場合には、売手業者側が発した販売情報と、それに紐付いた購入情報との検索が行われる。また、「購入情報検索」が

選択され指定された場合には、買手業者側が発した購入情報の対象となっている販売情報の検索が行われる。

これにより、特に、買手業者側にとって次のような処理が行いやすくなる。

(1) 「販売情報検索」による購入情報の変更（単価や数量の変更等）や削除

(2) 「購入情報検索」による購入情報の対象となっている販売情報の追加や削除

#### [第5の実施の形態]

本実施の形態では、上述した第1の実施の形態における（A）～（C）の取引処理で発生した販売残商品、先取りや引荷等の緊急ニーズに基づき発生した取引（緊急取引）についても、端末装置の画面上にて行えるようにする。

まず、（A）～（C）の取引処理により結局残ってしまった生花（販売残商品）、すなわち現品に対して行う取引処理として、先取りや引荷等の緊急な取引処理（緊急取引処理）がある。ここでは、緊急取引処理の一例として引荷処理を挙げて説明する。

引荷処理とは、販売残商品は競りの対象となるが、このとき、その販売残商品から特定分のみ取り除く処理を言う。これは、緊急に生花が必要であった場合（葬儀等）等のために確保するためである。したがって、販売残商品から引荷した結果、残った商品が競りにかけられることになる。ここでの生花取引システム100では、引荷処理及び競りにかける処理（現品販売処理）が画面上で行えるようにする。

このため、サーバ側の端末装置は、上記図2に示したアプリケーション機能としての各機能に加えて、例えば、図24に示すように、引荷処理を実行する引荷機能326と、引荷処理等により発生した残商品を販売するための現品販売機能327とを有している。

図25は、（A）の取引処理、（B）の取引処理、及び（C）の取引処理の実行の前後或いは実行中に特定される競りの対象商品の指定乃至管理の処理を行う

際の画面の流れを示したものである。ここでの対象商品の指定乃至管理の処理は、引荷機能 3 2 6 や現品販売機能 3 2 7 等により実施される処理であり、先取り処理や引荷処理等の所謂緊急な取引処理の実行の前後或いは実行中に行うこともできる処理である。

- 5 上記図 2 5 において、配荷管理画面には、商品属性が” スプレー菊 / 2 L / 黄色 ” である生花について、残数量が 2 0 箱であり、既に決定した数量が ( A ) の取引処理では 5 箱、 ( B ) の取引処理では 1 0 箱であることが示されている。

この状態で例えば、中卸業者等が、上記の配荷管理画面上で残数量 2 0 箱のうち 5 箱を引荷にあてようとする場合には、先ず、数量 ” 0 ” の隣の四角部分をクリックする。これにより、引荷処理の入力画面に移行する。このとき、配荷管理画面で一番上段のスプレー菊について引荷を行うことになるため、商品属性はそのまま複写されることになる。

その後、入力画面において、引荷で販売する相手の買手業者である A 社を入力し、単価と数量を、例えば、販売単価 1 0 0 円、箱数 5、として入力する。この入力画面に対して実行コマンドを入力すると、引荷処理が実行され、これにより配荷管理画面では、引荷数量が 5 箱となり、残数量が 2 0 箱から 1 5 箱へと減少することになる。

また、例えば、上述の引荷処理の結果の残数量 1 5 箱のうち 5 箱を、 ( B ) の取引処理のなかでも売手業者が指定した条件に対して自動的に適切な買手業者を決定する取引処理 ( タイプ 2 の取引処理、すなわち ( B 2 ) の取引処理 ) にあてようとする場合には、配荷管理画面において、残数量の数字の隣の四角部分をクリックする。これにより、 ( B 2 ) の取引処理の入力画面に移行する。このとき、配荷管理画面で一番上段のスプレー菊について引荷を行うことになるため、商品属性はそのまま複写されることになる。

2 5 その後、入力画面において、単価と数量を、例えば、9 0 円、箱数 5、として入力する。この入力画面に対して実行コマンドを入力すると、残数量 1 5 箱のうちの 5 箱を対象とした ( B 2 ) の取引処理が実行される。



また同様にして、残数量 15 箱のうちの一部を（C）の取引処理にあてようとする場合には、（C）の取引処理の入力画面において、単価と数量だけでなく下限値も、例えば、85 円として入力する。この入力画面に対して実行コマンドを入力すると、このとき入力した箱数が指定した下限値のものとして登録されて、

5 （C）の取引処理が実行される。

したがって、上述のような配荷管理画面により、競りの対象商品等の指定乃至管理を行うことができる。

尚、配荷管理画面の右側には、エレクトリック・コマース（EC）の取引処理の欄が設けられており、その下部には、（B2）の取引処理及び（C）の取引処理の欄が設けられている。そして、これらの（B2）の取引処理及び（C）の取引処理の文字部分をクリックすることで、各々の取引処理の入力画面に移行し、その取引処理を開始する等を行うことができるようになされている。したがって、この画面は、種々の取引全体を管理する画面、ともいうことができる。

15 上述のような配荷管理画面等により行われる処理の流れについて、図 26 及び図 27 を用いて説明する。

まず、競りの前々日（12/1）時点では実際に出荷する生花の総量（入荷量）が不明の状態にある。これは、生花が、気象や災害等の自然条件の影響を受けやすいものであるためである。このとき、（A）及び（B1）の取引処理（タイプ 1 の取引処理）により、卸売市場側（ディーラ：地方市場、経済連、農協、商社、農事法人、輸入業者、卸業者等）と買手側間で取引が行われる（ $x_1 = 200$  本の取引成立）。これにより、売手側は生産計画を立て、この生産計画に基づいて、生産者側は生産調整を行う。

次に、競りの前日（12/2）には、生産者側で出荷できる生花の総量が確定し、この情報（確定情報）が売手側に連絡される。売手側が生産者側からの確定情報を受けることで、出荷量が確定する（1000 本出荷確定）。この情報（確定出荷量情報）は、売手側から卸売市場側に連絡される。卸売市場側は、出荷確

定された 1 0 0 0 本のうち取引成立した  $x_1 = 2 0 0$  本を除く残り 8 0 0 本に対して、引荷を行う ( $x_2 = 1 0 0$  本引荷)。この結果の残り 7 0 0 本に対して、更に引荷を行う必要があったものとする ( $x_2' = 5 0$  本引荷)、残量は 6 5 0 本となる。そこで、卸売市場側は、この残量 6 5 0 本に対して、上述した (B

5   ータイプ 1 又は 2) 及び (C) の取引処理により、買手 1 と取引を行う ( $x_3 = 5 0 0$  本の取引成立)。したがって、この取引後の残量は 1 5 0 本となり、この 1 5 0 本が競りの対象となる。そして、これらの競りの対象商品の特定や、残商品等の管理は、上記図 2 5 に示したような配荷管理画面上での操作により行われる。

- 1 0    上述のような処理が実行される引荷機能 3 2 6 及び現品販売機能 3 2 7 により、例えば、仲卸業者と従来より取引のある業者 (地方市場、経済連、農協、農事法人、商社、輸入業者、卸売業者等、従来から生産業者を持ち、従来では電話連絡等により取引を行っていた業者) も、この生花取引システム 1 0 0 に参加して、自端末装置上で全体の入荷量を把握しながら、引荷及び競り等を考慮した先渡し取引や現品取引等を効率的に行うことができる。
- 1 5

尚、ここでは、(A)、(B)、及び (C) の取引処理の結果、残った商品 (現品) を更に取り引することとしたが、これに限らず、(A) 及び (B) の取引処理の結果、残った商品を更に取り引 (先渡し取引) することとしてもよい。また、緊急取引処理の一例として引荷処理を挙げて説明したが、先取り処理等を行う場

- 2 0   合も同様にして処理できる。

#### [第 6 の実施の形態]

本実施の形態では、上述した第 1 の実施の形態における (A) ~ (C) の取引処理において、売手業者側の販売形態に特徴を持たせる。すなわち、売手業者が

2 5   、生花の入荷量が確定しない状況下での販売 (確定前販売処理、以下、「販売 1」とも言う) と、その入荷量が確定した状況下での販売 (確定後販売処理、以下、「販売 2」とも言う) と、競りによる現品販売 (現品販売処理、以下、「販売

3」と言う)とを、自端末装置上で行うことで、入荷から競りまでの配荷管理を効率的に行えるようにする。

尚、ここでのサーバ側の端末装置は、上述した第5の実施の形態と同様に(上記図24参照)、引荷処理を実行する引荷機能326と、引荷処理等により発生した残商品を販売するための現品販売機能327とを有するものとする。また、(A)~(C)の取引処理の各取引処理を、EC(Electronic Commerce)システムによる取引処理、或いは、EC取引処理とも言う。

図28は、売手業者側の端末装置での画面イメージを時系列的に示したものである。以下、上記図28を用いて、販売1から販売3までの生花の流れについて10の概要を説明する。

(販売1の形態:生花の入荷量が確定しない状況下での販売)

ここでは、競りの前々日の段階での販売とする。この競りの前々日の段階では、生花の入荷量は天候等の影響により確定できない。そこで、大体の見込量にて販売の取引が行われる。先ず、見込販売オペレーション画面500上にて所定の操作が行われることで、(A)及び(B1)の取引処理(EC取引処理)に移行する。そして、(A)及び(B1)の取引処理が実行されると、すなわち見込み(予測)の販売量に基づいた(A)及び(B1)の取引処理による販売が行われると、ここでの取引による成約の数 $\beta$ (結果数、例えば、200ケース)が確定し、この結果数 $\beta$ は販売1の結果情報として、見込販売オペレーション画面50200に反映される。

(販売2の形態:生花の入荷量が確定した状況下での販売)

ここでは、競りの前日の段階での販売とする。この競りの前日に、入荷量 $\alpha$ (販売量、例えば、1000ケース)がFax通知等により確定すると、その入荷量 $\alpha$ の情報が見込販売オペレーション画面500に反映され、この結果画面上には、未処理数 $\alpha - \beta$ ( $=1000 - 200 = 800$ ケース)が表示される。実際には、ここからが販売2の形態となる。販売2の形態においては、未処理販売オペレーション画面600上で所定の操作が行われることで、(B2)の取引処理

、（Ｃ）の取引処理（ＥＣ取引処理）、及び引荷処理（第５の取引処理）に移行する。ここで、未処理販売オペレーション画面６００には、入荷量 $\alpha$ （＝１０００ケース）、及び未処理数 $\alpha - \beta$ （＝８００ケース）が表示されており、未処理数 $\alpha - \beta$ に対して、（Ｂ２）の取引処理、（Ｃ）の取引処理、及び引荷処理が行われることになる。この結果、（Ｂ２）及び（Ｃ）の取引処理による成約の数と、及び引荷した数とを加算した結果数 $\gamma$ （例えば、５００ケース）が確定し、確定前の未処理数 $\alpha - \beta$ （＝８００ケース）が、未処理数 $\alpha - \beta - \gamma$ （＝１０００－２００－５００＝３００ケース）に更新されることになる。

（販売３の形態：競りによる現品販売）

- １０      ここでは、競りの当日の段階での販売とする。生花が実際に入荷（到着）し販売する量 $\alpha'$ （最終販売量、例えば、９５０ケース）が確定すると、未処理販売オペレーション画面６００では、確定前に入荷量 $\alpha$ （＝１０００ケース）が、最終販売量（入荷量） $\alpha'$ （＝９５０ケース）に更新されて表示される。これに伴って、未処理数 $\alpha - \beta - \gamma$ （＝３００ケース）も、未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ （＝
- １５      ５．０－２００－５００＝２５０ケース）に更新されて表示される。実際には、ここからが販売３の形態、すなわち生花が実際に到着し、実際の未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ が確定してからの販売形態となる。したがって、販売３の形態においては、未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ （＝２５０ケース）が競り（現品販売）の対象となり、この未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ の生花が競りにかけられることになる。
- ２０      上述のように、販売量が確定する前の販売１の形態では、（Ａ）の取引処理、及び（Ｂ１）の取引処理により、見込みの販売量に対して取引を行い、販売量が確定した後の販売２の形態では、（Ｂ２）の取引処理、（Ｃ）の取引処理、及び引荷処理により、販売１の形態での取引結果（ $\beta$ ）と、確定した販売量（ $\alpha$ ）とから得られた販売量（ $\alpha - \beta$ ）に対して取引を行う。そして、実際に商品が到着
- ２５      し、実際の販売量が確定した後の販売３の段階では、販売２の形態での取引の結果、結局残った分（ $\alpha' - \beta - \gamma$ ）を現品販売（競り）することになる。

つぎに、上述した販売 1、販売 2、及び販売 3 の各々の販売形態による取引処理について具体的に説明する。

販売 1～販売 3 の形態で取引を行うようになされた売手業者側の端末装置では、例えば、図 29 に示すような画面がトップ画面（配荷管理トップ画面）となる。

この配荷管理トップ画面には、“ユーザ ID（売手業者の ID）”、“着荷日”、“産地”、“生産者名”、“品目”、“形態”、“品種”、“色”、及び“等階級”の各欄に対応した入力部が設けられている。また、「配荷画面」及び「配荷画面終了」の各項目も設けられており、これらの項目は、アイコン機能と同様に、その文字部分をクリックすると、その文字部に対応した処理が実行されるようになされている。「配荷画面」及び「配荷画面終了」の各項目については、文字表示に限らず、絵柄等で表示するようにしてもよい。

また、配荷管理トップ画面において、ユーザ ID や着荷日等を入力する際、実際の名称（“愛知渥美町”や“黄”等）を直接入力することもできるが、予め定められたコードで入力すること等もできるようになされている。

そこで、端末装置の使用者は、例えば、キーボードやマウス等を用いて、ユーザ ID と、販売希望する生花の着荷日（“平成 9 年 12 月 15 日（月）”等）、産地（“愛知渥美町”等）、生産者名、品目（“キク”等）、形態（“スプレー”等）、品種（“アルプス”等）、色（“黄”等）、及び等階級（“2 L”等）の属性を、対応する入力部に入力した後、「配荷画面」部分を指定（クリック）する。これにより、そのときの販売段階に応じて、上記図 28 に示したような、販売 1～販売 3 の形態による取引が実行されることになる。

上記図 29 の配荷管理トップ画面から開始される販売 1～販売 3 の形態による取引処理は、例えば、図 30 に示すようなフローチャートに従って行われる。

ステップ S101：

まず、販売 1 の形態による取引が開始される。すなわち、競り前々日において、上記図 29 の配荷管理トップ画面上で販売希望する生花の属性の入力が行われ

、「配荷画面」の項目がクリックされると、例えば、図 3 1 に示すような見込販売オペレーション画面に移行する。ここでは、入力された生花の属性として、品目”キク”、形態”スプレー”、品種”アルプス”、等階級”2 L”、色”黄”が入力されたものとする。ここでの見込販売オペレーション画面には、配荷管理  
5 トップ画面にて入力された生花に対しての取引処理状況を示すために、”入荷量”、”（A）取引”、”（B 1）取引”、”結果”、及び”未処理数”の各欄に対応した表示部が設けられている。したがって、これらの表示部に、現在の取引状況に応じた情報が表示されることになる。

また、この画面の”（A）取引”及び”（B 1）取引”に対応した表示部には  
1 0 、各々「E C」項目が表示される。この「E C」項目は、アイコン機能と同様に、その文字部分をクリックすると、その文字部に対応した後述する処理が実行されるようになされている。「E C」項目については、文字表示に限らず、絵柄等で表示するようにしてもよい。

このとき、生花の入荷量 $\alpha$ が確定する前の段階であるため、見込販売オペレーション画面の状態は、”入荷量”、”結果”、及び”未処理数”に対応した各表示部が空白の状態となっている。

そこで、売手業者は、マウス等を用いて、”（A）取引”に対応した表示部の「E C」部分をクリックする。これにより、上記図 4 に示した取引トップ画面に移行する。そして、売手業者は、上述したようにして（A）の取引処理を実行す  
2 0 ることで、例えば、1 0 0 ケースの生花を処理する。また、同様にして、”（B 1）取引”に対応した表示部の「E C」部分をクリックする。これにより、上記図 4 に示した取引トップ画面に移行する。そして、上述したようにして（B 1）の取引処理を実行することで、例えば、1 0 0 ケースの生花を処理する。

ステップ S 1 0 2 :

2 5 ステップ S 1 0 1 により、（A）及び（B 1）の取引処理が実行されると、これらの取引処理が終了するまで、待機状態となる。そして、取引処理が終了すると、次のステップ S 1 0 3 に進む。

ステップ S 1 0 3 :

ステップ S 1 0 1 での (A) 及び (B 1) の取引処理の結果、合計 2 0 0 ケースが成約決定したものとする。この成約決定した数 (結果数)  $\beta$  は、図 3 2 に示すように、見込販売オペレーション画面において、“結果” に対応した表示部に  
5 “2 0 0 c / s” として表示される。このとき、平均単価を示す “@ 8 5” も表示される。

ステップ S 1 0 4 :

ステップ S 1 0 1 ~ S 1 0 3 で示したような、(A) 及び (B 1) の取引処理による販売 (見込販売) は、入荷量  $\alpha$  が確定するまで行うことができる。そして  
1 0 、競り前日において、生産者側からの F a x 通知等により、入荷量 (予定入荷量)  $\alpha$  (例えば、1 0 0 0 ケース) が確定すると、次のステップ S 1 0 5 に進む。

ステップ S 1 0 5 :

確定した入荷量  $\alpha$  は、図 3 3 に示すように、見込販売オペレーション画面において、“入荷量” に対応した表示部に “1 0 0 0 c / s” として表示される。また、結果数  $\beta$  と、入荷量  $\alpha$  とから未処理数  $\alpha - \beta$  ( $= 1 0 0 0 - 2 0 0 = 8 0 0$   
1 5 ケース) が算出され、この算出結果である “8 0 0 c / s” が “未処理数” に対応した表示部に表示される。

ステップ S 1 0 6 :

上述のような販売 1 の形態による取引が終了すると、次に、販売 2 の形態による取引が開始される。この取引は、販売 1 の形態による取引で未処理であった生  
2 0 花 (未処理数  $\alpha - \beta = 8 0 0$  ケース) に対して、図 3 4 に示すような未処理販売オペレーション画面により行われる。

未処理販売オペレーション画面には、上記図 3 4 に示すように、未処理数  $\alpha - \beta$  に対しての取引処理状況を示すために、“入荷量”、“(B 2) 取引”、“(C) 取引”、“引荷”、“結果”、及び “未処理数” の各欄に対応した表示部が  
2 5 設けられている。したがって、これらの表示部に、現在の取引状況に応じた情報が表示されることになる。

また、この画面の” (B 2) 取引” 及び” (C) 取引” に対応した表示部には、各々「E C」項目が表示される。この「E C」項目は、アイコン機能と同様に、その文字部分をクリックすると、その文字部に対応した後述する処理が実行されるようになされている。「E C」項目については、文字表示に限らず、絵柄等

5 で表示するようにしてもよい。

したがって、販売 1 の形態での入荷量  $\alpha$  (= 1 0 0 0 ケース)、及び未処理数  $\alpha - \beta$  (= 8 0 0 ケース) は、未処理販売オペレーション画面において、” 入荷量” 及び” 未処理数” に対応した各表示部に” 1 0 0 0 c / s” 及び” 8 0 0 c / s” として表示されている。

1 0 そこで、売手業者は、マウス等を用いて、” (B 2) 取引” に対応した表示部の「E C」部分をクリックする。これにより、上記図 4 に示した取引トップ画面に移行する。そして、売手業者は、上述したようにして (B 2) の取引処理を実行することで、例えば、1 5 0 ケースの生花を処理する。また、同様にして、”

(C) 取引” に対応した表示部の「E C」部分をクリックする。これにより、上記図 4 に示した取引トップ画面に移行する。そして、売手業者は、上述したようにして (C) の取引処理を実行することで、例えば、1 5 0 ケースの生花を処理する。さらに、引荷するケース数を、例えば、” 2 0 0” として、” 引荷” に対応した表示部に入力する。

このようにして、(B 2) 及び (C) の取引処理で処理される数量、及び引荷数は、未処理販売オペレーション画面において、図 3 5 に示すように、” (B 2) 取引” 及び” (C) 取引” に対応した表示部に” 1 5 0 c / s” 及び” 1 5 0 c / s” として表示される。

ステップ S 1 0 7 :

2 0 ステップ S 1 0 6 により、(B 2) 及び (C) の取引処理、及び引荷処理が行されると、それらの処理が終了するまで、待機状態となる。そして、各処理が終了すると、次のステップ S 1 0 8 に進む。

ステップ S 1 0 8 :



ステップS106での(B2)及び(C)の取引処理の結果、合計300ケースが成約決定したものとする。また、引荷するケース数として、“200”が入力されたものとする。この場合、販売数300+引荷数200=500ケースが結果数 $\gamma$ とされ、この結果数 $\gamma$ は、未処理販売オペレーション画面において、図36に示すように、“結果”に対応した表示部に“500c/s”として表示される。

ステップS109:

また、入荷量 $\alpha$ (=1000ケース)と、販売1での結果数 $\beta$ (=200ケース)と、販売2での結果数 $\gamma$ (=500ケース)とから未処理数 $\alpha - \beta - \gamma$ (=1000-200-500=300ケース)が算出され、この算出結果は、上記図36に示すように、上記図35に示した状態での未処理販売オペレーション画面に反映される。すなわち、“未処理数”に対応した表示部の表示が、“800c/s”から“300c/s”に更新される。

ステップS110:

ステップS106~S109で示したような、確定した入荷量 $\alpha$ に基づいた(B2)及び(C)の取引処理による販売及び引荷は、実際に生花が到着して、実際の入荷量(現品数)が確定するまで行うことができる。そして、競り当日において、生花が到着し、実際の入荷量 $\alpha'$ (例えば、950ケース)が確定すると、次のステップS111に進む。

ステップS111:

確定した実際の入荷量 $\alpha'$ (=950ケース)は、図37に示すように、上記図35に示した状態での未処理販売オペレーション画面に反映される。すなわち、“入荷量”に対応した表示部の表示が、“1000c/s”から“950c/s”に更新される。これに伴って、“未処理数”に対応した表示部の表示も、“300c/s”から“250c/s”(= $\alpha' - \beta - \gamma$ )に更新される。

ステップS112:

上述のような販売1及び販売2の形態による取引が行われ、未処理数 $\alpha' - \beta$

$\gamma$ が確定すると、その未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ が"0"でない場合に、次のステップS113～S115が実行され、ステップS116の最終処理に進み、本処理終了となる。"0"である場合には、ステップS113～S115は実行されずに、そのままステップS116の最終処理に進み、本処理終了となる。これは  
 5 、例えば、実際の入荷量 $\alpha'$ 全てが、販売1及び販売2の形態での取引で裁ける場合があるためである。

尚、未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ が"0"ではないが、その未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ 分を次の販売3の形態で処理しない場合には、未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ が"0"である場合と同様に、そのままステップS116の最終処理に進み、本処理終了とな  
 10 る。

ステップS113：

上述のような販売1及び販売2の形態による取引が終了し、未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ が確定し、その未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ が"0"でない場合、販売3の形態による取引が開始される。

15 ステップS114：

この販売3の形態では、未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$  (=250ケース)から競り(現品販売)にかけ的分を確定し(ここでは、250ケースとする)、この確定した分を実際に競りにかける。

ステップS115：

20 そして、その競りが終了するまで待機状態となり、競りが終了すると、次のステップS116に進む。

ステップS116：

ここでは、終了処理が行われる。この終了処理として、例えば、市場管理側において、販売される種々の生花のうち、どの生花が取引終了となりどの生花が未  
 25 だ取引中であるのか等を識別できるように、未処理数 $\alpha' - \beta - \gamma$ が"0"となった生花(ここでは、品目"キク"、形態"スプレー"、品種"アルプス"、等階級"2L"、色"黄"の生花)の情報に付加されている取引処理終了フラグを

”ON”に設定する。また、この生花については取引が終了した、ということを示すメッセージ等を、経理部や管理部等に通知する。

- 5 上述のように、本実施の形態では、入荷量確定前の見込（予測）の販売量に基づいた販売形態を、システム化して端末装置上で実行できるようにした。特に、
- ①入荷される商品が確定した下での販売では、買手側が電話やファックス等により注文を売手側に通知し、売手側がその通知を見ながら、買手側の注文を引き当てていく。
- ②商品が実際に入荷して、商品が存在する下での販売では、売手側が、先取り（  
10 又は引荷）や競り等により販売を行う。
- 、という販売形態①、②に加えて、
- ③販売1の形態：入荷量確定前の見込（予測）の販売量に基づいて、買手側が発する注文情報による（A）の取引処理、及び売手側や卸売市場が発する販売情報による（B1）の取引処理により販売を行う。
- 15 ④販売2の形態：確定した入荷量に基づいて、売手側が発する販売情報による（B2）の取引処理、及び買手側が発する注文情報と売手側が発する販売情報による（C）の取引処理により販売を行うと共に、引荷（又は先取り）等を行う。
- ⑤販売3の形態：引荷（又は先取り）や、販売の結果残ったものを競り等の対象にして現品販売する。
- 20 というような、3つの販売形態③～⑤をシステム化して端末装置上で実行できるように構成した。また、ある販売の形態によって発生した結果が、そのときの環境の変化に伴って、その次の販売の形態に反映するように構成した。

- これにより、入荷から現品販売までの生花の取引をデータ上で効率的に行うことができる。特に、売手業者は、販売する生花に買手がつくか、どのくらいの量を  
25 を裁ききれるか等を事前に知ることができ、販売計画を立てることができる。また、引荷（又は先取り）、販売、競り等を考慮して、生花の取引を計画し、入荷された生花全てを効率的に裁くことができる。さらには、販売対象が生花のよう

に、ある期間が過ぎてしまうと品質が低下してしまう商品であっても、生花がダメージを受ける前に、より高い単価で効率的に裁くこともできる。したがって、競り等の当該日の需要と供給等に併せた、効率的な販売活動及び販売管理を行うことができる。また、買手業者も、生花を調達する機会（取引可能な時間）が増  
5 し、効率的な調達計画を立てることができる。さらに、売手業者と買手業者のみならず、生花を出荷する生産者も取引に関与することができる。さらに、また、買手業者にとっても売手業者にとっても公平な取引を行うことができ、取引形態の違う環境下（生花の情報の確定毎の違う各環境下）での商流管理を効率良く行うことができる。

1 0

尚、上記図 3 0 に示したフローチャートでは、販売 1 の形態による取引が開始されてから、ステップ S 1 0 4 で入荷量が確定したかを判別するようにしたが、この入荷量は、販売 1 の形態による取引が開始される前に確定している場合がある。例えば、輸入生花等のように、船便や空便で入荷するものは、事前に入荷量  
1 5 が確定している。

また、上記図 3 1 ～図 3 7 に示した各画面において、入荷量や各取引での結果等の情報を 1 行で表示するようにしたが、これに限らず、例えば、図 3 8 に示すように、処理の経過に伴って複数行で表示するようにしてもよい。

また、生産者側からの F a x 通知等により入力される生花の属性を、（A）、  
2 0 （B 1）、（B 2）、及び（C）の取引処理（E C 取引処理）での生花の属性に変換する機能を設けるようにしてもよい。具体的には、まず、販売 1 から販売 2 の形態に移行する前において、例えば、図 3 9 に示すように、入荷量は、生産者側からの F a x により通知される。この通知される情報は、入荷される生花の品目、品種、等階級、及びその数量等である。これらの情報は、業者側のシステム  
2 5 （業務システム）内に入力される。そして、該業務システムにおいて、所定のフォーマットに従ったファイルが生成され、これが本システムに入力されることになる。しかしながら、業務システムから出力されるファイルの構造は、本システ

ムにおけるファイル構造と異なる場合が考えられる。そこで、本システムに入力されるデータのファイル構造を、本システムにおけるファイル構造に変換する属性毎の変換テーブル、すなわち品目用の変換テーブルT B L 1、品種用の変換テーブルT B L 2、等階級用の変換テーブルT B L 3、・・・を用いることで、マッチングをとるようにする。或いは、これらの変換テーブルを用いる代わりに、例えば、W A I S (Wide Area Information Server) システムを利用したり、共通の属性コードを予め定める等をして、マッチングをとるようにする。このような変換を行うことで、生産者側からの情報が如何なるファイル構造で入力されたとしても、販売1から販売2の形態への移行をスムーズに行うことができる。

1 0

#### [第7の実施の形態]

本実施の形態では、上述した第1の実施の形態における(A)～(C)の取引処理に関する情報を、同一画面上に表示する。

1 5 上述したように、各業者の端末装置には、インターフェース機能4 2 0 (上記図2参照)としてのWWWブラウザ等により、サーバ側の端末装置を介して送られてくる各種情報が画面表示され、その表示画面上で使用者が操作することで、各種処理が進められるが、ここでは特に、各種の取引処理が行われる際の画面構成を、例えば、図40に示すように、コマンド部2 1 0と、2つの取引情報表示部2 2 1及び2 2 2と、条件入力部2 3 0とを有するものとしている。そして、  
2 0 この画面上における各種情報の表示制御等は、個人別データ配信管理機能3 2 5 (上記図2参照)により行われるようになされている。

上記図40において、コマンド部2 1 0には、「新規・変更」、「<<」、「<」、「>」、「>>」、「>」、及び「削除」等の項目が表示される。そして、装置の使用者からのマウス操作等により、これらの項目から任意の項目が選択され指定  
2 5 (クリック)されることで、その選択された項目に対応した処理が実行される。

取引情報表示部2 2 1及び2 2 2には、例えば、そのとき実行されている取引状況に応じて、異なる2つの取引形態で発生した各種情報が対応して表示される

。

条件入力部 2 3 0 には、ある取引処理での対象商品の情報を抽出（検索）するための各種条件が入力される。ここでは、対象商品である生花の” 着荷日”、” 登録日”、” 産地”、” 注文・応募・出荷・販売番号”、” 品目”、” 品種”、  
5 ” 色”、” 生産者等階級”、” 規格”、” A 取引／生産者”、” B 取引／生産者”、及び” C 取引／生産者” 等を入力する各入力部が設けられている。

また、条件入力部 2 3 0 には、「検索」及び「条件取消」等の項目が表示される。そして、装置の使用者からのマウス操作等により、これらの項目から任意の項目が選択され指定（クリック）されることで、その選択された項目に対応した  
1 0 処理が実行される。例えば、「検索」がクリックされることで、上述したような各入力部に入力された各種条件に該当する情報が、取引時に発生した各種情報のなかから検索され、その検索結果が取引情報表示部 2 2 1 及び 2 2 2 に表示される。

尚、上記の生産者等階級とは、例えば、生産者が各種の生花について分類する  
1 5 ための等級のことである。具体的には例えば、花のサイズにより、「秀」、「優」、「良」等を各生花に振り当てる。ここでは、生産者が振り当てた階級（等階級）を用いているが、これに限定されるものではない。また、コマンド部 2 1 0 の「新規・変更」、「<<」、「<」、「>>」、「>」、及び「削除」等の項目や、条件入力部 2 3 0 の「検索」及び「条件取消」等の項目の表示は、絵柄等  
2 0 でもよく、アイコン機能と同様に、その絵柄等の部分をクリックすると、その部分に対応した処理が実行されるようにしてよい。

まず、ここでの（A）～（C）の取引処理について、特に、上述した第 1 の実施の形態と異なる点について説明する。

## 2 5 （A）の取引処理

買手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図 3 参照）上で「注文」の項目を選択し指定する。これにより、装置には、上記図 4 0 に示した構成の画面が表示

される。そこで、買手業者は、この画面上のコマンド部 2 1 0 や条件入力部 2 3 0 により、調達（仕入）計画に従って、希望する購入日、生花の品目、品種、色、等階級、産地、総本数、及び価格等の購入情報を入力する。この入力情報は、サーバ側に送られる。この結果、例えば、図 4 1 に示すような、入力されたその購入情報と、その購入情報における” 合計本数”、” 未選定合計本数”、及び” 合計金額”等の情報とを含む注文情報一覧情報が生成され、この一覧情報は、買手業者側の端末装置の画面上の取引情報表示部 2 2 2 に表示される。このようにして、買手業者は、自端末装置上で調達（仕入）計画に従った生花の注文を行う。

- 1 0 売手業者は、自端末装置にて、買手業者が発した購入情報（注文／応募情報一覧情報）を画面上の取引情報表示部 2 2 2 で参照することで、販売（生産）計画に従って、買手業者が希望する生花を出荷可能であるか否かを判断し、出荷可能であれば、それを応募情報としてキーボード入力する。この応募情報は、サーバ側に送られる。このようにして、売手業者は、買手業者が発した購入情報に対して、
- 1 5 自端末装置上で応募する。

- 買手業者は、自端末装置の画面上の取引情報表示部 2 2 2 にて、注文情報一覧情報を再度参照する。このとき表示されている注文情報一覧情報には、サーバ側により、売手業者が発した応募情報が反映されている。すなわち、注文情報一覧情報の” 応募” 欄には、購入情報に対して応募した売手業者の注文件数が表示されるようになされており、買手業者は、” 応募” 欄部分の隣の” 応” のアイコン部をマウスで指定することで、購入情報に対して応募した売手業者の詳細情報が参照できるようになされている。このような注文情報一覧情報を買手業者が参照することで、買手業者は、購入情報に対して応募した売手業者のなかから希望する売手業者を選択して予約し、それを購入情報としてキーボード入力する。この
- 2 0 購入情報は、サーバ側に送られ登録される。
- 2 5

そして、サーバ側にて、買手業者と売手業者の成約が成り立つと、サーバ側から売手業者側に対して成約通知が送られ、売手業者は、これを受け、買手業者と

の取引が確定したことを認識する。

このとき、買手業者側の端末装置に画面表示されている注文情報一覧情報には、この成約が”未選定”欄に反映される。例えば、ある希望する生花の希望総本数が100本であり、この成約で100本全て確定した場合、未成約本数である  
5 未選定本数は0本となる。また、100本のうち40本が確定した場合、未選定本数は60本となる。また、売手業者が応募した本数が、希望する総本数より多い場合には、未選定数のマイナス表示を許すことにより、未選定本数がマイナス本数（-60本等）となる。

#### 10 (B) の取引処理

売手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図4参照）上で「予約」の項目を選択し指定する。これにより、装置には、上記図4.0に示した構成の画面が表示される。そこで、売手業者は、この画面上のコマンド部210や条件入力部230により、希望する生花の品目、品種、色、着荷日、等階級、産地、生産者名、  
15 箱数、及び価格等の販売希望情報である販売情報（出荷情報）をキーボード入力する。この入力情報は、サーバ側に送られる。この結果、例えば、図4.2に示すような、未成約の選定の箱数（残箱数）の情報を含む出荷情報一覧情報が作成される。この情報は、売手業者側の端末装置の画面上の取引情報表示部221に表示される。このようにして、売手業者は、自端末装置上で生花の販売を行う。

20 買手業者は、自端末装置にて、例えば、図4.3に示すような、売手業者が発した販売情報（出荷／応札情報一覧情報）を画面上の取引情報表示部221で希望商品を検索し参照することで、希望する品の箱数等を購入登録情報としてキーボード入力する。このとき、希望する箱数の一部の登録も行うことができる。例えば、出荷情報の残箱数が50箱であり、買手業者が本来希望する箱数は20箱で  
25 あるが、そのうちの10箱のみを登録することもできる。そして、このような購入登録情報は、サーバ側に送られる。このようにして、買手業者は、売手業者が発した出荷情報に対して、自端末装置上で購入登録する。



売手業者は、自端末装置にて、買手業者の登録状況を画面上の取引情報表示部 2 2 1 にて参照して判断し、買手業者と成約する。

- 尚、買手業者側において、(B 1) の取引処理で購入登録を行う際に購入価格の指定を行って、これを購入登録情報とする (B 2) の取引処理も行うことができる。この取引処理では、例えば、売手業者側の端末装置において、複数の買手業者から指定された各購入価格に基づいて、適切な買手業者（最も購入価格の高い買手業者等）を自動的に決定するようなアルゴリズムを実行させるようにすることも可能である。また、販売情報で残数 1 0 箱に対し、買手業者は、購入登録情報として、例えば、6 箱とし、且つ、6 箱以下でも購入する旨の情報を登録することもできる。これにより、残数 1 0 箱に対して、甲乙 2 名の買手業者が各々 6 箱の購入登録しても、甲が 6 箱以下でも購入するという情報であれば、乙に 6 箱、甲に 4 箱、という成約も可能となる。

#### (C) の取引処理

- 1 5 例えば、売手業者が、(B) の取引処理の結果、販売情報として発した数量を全て裁ききれなかった場合、具体的には、ある生花を 1 0 0 箱、販売希望したにも関わらず、そのうちの 6 0 箱しか買手業者と成約できなかった場合、4 0 箱が残ってしまう。

- 2 0 このような販売漏れの生花（未成約の生花）がある場合には、売手業者は、自端末装置にて、未成約の生花を検索し、その情報を得て、トップ画面（上記図 4 参照）の「複写」項目を選択し指定することで、販売漏れの生花、すなわち (B) の取引処理での対象生花のうち販売漏れの生花についてを、本取引処理に移行する。そして、売手業者は、販売漏れの生花について、(B) の取引処理と同様にして、販売情報をキーボード入力する。また、このとき、新規に販売希望する 2 5 生花があれば、それについての販売情報も入力する。このときに、下限価格情報（販売下限価格値）も入力する。そして、このような販売情報は、サーバ側に送られる。また、他の売手業者も同様にして各々、自端末装置にて、販売希望する

生花の販売情報を入力する。そして、各売手業者の販売情報も、サーバ側に送られる。したがって、サーバ側には、複数の売手業者の販売情報が存在することになる。

買手業者は、(B)の取引処理と同様にして、自端末装置にて、複数の売手業者が発した販売情報を画面上にて参照し、希望する条件に合った販売情報に対して購入登録するが、このとき、上述の(C1)或いは(C2)の取引処理で購入登録する。すなわち、(C1)の取引処理で購入登録する場合、買手業者は、自端末装置のトップ画面(上記図3参照)上で「一般Ⅰ」を選択し指定する。これにより、装置は、上記図40に示した構成の画面が表示される。そこで、買手業者は、この画面上のコマンド部210や条件入力部230により、複数の売手業者が発した販売情報のうち希望する情報を取引情報表示部221で参照し、購入登録する。ここでの購入登録は、例えば、希望する生花の”品目”及び”色”のみならず、”品種”や”等階級”等、その他の詳細な条件を特定できるようになされている。また、買手業者は、このような詳細な条件を複数の販売情報に対して特定できるようになされている。

一方、(C2)の取引処理で購入登録する場合、買手業者は、自端末装置のトップ画面(上記図3参照)上で「一般Ⅱ」を選択し指定する。これにより、装置の画面上にて、複数の売手業者が発した販売情報が参照可能となり、購入登録可能状態となる。但し、この場合、ここでの購入登録は、例えば、希望する生花の”品目”及び”色”のみの条件を特定できるようになされている。

他の買手業者も同様にして各々、自端末装置にて、複数の売手業者が発した販売情報を参照して、(C1)或いは(C2)の取引処理で購入登録する。これらの購入登録情報は、サーバ側に送られる。したがって、サーバ側には、複数の売手業者が発した販売情報と、複数の買手業者が発した購入登録情報とが存在することになる。このときの画面に表示される販売情報には、”下限値”の情報は含まれない。

サーバ側では、所定の成約決定アルゴリズムによる成約決定処理により、複数

の売手業者が発した販売情報と、複数の買手業者が発した購入登録情報とに対し、双方の条件の折り合うものから順次成約（価格）を決定する。例えば、ここでの成約決定アルゴリズムは、販売下限価格の条件を満たし、且つ、購入価格の高い順、購入情報の入力時間の早い順等により成約を決定するものである。

- 5 この成約決定についての情報は、売手業者側及び買手業者側に通知される。これにより、売手業者及び買手業者は各々、自端末装置にて、成約決定について認識する。

つぎに、上記図 4 0 の構成の画面上に表示される情報について具体的に説明する。  
1 0

- ここでは、上記図 4 0 の画面構成により、買手業者側及び売手業者側の各々において、（A）の取引処理時に発生した買手業者側の情報（購入情報）が表示されると共に、その同一画面上に、そのときの取引経過状況に応じて、（B）の取引処理時に発生した売手業者側の情報（販売情報）、又は、（C）の取引処理（  
1 5 具体的には（C 1）の取引処理）時に発生した売手業者側の情報（販売情報）との異なる 2 つの取引情報が同時に表示されるようになされている。

- ここでは説明の簡単のために、（A）の取引処理での購入情報と（B）の取引処理での販売情報が同時に表示される状態を表示パターン 1 とし、（A）の取引処理での購入情報と（C）の取引処理での販売情報が同時に表示される状態を表示パターン 2 として、以下の説明を行う。  
2 0

（表示パターン 1）

図 4 4 は、上記図 4 0 の画面にて、各情報買手業者側及び売手業者側が各々の画面上にて参照可能な情報を示したものである。

- 2 5 この図 4 4 において、 $\alpha$ ,  $\beta$ , ... は、本システムに参加している買手業者を示し、甲, 乙, ... は、本システムに参加している売手業者を示す。

（注） $\alpha$ , （注） $\beta$ , ... は、 $\alpha$ ,  $\beta$ , ... の各買手業者が（A）取引

処理にて出力する購入情報を示し、(応)  $\alpha$ 、(応)  $\beta$ 、・・・は、(注)  $\alpha$ 、(注)  $\beta$ 、・・・に対して、任意の売手業者が出力する応募情報を示す。

(販) 甲、(販) 乙、・・・は、甲、乙、・・・の各売手業者が(B) 取引処理にて出力する販売情報を示し、(成) 甲、(成) 乙、・・・は、(販) 甲、(販) 乙、・・・に対する任意の買手業者との成約情報を示す。

そこで、 $\alpha$ の買手業者と甲の売手業者に着目すると、まず、 $\alpha$ の買手業者は、自分が出した(注)  $\alpha$ と、それに対する(応)  $\alpha$ と、甲、乙、・・・の全ての売手業者が出した(販) 甲、(販) 乙、・・・とが参照可能となる。したがって、これらの情報が、 $\alpha$ の買手業者側の端末装置にて、その画面上の取引情報表示部 2 2 1 及び 2 2 2 に表示されることになる。また、 $\alpha$ の買手業者は、上記図 4 に示したトップ画面の「集統計」の項目が指定されることで生成される集統計情報も参照することができる。この集統計情報とは、今後発生する予定の取引(既に決定している取引)についての情報、具体的には、先渡し(荷渡し)の日付、生花の平均価格、最高価格、最低価格、及び総本数等の情報を含むものである。このような情報は、画面上の条件入力部 2 3 0 により、日付け、品目、品種等の条件を入力することで、指定された条件毎の情報が取引情報表示部 2 2 2 に表示されるようになされている。

一方、甲の売手業者は、 $\alpha$ 、 $\beta$ 、・・・の全ての買手業者が出した(注)  $\alpha$ 、(注)  $\beta$ 、・・・と、自分が出した(販) 甲と、それに対する(成) 甲とが参照可能となる。したがって、これらの情報が、甲の売手業者側の端末装置にて、その画面上の取引情報表示部 2 2 1 及び 2 2 2 に表示されることになる。また、甲の売手業者も、上記図 3 に示したトップ画面の「集統計」の項目が指定されることで生成される上述したような集統計情報も参照することができる。このような情報は、画面上の条件入力部 2 3 0 により、日付け、品目、品種等の条件を入力することで、指定された条件毎の情報が取引情報表示部 2 2 1 に表示されるようになされている。

したがって、例えば、買手業者側において、買手業者が希望する生花を購入す

るために、その希望する生花の条件（”品目”や”品種”等の属性）を、上記図 40 の画面上にて条件入力部 230 を操作して入力すると、装置の画面上には、図 45 に示すように、その入力情報が注文情報（購入情報）一覧として取引情報表示部 222 に表示されると同時に、これに該当する売手業者で発生した出荷／  
5 応札情報（販売情報）一覧が取引情報表示部 221 に表示される。買手業者は、自分が出した購入情報と、売手業者側が発した販売情報とを参照して、（A）や（B）の取引処理を実行することで、売手業者との取引を行う。このように、買手業者は、自分が出した購入情報と、それに該当する相手側が出した販売情報とを同時に参照して取引することができるため、希望する生花を確実に手に入れる  
10 ことができる。

一方、売手業者側においても同様に、売手業者がある生花を販売するために、その販売する生花の条件を、上記図 40 の画面上にて条件入力部 230 を操作して入力すると、装置の画面上には、図 46 に示すように、その入力情報が出荷情報（販売情報）一覧として取引情報表示部 221 に表示されると同時に、これに  
15 該当する買手業者で発生した注文／応札情報（注文情報）一覧が取引情報表示部 222 に表示される。売手業者は、自分が出した販売情報と、買手業者側が発した購入情報とを参照して、（A）や（B）の取引処理を実行することで、買手業者との取引を行う。このように、売手業者も、自分が出した販売情報と、それに該当する相手側が出した購入情報とを同時に参照して取引することができるため  
20 、販売する生花を確実に裁くことができる。

#### （表示パターン 2）

（C）の取引処理では、上述したように、売手業者は未成約の生花についての販売情報が出力される。したがって、本パターン 2 の場合、買手業者は、自分が出した購入情報と、相手側が出した未成約の販売情報とが参照可能となり、売手業者は、自分が出した未成約の販売情報と、相手側が出した購入情報とが参照可能となる。  
25

具体的には、例えば、図 4 7 に示すように、 $\alpha$  の買手業者と甲の売手業者に着目すると、まず、 $\alpha$  の買手業者は、自分が出した（注） $\alpha$  と、甲，乙，・・・の全ての売手業者が出した未成約の（販）甲，（販）乙，・・・とが参照可能となる。したがって、これらの情報が、 $\alpha$  の買手業者側の端末装置にて、その画面上

5 の取引情報表示部 2 2 1 及び 2 2 2 に表示されることになる。

一方、甲の売手業者は、自分が出した未成約の（販）甲と、 $\alpha$ ， $\beta$ ，・・・の全ての買手業者が出した（注） $\alpha$ ，（注） $\beta$ ，・・・とが参照可能となる。したがって、これらの情報が、甲の売手業者側の端末装置にて、その画面上の取引情報表示部 2 2 1 及び 2 2 2 に表示されることになる。

1 0 尚、（A）の取引処理での情報のうち各業者が参照可能な情報については、上述の表示パターン 1 の場合と同様であるため（上記図 4 4 参照）、その詳細な説明は省略する。また、（C）の取引処理では、売手業者は新規の生花についての販売情報も出すことが可能であるが、この情報の扱いについては、（B）の取引処理での販売情報と同様であるため、その詳細な説明は省略する。

1 5 したがって、例えば、買手業者側において、買手業者が希望する生花を購入するために、その希望する生花の条件（”品目”や”品種”等の属性）を、上記図 4 0 の画面上にて条件入力部 2 3 0 を操作して入力すると、装置の画面上には、図 4 8 に示すように、その入力情報が注文情報（購入情報）一覧として取引情報表示部 2 2 2 に表示されると同時に、これに該当する売手業者で発生した販売情報

2 0 一覧が取引情報表示部 2 2 1 に表示される。買手業者は、自分が出した購入情報と、売手業者側が発した販売情報とを参照して、（A）や（C）の取引処理を実行することで、売手業者との取引を行う。このように、買手業者は、自分が出した購入情報と、それに該当する相手側が出した販売情報とを同時に参照して取引することができるため、希望する生花を確実に手に入れることができる。

2 5 一方、売手業者側においても同様に、売手業者が未成約或いは新規の生花を販売するために、その販売する生花の条件を、上記図 4 0 の画面上にて条件入力部 2 3 0 を操作して入力すると、装置の画面上には、図 4 9 に示すように、その入

力情報が販売情報一覧として取引情報表示部 2 2 1 に表示されると同時に、これに該当する買手業者で発生した注文／応札情報（注文情報）一覧が取引情報表示部 2 2 2 に表示される。売手業者は、自分が出した販売情報と、買手業者側が発生した購入情報とを参照して、（A）や（C）の取引処理を実行することで、買手業者との取引を行う。このように、売手業者も、自分が出した販売情報と、それに該当する相手側が出した購入情報とを同時に参照して取引することができるため、未成約或いは新規に販売する生花を確実に裁くことができる。

上述のように、本実施の形態では、各業者の端末装置において、その画面構成を上記図 4 0 に示したような構成とし、条件操作入力部 2 3 0 から入力された情報に基づいて、取引情報表示部 2 2 1 には（B）又は（C）の取引処理に関する情報（販売情報）を表示し、これと同時に、取引情報表示部 2 2 2 には（A）の取引処理に関する情報（購入情報）を表示するようにした。このように、取引形態が異なる取引処理に関する情報を同一画面上に表示するように構成したため、買手業者は、希望する生花についての購入情報と、それに対する売手業者の応募情報やその希望する生花に該当する販売情報との全ての情報を同時に参照することができ、また、売手業者との取引を異なる取引形態によって行うことができる。また、売手業者も、販売したい生花についての販売情報と、それに対する買手業者の購入登録情報やその販売したい生花に該当する購入情報との全ての情報を同時に参照することができ、また、売手業者との取引を異なる取引形態によって行うことができる。

したがって、買手業者は、計画的に生花の調達を画面上で容易に且つ効率的に行うことができると共に、その生花を確実に調達することができる。また、売手業者も、計画的に生花の販売を画面上で容易に且つ効率的に行うことができると共に、その生花を確実に販売することができる。

〔第 8 の実施の形態〕

ところで、第１～第７の実施の形態により、商品の売買取引を電子的にシステム化した構成とすることで、各業者は卸売市場まで出向くことなく、自端末装置上にて商品の売買取引を行うことができる。この売買取引システム（生花取引システム１００）では、上述したように、複数の買手業者及び複数の売手業者がシステムに参加しており、各々の業者から購入情報及び販売情報が発行された場合には、買手業者から提示された各々の販売情報に対する購入の意思や条件、購入情報の入力順、購入情報に含まれる購入希望価格の高い順、というような固定のルールに従って、販売情報との引当を行い、取引を決定する。

しかしながら、買手業者と売手業者が取引する際の条件とは多種多様なものであり、各々が発する購入情報と販売情報は異なっているのが通常である。このような状況において、単に固定のルールに従って取引を決定すると、取引の機会を限定することになり、また、取引の決定の機会や割合も低くなってしまうことが考えられる。具体的には例えば、単純に購入希望価格の高い順に、購入情報と販売情報の引当を行った場合、購入希望価格が低い買手業者に対する取引が成立しにくくなる。これは、とにかく商品の単価を安くして大量の商品を裁きたい売手業者や、とにかく単価の安い商品を大量に購入したい買手業者にとっては不利になる。

そこで、本実施の形態では、第１～第７の実施の形態による商品の売買取引において、複数の買手業者と複数の売手業者間の売買取引を効率的に行い、該売買取引の成立の割合を高めることを可能とする。

このため、サーバ側の端末装置は、上記図２に示したアプリケーション機能としての各機能に加えて、例えば、図５０に示すように、クラスタリング機能３２８を有している。クラスタリング機能とは、本実施の形態での最も特徴とする機能であり、詳細は後述するが、各々が複数の購入情報（Ａ１），（Ａ２），・・・，（Ａｎ）及び販売情報（Ｂ１），（Ｂ２），・・・，（Ｂｎ）を、所定のアルゴリズムに従って紐付けして、取引成立を決定するための機能である。

ここで、上記図５０は、上記図１の生花取引システム１００での複数の買手業



者A 1, A 2, . . . , A nと、複数の売手業者B 1, B 2, . . . , B nとに着目したときの、各々が発行する購入情報及び販売情報を示したものである。

具体的には、ここでの生花取引システム1 0 0は、生花の市場管理を行うサーバ側の端末装置1 4 0（上記図1のサーバ1 0 1に対応）と、複数の買手業者A 1, A 2, . . . , A n側の端末装置1 2 0<sub>A1</sub>, 1 2 0<sub>A2</sub>, . . . , 1 2 0<sub>An</sub>（上記図1の小口買手業者1 5 1や大手買手業者1 2 1～1 2 3に対応）と、複数の売手業者B 1, B 2, . . . , B n側の端末装置1 3 0<sub>B1</sub>, 1 3 0<sub>B2</sub>, . . . , 1 3 0<sub>Bn</sub>（上記図1の大手売手業者1 1 1～1 1 4や小口売手業者1 4 1に対応）とが、WAN1 6 1を介して互いに通信可能に接続された構成としている。

サーバ側、売手業者B 1～B n側、及び買手業者A 1～A n側の各端末装置は、中央処理装置（CPU）、キーボード、マウス、表示器、通信器、及び本システムの処理プログラムが予め格納されたメモリ等を備えたパーソナルコンピュータ（パソコン）からなり、該メモリの処理プログラムをCPUが読み出して実行することで、後述する種々の処理が行われるようになされている。

また、生花取引システム1 0 0では、上述したようにして、各々の買手業者A 1, A 2, . . . , A nは、自端末装置1 2 0<sub>A1</sub>, 1 2 0<sub>A2</sub>, . . . , 1 2 0<sub>An</sub>を用いて、購入したい商品（生花）の情報（購入情報）（A 1）, （A 2）, . . . , （A n）を発行し、各々の売手業者B 1, B 2, . . . , B nも同様に、自端末装置1 3 0<sub>B1</sub>, 1 3 0<sub>B2</sub>, . . . , 1 3 0<sub>Bn</sub>を用いて、販売したい商品（生花）の情報（販売情報）（B 1）, （B 2）, . . . , （B n）を発行し、互いに互いの情報を端末装置の画面上にて参照することで、種々の取引形態にて生花の取り引きを進めるようになされている。

そこで、上述のような生花取引システム1 0 0において、例えば、買手業者A 1, A 2, . . . , A nと売手業者B 1, B 2, . . . , B nが本システムに参加し、各々の端末装置から、購入情報（A 1）, （A 2）, . . . , （A n）と販売情報（B 1）, （B 2）, . . . , （B n）が発行されると、これらの購入情報（A 1）, （A 2）, . . . , （A n）及び販売情報（B 1）, （B 2）,

・・・, (B<sub>n</sub>)は、WAN 110を介してサーバ側の端末装置140内のDBM 330に格納される。

ここでは、DBM 330に格納された購入情報(A1), (A2), ..., (A<sub>n</sub>)及び販売情報(B1), (B2), ..., (B<sub>n</sub>)を、図51及び図52に示すような情報とする。

上記図51に示すように、ここでの購入情報は、買手業者が購入を希望する生花の「品目」、「品種」、「色」、「等階級」、「産地」、「購入本数」、及び「購入希望価格」を含む。また、販売情報については、上記図52に示すように、売手業者が販売を希望する生花の「品目」、「品種」、「色」、「等階級」、「産地」、「販売本数」、「販売希望価格」、及び「最低販売価格」を含む。

上記図2及び図3に示したような、DBM 330に格納された購入情報(A1), (A2), ..., (A<sub>n</sub>)と販売情報(B1), (B2), ..., (B<sub>n</sub>)は、サーバ側の端末装置140が備えているクラスタリング機能により、以下に説明するようなアルゴリズムに従って紐付けが行われ、取引成立の決定がなされる。ここでは、上記のアルゴリズムの一例としてのアルゴリズム1～アルゴリズム4について説明する。

#### ＜アルゴリズム1＞

本アルゴリズムは、例えば、図53のフローチャートにより示される。

20 ステップS201:

購入情報(A1), (A2), ..., (A<sub>n</sub>)に対してクラスタリング処理を行う。このときのクラスタリング処理は、図54のフローチャートにより示される。ここでの「クラスタリング」とは、予め設定されたクラスタリング属性に基づいて、全ての注文情報(A1), (A2), ..., (A<sub>n</sub>)から集合(以下、「クラスタ」又は「クラスタリングフィールド」とも言う)を作成することを意味する。

具体的には先ず、DBM 330に格納されている購入情報(A1), (A2)

、・・・、(A<sub>n</sub>)の最初の購入情報(A<sub>1</sub>)を読み取る(ステップS 2 1 1)。  
。

次に、ステップS 2 1 1にて読み取った購入情報(A<sub>1</sub>)のクラスタリング属性を読み取る(ステップS 2 1 2)。このクラスタリング属性は、市場運営者により、商品の価格を決定する要素として商品属性の項目の中で重要な項目が設定される。ここでは、その一例として「品目」及び「色」が設定されているものとする。

したがって、このステップS 2 1 2では、購入情報(A<sub>1</sub>)に含まれる「品目－”ヒマワリ”」及び「色－”オレンジ”」が読み取られる。

1 0 次に、ステップS 2 1 2にて読み取ったクラスタリング属性を判別し(ステップS 2 1 3)、その判別結果に従って、該当するクラスタへ購入情報(A<sub>1</sub>)を割り当てる(ステップS 2 1 4)。この結果、購入情報(A<sub>1</sub>)は、上記図5 1に示すように、”ヒマワリーオレンジ”のクラスタbに割り当てられる。

以降の購入情報(A<sub>2</sub>)、・・・、(A<sub>n</sub>)についても同様にして、ステップ  
1 5 S 2 1 1～S 2 1 4の処理を行い、全ての購入情報(A<sub>1</sub>)～(A<sub>n</sub>)に対してのステップS 2 1 1～S 2 1 4の処理が終了すると(ステップS 2 1 5)、本処理終了となる。

したがって、購入情報(A<sub>1</sub>)、(A<sub>2</sub>)、・・・、(A<sub>n</sub>)は、上記図5 1に示すように、

2 0 ”キク大輪－白”のクラスタa：

購入情報(A<sub>2</sub>)、購入情報(A<sub>3</sub>)、購入情報(A<sub>7</sub>)

”ヒマワリーオレンジ”のクラスタb：

購入情報(A<sub>1</sub>)、購入情報(A<sub>5</sub>)、購入情報(A<sub>8</sub>)、購入情報(A<sub>9</sub>)

”スターチス－紫”のクラスタc：

2 5 購入情報(A<sub>4</sub>)、購入情報(A<sub>6</sub>)

にクラスタリングされる。

ステップS 2 0 2：

上述のクラスタリング処理にて生成された各クラスタ a ~ c 内において、購入情報の処理順（引当順）を決定する。

- 例えば、クラスタ a に着目すると、このクラスタ a は、購入情報(A2)、購入情報(A3)、及び購入情報(A7)からなる。そこで、これらの購入情報(A2)、(A3)、(A7)を購入希望価格が高い順に処理順を決定する。したがって、この場合の処理順は、購入情報(A3)、購入情報(A7)、購入情報(A2)、となる。ところで、購入情報(A7)の購入希望価格は、購入情報(A2)の購入希望価格よりも高いが、購入条件の指定数（指定項目数）が購入情報(A2)よりも少ない。すなわち、購入情報(A7)は、「品目」、「色」、「購入本数」、及び「購入希望価格」の指定がなされているが、これに対して購入情報(A2)は、購入情報(A7)の指定項目に加えて「品種」、「等階級」、及び「産地」の指定をもなされている。このように、購入希望する生花をより具体的に指定されている場合には、その購入情報(A2)を優先する。したがって、クラスタ a 内での処理順は、図 5 5 (a) に示すように、購入情報(A3)、購入情報(A2)、購入情報(A7)、に決定される。他のクラスタ b, c についても同様にして、購入情報の処理順を決定する。

ステップ S 2 0 3 :

上記図 5 4 に示したクラスタリング処理に従って、販売情報 (B 1), (B 2), ..., (B n) に対してもクラスタリング処理を行う。

- この結果、販売情報 (B 1), (B 2), ..., (B n) は、上記図 5 2 に示すように、

” キク大輪ー白 ” のクラスタ a' :

販売情報(B1), 販売情報(B5), 販売情報(B6), 販売情報(B9)

” ヒマワリーオレンジ ” のクラスタ b' :

販売情報(B2), 販売情報(B3), 販売情報(B7)

- ” スターチスー紫 ” のクラスタ c' :

販売情報(B4), 販売情報(B8)

にクラスタリングされる。

ステップ S 2 0 4 :

購入情報のクラスタ a, b, c と、それに対応する販売情報のクラスタ a', b', c' とにおいて、クラスタ毎に、購入情報と販売情報の紐付けを行って取引の成立を決定する。ここでの紐付け処理は、図 5 6 のフローチャートにより示される。

例えば、" キク大輪-白 " のクラスタに着目する。この場合、上記図 5 5 ( a ) 及び ( b ) に示すように、

購入情報のクラスタ a :

購入情報(A3)、購入情報(A2)、購入情報(A7)

1 0 販売情報のクラスタ a' :

販売情報(B1), 販売情報(B5), 販売情報(B6), 販売情報(B9)

となる。

そこで、ステップ S 2 0 2 にて決定された処理順に従って、購入情報(A3)から順に、上記図 5 6 に示される処理を実行する。

1 5 先ず最初の購入情報(A3)について、購入情報(A3)の購入希望価格" 1 3 0 円" に最も近い販売希望価格を有し、且つ購入希望価格" 1 3 0 円" が最低販売価格を下回っていない販売情報を検索する(ステップ S 2 2 1)。ここでは、販売情報(B9)が検索される。

次に、ステップ S 2 2 1 にて検索した販売情報(B9)の販売本数が" 0 " でないか否か、すなわち販売情報(B9)の販売本数の全てが取引終了(取引成立が決定)していないか否かを判別する(ステップ S 2 2 2)。ここでは、販売情報(B9)についての取引は未だ行われていないため、次のステップ S 2 2 3 からの処理が実行される。

2 5 ステップ S 2 2 3 では、販売情報(B9)の販売本数を購入情報(A3)に引き当てる。このとき、購入情報(A3)の購入本数は" 5 0 0 0 本" であり、販売情報(B9)の販売本数は" 4 0 0 0 本" であるため、図 5 7 に示すように、販売本数" 4 0 0 0 本" を購入本数" 5 0 0 0 本" のうちの" 4 0 0 0 本" に引き当てるようにす

る（図中斜線部分）。この結果、購入情報(A3)の購入本数” 5 0 0 0 本” のうちの” 4 0 0 0 本” と、販売情報(B9)の販売本数” 4 0 0 0 本” との取引が成立する。

5 ステップS 2 2 3により購入情報(A3)と販売情報(B9)の取引が成立すると、販売情報(B9)の販売本数を更新する（ステップS 2 2 4）。ここでは、販売情報(B9)の販売本数” 4 0 0 0 本” 全てが取引成立しているため、該販売本数が” 0 ” に更新される。

1 0 そして、購入情報(A3)の購入本数に残本数が有るか否かを判別する（ステップS 2 2 5）。ここでは、購入情報(A3)の購入本数” 5 0 0 0 本” のうちの” 4 0 0 0 本” が販売情報(B9)と取引成立しており、” 1 0 0 0 本” が未だ取引成立していないため、残本数有りと判別される。したがって、この場合には、次のステップS 2 2 6により、購入本数が” 1 0 0 0 本” に更新される。その後、ステップS 2 2 1に戻る。

1 5 ステップS 2 2 1に戻ると、該ステップS 2 2 1及び次のステップS 2 2 2により、販売情報(B9)の次に条件の合う販売情報(B1)が検索される。そして、ステップS 2 2 3により、上記図 5 7 に示すように、購入情報(A3)の残りの購入本数” 1 0 0 0 本” に対して、販売情報(B1)の販売本数” 1 0 0 0 0 本” のうちの” 1 0 0 0 本” が引き当てられ（図中黒部分）、購入情報(A3)の残りの購入本数” 1 0 0 0 本” と、販売情報(B1)の販売本数” 1 0 0 0 0 本” のうちの” 1 0 0 0 本” との取引が成立する。これにより、購入情報(A3)の購入本数” 5 0 0 0 本” 全てが、取引終了する。

そして、ステップS 2 2 4により、販売情報(B1)の販売本数が” 9 0 0 0 本” に更新された後、ステップS 2 2 5により、購入情報(A3)の残本数無しと判別されて、購入情報(A3)に対する本処理が終了する。

2 5 上述のようにして、購入情報(A3)に対する処理が終了すると、次の購入情報(A2)に対する処理を行う。この場合も、購入情報(A3)と同様にして、先ず、購入情報(A2)の購入希望価格” 8 5 円” に最も近い販売希望価格を有し、且つ購入希望

価格” 8 5 円” が最低販売価格を下回っていない販売情報を検索する（ステップ S 2 2 1）。ここでは、販売情報(B1)が検索される。

次に、ステップ S 2 2 1 にて検索した販売情報(B1)の販売本数が” 0 ” でないか否か、すなわち販売情報(B1)の販売本数の全てが取引終了（取引成立が決定）

- 5 していないか否かを判別する（ステップ S 2 2 2）。ここでは、販売情報(B1)の取引成立していない本数は” 9 0 0 0 本” であるため、次のステップ S 2 2 3 からの処理が実行される。

- ステップ S 2 2 3 では、販売情報(B1)の販売本数を購入情報(A2)に引き当てる。このとき、購入情報(A2)の購入本数は” 1 2 0 0 0 本” であり、販売情報(B1) 1 0 の販売本数は” 9 0 0 0 本” であるため、販売本数” 9 0 0 0 本” を購入本数” 1 2 0 0 0 本” のうちの” 9 0 0 0 本” に引き当てるようにする。この結果、購入情報(A2)の購入本数” 1 2 0 0 0 本” のうちの” 9 0 0 0 本” と、販売情報(B1)の販売本数” 9 0 0 0 本” との取引が成立する。

- ステップ S 2 2 3 により購入情報(A2)と販売情報(B1)の取引が成立すると、販 1 5 売情報(B1)の販売本数を更新する（ステップ S 2 2 4）。ここでは、販売情報(B1)の販売本数” 9 0 0 0 本” 全てが取引成立しているため、該販売本数が” 0 ” に更新される。

- そして、購入情報(A2)の購入本数に残本数が有るか否かを判別する（ステップ S 2 2 5）。ここでは、購入情報(A2)の購入本数” 1 2 0 0 0 本” のうちの” 9 2 0 0 0 本” が販売情報(B1)と取引成立しており、” 3 0 0 0 本” が未だ取引成立していないため、残本数有りと判別される。したがって、この場合には、次のステップ S 2 2 6 により、購入本数が” 3 0 0 0 本” に更新される。

- その後、ステップ S 2 2 1 に戻り、上述したようにして、以降の処理が進められる。そして、購入情報(A2)に対する処理が終了すると、次の購入情報(A7)に対する処理が同様にして行われる。 2 5

ステップ S 2 0 5 :

上述のようなステップ S 2 0 4 にて決定された取引成立については、各々の買

手業者及び売手業者に通知される。

上述のように、〈アルゴリズム 1〉では、各々の買手業者側から出力される購入情報（A 1），（A 2），・・・，（A n）を、予め市場運営者から設定されたクラスタリング属性（「品目」、「色」）に従ってクラスタリングすることで、クラスタ a，b，c，・・・を生成する。このとき、各クラスタ内で購入情報の処理順も決定しておく。また、各々の売手業者側から出力される販売情報（B 1），（B 2），・・・，（B n）についても同様にしてクラスタリングすることで、クラスタ a'，b'，c'，・・・を生成する。そして、購入情報のクラスタ a と販売情報のクラスタ a'、購入情報のクラスタ b と販売情報のクラスタ b'、・・・の各々の中で、購入希望価格の高い順等に従って、購入情報と販売情報の紐付けを行う。これにより、多様な売買要求に従ったかたちで、複数の購入情報と複数の販売情報の紐付けを行うことができ、短時間に効率的に取引成立の割合を高めることができる。

## 1 5 〈アルゴリズム 2〉

本アルゴリズムは、例えば、図 5 8 のフローチャートにより示される。

### ステップ S 3 0 1

上記図 5 1 に示したような購入情報（A 1），（A 2），・・・，（A n）の全てにおいて、次のステップ S 3 0 2 からの処理を実行する処理順を決定する。

2 0 この処理順の決定は、〈アルゴリズム 1〉でのステップ S 2 0 2 と同様に、例えば、購入希望価格が高い順とする。また、指定項目が多い購入情報を優先とする。したがって、購入情報（A 1），（A 2），・・・，（A n）の処理順は、図 5 9 に示すような順に決定される。

### ステップ S 3 0 2 :

2 5 ステップ S 3 0 3 にて決定された処理順に従って、先ず最初の購入情報（A 5）を読み込む（上記図 5 9 参照）。

### ステップ S 3 0 3 :



ステップS 3 0 2にて読み込んだ購入情報（A 5）のクラスタリング属性を読み取る。ここでのクラスタリング属性についても、〈アルゴリズム1〉と同様に、「品目」及び「色」とする。したがって、このステップS 3 0 3では、購入情報（A 5）に含まれる「品目－”ヒマワリ”」及び「色－”オレンジ”」が読み取られる。

ステップS 3 0 4：

ステップS 3 0 3にて読み取ったクラスタリング属性（「品目－”ヒマワリ”」及び「色－”オレンジ”」）に従って、上記図5 2に示したような販売情報（B 1），（B 2），・・・，（B n）に対してクラスタリング処理を行う。したがって、販売情報（B 1），（B 2），・・・，（B n）からは、図6 0に示すように、

”ヒマワリーオレンジ”のクラスターb'：

販売情報(B2)，販売情報(B3)，販売情報(B7)  
が得られることになる。

ステップS 3 0 5：

購入情報（A 5）と、クラスターb'内の販売情報(B2)，販売情報(B3)，販売情報(B7)とにおいて、〈アルゴリズム1〉でのステップS 2 0 4と同様にして紐付けを行い、取引成立を決定する。このとき、購入情報にて「品目」及び「色」以外の項目が指定されていた場合には、その指定に合った販売情報を優先する。これにより、購入情報（A 5）は、「品目」及び「色」以外に項目の指定がなされているため（「産地」等）、該指定に合った販売情報（B 3）との紐付けが行われることになる。したがって、販売情報（B 3）の販売本数”1 1 0 0 0本”が、購入情報（A 5）の購入本数”1 2 0 0 0本”のうちの”1 1 0 0 0本”に引き当てられる。また、残りの”1 0 0 0本”については、次に条件の合う販売情報（B 2）の販売本数”8 0 0 0”のうちの”1 0 0 0本”が引き当てられる。

ステップS 3 0 6：

ステップS 2 0 5にて決定された取引成立については、各々の買手業者及び売

手業者に通知される。

ステップ S 3 0 7 :

上述のようにして、購入情報 (A 5) に対する処理が終了すると、次の購入情報 (A 3) に対する処理を実行するために、ステップ S 3 0 2 に戻る。したがって、購入情報 (A 3) についても同様にしてステップ S 3 0 2 ~ S 3 0 6 の処理が行われる。また、それ以降の購入情報 (A 6), (A 4), ... に対しても、同様にして処理が行われる。

上述のように、〈アルゴリズム 2〉では、各々の買手業者側から出力される購入情報 (A 1), (A 2), ..., (A n) を、購入希望価格の高い順等に従ってソートし、その順番で、購入情報のクラスタリング属性 (「品目」、「色」) に従って販売情報をクラスタリングすることで生成したクラスタ内での紐付けを行う。これによっても、〈アルゴリズム 1〉と同様に、多様な売買要求に従ったかたちで、複数の購入情報と複数の販売情報の紐付けを行うことができ、短時間に効率的に取引成立の割合を高めることができる。

尚、上述の〈アルゴリズム 1〉及び〈アルゴリズム 2〉において、購入情報の処理順を購入価格の高い順としたが、これに限られることはない。例えば、購入本数が多い順、或いは入力順としてもよい。また、クラスタリング属性についても、「品目」及び「色」に限られることはない。

## 2 0 〈アルゴリズム 3〉

上述した〈アルゴリズム 1〉及び〈アルゴリズム 2〉では、クラスタリング属性の項目 (「品目」と「色」等) を市場運営者が予め決定するものとした。これに対して本アルゴリズム 3 及び後述する〈アルゴリズム 4〉では、クラスタリング属性の項目及びその内容 (条件) を、買手業者が任意に設定できるものとする。

図 6 1 は、本アルゴリズムを図示したものである。この図 1 2 に示すように、「品種」及び「色」をクラスタリング属性とするレベル 1 (図中 (A))、「品種

」、「色」、及び「規格」をクラスタリング属性とするレベル2（図中（B））、「品種」、「色」、「規格」、及び「生産者」をクラスタリング属性とするレベル3（図中（C））が、予め規定されている。すなわち、レベル1よりもレベル2が、レベル2よりもレベル3が細かい条件指定となる。このレベル規定は、  
5 例えば、市場運営者がこれらのレベル（以下、「クラスタレベル」とも言う）を予め決定してシステムの用に用意しておく。ここでは説明の簡単のために3つのレベル規定とするが、これに限られることはなく、その他複数レベル用意するようにしてもよい。

買手業者は、これらレベル1～3のどのレベルで取引を行うか指定し、その指定したレベルのクラスタリング属性の各項目に、その内容を設定する。具体的には例えば、ある買手業者は、レベル1での取引を指定し、そのレベル1のクラスタリング属性の項目「品種」と「色」に対して、希望する”精雲”と”白”を設定する。また、ある買手業者は、レベル2での取引を指定し、そのレベル2のクラスタリング属性の項目「品種」、「色」、及び「規格」に対して、希望する”  
1 0 精雲”、“白”、及び”秀L”を設定する。  
1 5

したがって、買手業者からは、各々の指定レベルに従ったクラスタリング属性の項目に、その内容が設定された購入情報が発せられることになる。ここでは、レベル1指定での購入情報を購入情報A－①、レベル2指定での購入情報を購入情報B－①、レベル3指定での購入情報を購入情報C－①とする。

そこで、まず、最も条件指定が細かい購入情報A－③を、そのクラスタリング属性の項目である「品種」、「色」、「規格」、及び「生産者」でクラスタリングする。また、上記のクラスタリング属性に従って、売手業者側からの販売情報をクラスタリングする。そして、同一クラスタ内で、購入情報と販売情報を紐付けして成約決定する（以下、ここでの成約決定処理を「成約決定処理1」とする  
2 0  
2 5 ）。

次に、次に条件指定が細かい購入情報A－②を、そのクラスタリング属性の項目である「品種」、「色」、及び「規格」でクラスタリングする。また、上記の

クラスタリング属性に従って、売手業者側からの販売情報（成約決定処理 1 で残った販売情報）をクラスタリングする。そして、同一クラスタ内で、購入情報と販売情報を紐付けして成約決定する（以下、ここでの成約決定処理を「成約決定処理 2」とする）。

- 5      そして最後に、購入情報 A-①を、そのクラスタリング属性の項目である「品種」及び「色」でクラスタリングする。また、上記のクラスタリング属性に従って、売手業者側からの販売情報（成約決定処理 1 及び 2 で残った販売情報）をクラスタリングする。そして、同一クラスタ内で、購入情報と販売情報を紐付けして成約決定する。
- 10      ここで、上述のようなアルゴリズムに従ったクラスタリングでは、購入情報と販売情報の対応するクラスタ毎に、予め規定された処理順（ここでは、レベル 3 → レベル 2 → レベル 1）で成約決定するようにした。これは、例えば、レベル 1 での”精雲”と”白”のクラスタは、レベル 2 での”精雲”、”白”、及び”秀 L”のクラスタに含まれる、ということから、各クラスタが他のクラスタと部分的に重複している場合もあるためである。
- 15      したがって、通常は売手業者側にとって需要度が高く、価格の高くなるレベル 3 → レベル 2 → レベル 1 の処理順が一般的である、ということから、ここではレベル 3 → レベル 2 → レベル 1 のように、条件指定の細かい順で処理を行うようにした。しかしながら、この処理順に限られることはなく、市場運営者等が任意に
- 20      予め規定するようにしてもよい。

尚、成約決定の際の紐付けについての詳細は後述する。

#### ＜アルゴリズム 4＞

- 25      上述した＜アルゴリズム 2＞では、図 6 2（a）に示すように、買手業者側からの購入情報の処理順（購入希望価格の高い順、数量の多い順、情報入力時刻の早い順等、予め規定された処理順）を決定し、その決定した順に、購入情報の条件に従って販売情報をクラスタリングするようにした。

これに対して本アルゴリズムでは、上記図 6 2 (b) に示すように、販売業者側からの販売情報の処理順（販売希望価格の高い順或いは低い順、数量の多い順、情報入力時刻の早い順等、予め規定された処理順）を決定し、その決定した順に、販売情報の条件に従って購入情報をクラスタリングする。

図 6 3 は、上述したような各アルゴリズムにおいて、購入情報と販売情報の対応するクラスタ内での紐付けの一例を示したものである。

ここでは、ある購入情報のクラスタ内に購入情報（1）～（4）が存在し、それに対応する販売情報のクラスタ内に販売情報（a）～（b）が存在するものとしている。そして、クラスタ内での紐付けの基準を、価格、数量、及び情報入力時刻としている。

また、購入情報（1）と購入情報（4）は、同じ上限価格を指定しており、数量もその範囲の同じものを指定している。但し、購入情報（1）のほうが購入情報（4）よりも早く入力されたものとする。購入情報（2）と購入情報（3）は、上限価格、数量、及びその範囲を他者と異なるものを指定している。

一方、販売情報（b）は、最も低い下限価格を指定しており、販売情報（c）は、最も高い下限価格を指定している。販売情報（a）は、販売情報（b）と販売情報（c）の各下限価格の間の価格を下限価格として指定している。

そこで、上述のような購入情報（1）～（4）のクラスタと、販売情報（a）～（b）のクラスタとでの紐付けは、次のような順序で行われる。

1. 上限価格の高い順に、購入情報の紐付け処理順を決定する。このとき、上限価格が同じ購入情報が存在した場合は数量を多く指定してある方を優先し、数量も同じ指定であった場合は、情報入力時刻の早い方を優先する。ここでは、最も高い上限価格を指定した購入情報が、購入情報（1）と購入情報（4）の 2 つであるが、これらの購入情報のうち情報入力時刻が早いのは購入情報（1）であるため、この購入情報（1）を優先する。したがって、購入情報の紐付け処理順は、購入情報（1）→購入情報（4）→購入情報（3）→購入情報（2）となる

。

2. 下限価格の高い順に、販売情報の紐付け処理順を決定する。或いは、買手業者に上限価格の高値入力を促し、売手業者に下限価格の安値入力を促すという観点から、下限価格の低い順に、販売情報の紐付け処理順を決定する。このときも、下限価格が同じ販売情報が存在した場合は数量を多く指定してある方を優先し、数量も同じ指定であった場合は、情報入力時刻の早い方を優先する。したがって、下限価格の高い順の場合、販売情報の紐付け処理順は、販売情報(c) → 販売情報(a) → 販売情報(b)となり、下限価格の低い順の場合、販売情報の紐付け処理順は、販売情報(b) → 販売情報(a) → 販売情報(c)となる。

3. 販売情報の紐付け処理順が下限価格の高い順である場合、購入情報(1)は、最初の販売情報(c)が条件を満たすものであれば、これと紐付けられて成約決定となる。

このとき、販売情報(c)の条件では満たされない場合、次の販売情報(a)と紐付けられる。販売情報(a)でも満たされないときは、最後の販売情報(b)と紐付けられる。また、例えば、購入情報(1)と販売情報(c)が紐付けられ、購入情報(1)の希望する数量(必要数量)が販売情報(c)で指定されている数量では満たされない場合、該必要数量が満たされるまで、次の販売情報(ここでは販売情報(a)、販売情報(b))との紐付けが繰り返し行われる。販売情報の紐付け処理順が下限価格の低い順である場合も同様にして、購入情報(1)は、販売情報(b)、販売情報(a)、販売情報(c)の順に、紐付けられて成約決定される。この場合の紐付け処理順で処理を進めると、購入情報(1)の上限価格を下回る販売情報の下限価格(最安値)の商品が、購入情報(1)に紐付けられることになるため、成約決定の確率が高くなり、取引がより活性化される、という効果がある。その後、次の購入情報(4)が同様にして処理され、続いて、購入情報(3)、購入情報(2)が順に処理される。

上述の処理3.での成約決定の際の価格については、購入情報にて指定されている上限価格(@1)に基づいて決定するのが一般的であるが、これに限らず、

販売情報にて指定されている下限価格（@ 2）に基づいて決定するようにしてもよい。或いは、購入情報と販売情報の各々で指定されている価格に基づいて決定するようにしてもよい。例えば、購入情報の上限価格（@ 1）と販売情報の下限価格（@ 2）の内分点（ $(@ 1 + @ 2) / 2$ ）に基づいて価格決定する。

- 5 尚、上述した紐付け処理と価格決定処理については、対象コンテンツの特性や取引参加者の評価関数によりNONルール化してもよいし、GAを利用するようにしてもよい。

- 1 0 ところで、本実施の形態では、対象商品を生花としているが、他の実施の形態と同様に、これに限られず、例えば、航空チケットや他の交通機関のチケット、コンサートチケットのように、使用可能な期限が決まった商品でもよい。

- その一例として、図 6 4 は、対象商品を航空チケットとした場合に、売手側の販売情報に対して買手側が様々な条件付け（様々なクラスレベルでのクラスティング属性の項目の内容の限定）を行った際の紐付け処理順の抽象度が、上述した生花の場合と、どのように対応するかを示したものである。

この図 6 4 に示すように、航空チケットの場合においても、共通項目である「価格」及び「数量」に加えて、「便名」、「航空会社」、「時間帯」、「フライト日」、「OD（出発地、到着地）」と、指定項目が多ければ多いほど、抽象度が高くなり、先に処理されることになる。

- 2 0 尚、航空チケットの場合、生産者が航空会社に対応し、大手売手業者が航空会社の支店などの営業部門、或いは大手旅行会社などの販売エージェントに対応し、小口売手業者が各旅行代理店や航空チケットを扱うコンビニエンスストアなどの販売店に対応する。

- 2 5 具体的には例えば、図 6 5 は、クラスレベル 1～4 が仲介業者により予め決定されており、買手側がそれらのクラスレベル 1～4 の中から任意に決定したクラスレベルのクラスティング属性の項目にその内容を設定する場合の、買手側 1～3 の紐付け処理順を示したものである。

この図 6 5 に示すように、最も条件指定が細かいクラスタレベル 4（「フライト日」、「午前又は午後指定」、「航空会社」、及び「便名」の全ての指定）にてその内容を設定した買手側 3 が先ず最初の処理対象となり、次に条件指定が細かいクラスタレベル 3（「フライト日」、「午前又は午後指定」、及び「航空会社」の指定）にてその内容を設定した買手側 2 が次の処理対象となり、そして最後の買手側 1 が処理対象となる。

また、図 6 6 は、買手側 1～4 が各々クラスタリング属性の項目及びその内容（条件）を任意に設定する場合の、買手側 1～4 の紐付け処理順を示したものである。

1 0 この図 6 6 に示すように、最も条件指定が細かい買手側 4 が先ず最初の処理対象となり、続いて、買手側 3、買手側 2、買手側 1 が順に処理対象となる。

先ず最初の買手側 4 については、対応する販売情報は販売情報⑤の 1 つのみであるため、これを紐付けする。次の買手側 3 については、対応する販売情報は販売情報⑤及び⑨の 2 つであるため、それらのうちの販売金額の高い販売情報⑤の方を優先して紐付けする。次の買手側 2 についても同様に、対応する販売情報⑧、②、⑨、及び⑤の 4 つのうち、販売金額の高い順で、販売金額が同じならば席数の多い方を優先して、該当する販売情報を紐付けする。そして最後の買手側 1 についても同様に、対応する販売情報①～⑨（全ての販売情報）のうち、販売金額の高い順で、販売金額が同じならば席数の多い方を優先して、さらに席数が同じならば情報入力時刻の早い方を優先して、該当する販売情報を紐付けする。

2 0 以上の説明から、本実施の形態でのクラスタリング属性の項目指定及び処理順については、次のようにまとめられる。

#### 1. クラスタリング属性の項目とその内容

- ① 市場運営者や仲介業者が予め決定する。
- 2 5 ② 買手側が任意に決定する。

#### 2. クラスタ間の処理順

- ① 条件指定が細かい（指定項目が多いもの、内容の限定が細かいもの）



クラスタから順に処理する。

② 市場運営者や仲介業者が予め決定する。

### 3. クラスタ内の処理順

① 購入情報のクラスタ内の処理順を決定してから、購入情報毎に販売情報をクラスタリングする。

② 販売情報のクラスタ内の処理順を決定してから、販売情報毎に購入情報をクラスタリングする。

尚、本実施の形態で説明したクラスタ間及びクラスタ内の処理順等については、上述した第1～第7の実施の形態での、複数の購入情報と複数の販売情報間での成約決定にも適用可能であることは言うまでもない。

### [第9の実施の形態]

本実施の形態では、上述した第1～第8の実施の形態での、買手業者と売手業者の取り引きネットワーク上で行えるシステム（生花取引システム100）において、流通費をも含めたシステム化を完全に実現する。これにより、物流と商流を完全に切り離した取引形態にて、アドホックに売買取引が行われ、これに伴って物流費も変動することにより生じる問題を解決する。

このため、サーバ側の端末装置は、上記図2に示したアプリケーション機能としての各機能に加えて、例えば、図67に示すように、物流費管理機能329を有している。また、DBM330には、該物流管理機能で用いられる物流情報及びディスカウントテーブル（以下、単に「テーブル」とも言う）が記憶されている。

ここで、上記図67は、上記図1の生花取引システム100での複数の買手業者A1, A2, ..., Anと、複数の売手業者B1, B2, ..., Bnとに着目したときの、各々が発行する購入情報及び販売情報を示したものである。

具体的には、ここでの生花取引システム100は、生花の市場管理を行うサー

バ側の端末装置 1 4 0（上記図 1 の 1 のサーバ 1 0 1 に対応）と、複数の買手業者側の端末装置 1 2 0 a, 1 2 0 b, . . . , 1 2 0 x（上記図 1 の小口買手業者 1 5 1 や大手買手業者 1 2 1 ~ 1 2 3 に対応）と、複数の売手業者側の端末装置 1 3 0 a, 1 3 0 b, . . . , 1 3 0 x（上記図 1 の大手売手業者 1 1 1 ~ 1 1 4 や小口売手業者 1 4 1 に対応）とが、WAN 1 6 1 を介して互いに通信可能に接続された構成としている。

サーバ側、売手業者側、及び買手業者側の各端末装置は、中央処理装置（CPU）、キーボード、マウス、表示器、通信器、及び本システムの処理プログラムが予め格納されたメモリ等を備えたパーソナルコンピュータ（パソコン）からなり、該メモリの処理プログラムを CPU が読み出して実行することで、後述する種々の処理が行われるようになされている。

また、生花取引システム 1 0 0 では、上述したようにして、各々の買手業者は、自端末装置 1 2 0 a, 1 2 0 b, . . . , 1 2 0 x を用いて、購入したい生花（商品）の情報（購入情報）a, b, . . . , x を発行し、各々の売手業者も同様に、自端末装置 1 3 0 a, 1 3 0 b, . . . , 1 3 0 x を用いて、販売したい生花の情報（販売情報）a, b, . . . , x を発行し、互いに互いの情報を端末装置の画面上にて参照することで、種々の取引形態にて生花の取り引きを進めるようになされている。

以下、上述のような生花取引システム 1 0 0 において、売手業者が発する販売情報 a, b, . . . , x に基づいた取り引きが行われる場合を一例として説明する。

まず、この場合の処理の流れの概要については、図 6 8 のフローチャートに示すようになる。

すなわち、売手業者及び買手業者は予め、自端末装置 1 3 0 a, 1 3 0 b, . . . , 1 3 0 x 及び 1 2 0 a, 1 2 0 b, . . . , 1 2 0 x を用いて、本システムに参加するために必要な手続き（登録）を行う。この手続きには、各々の所在地の登録も含まれている。

各業者の登録情報は、WAN 1 6 1 を介してサーバ側に送られ、該サーバ側の DBM 3 3 0 にて管理される。このとき、上記登録情報に含まれる各業者の所在地情報は、物流情報として管理される。このときの売手業者の所在地については、管理している生産者の所在地（生産地）を含む。

- 5      そこで、例えば、売手業者は、販売計画に従って、自端末装置 1 3 0 a にて販売情報 a を入力する。この販売情報 a とは、売手業者が販売希望する生花の品目、品種、色、着荷日、等階級、産地、生産者名、箱数、及び価格等の販売希望情報のことを言う。他の売手業者も同様にして、自端末装置 1 3 0 b, . . . , x にて各々の販売情報 b, . . . , x を入力する。
- 1 0      これらの販売情報 a, b, . . . , x は、サーバ側に送られる。したがって、該サーバ側の DBM 1 4 3 では、図 6 9 に示すような販売情報 a, b, . . . が管理されることになる。

- 一方、ある買手業者（例えば、端末装置 1 2 0 x の買手業者とする）が、ある生花（例えば、“スターチス”とする）を調達するために本取引に参加すると、
- 1 5      端末装置 1 2 0 x では、図 7 0 に示すような販売情報画面の表示が行われる。この販売情報画面は、サーバ側にて作成されるものであり、上記図 7 0 に示すように、上記図 6 9 に示した販売情報 a, b, . . . の各々に対して、「物流費」及び「ディスカウント」の項目が含まれて構成されている。

- 「物流費」項目には、各売手業者の所在地（販売情報の“産地”に相当）を起
- 2 0      点とした、買手業者の所在地までの物流費が表示されている。

また、「ディスカウント」項目には、“D”の文字が表示されており、この文字部分をクリックすると、そのクリックした販売情報を発した売手業者側から買手業者側間の物流費についての、図 7 1 の（a）や（b）のようなディスカウント率情報がポップアップウィンドウ表示されるようになされている。

- 2 5      買手業者は、販売情報画面を参照し、また、「ディスカウント」項目のクリック操作によるディスカウント率情報を参照することで、希望する生花“スターチス”に対応する販売情報 a や販売情報 b 等のうち、物流費等を考慮した最適な取

引が行えるような販売情報を選択する。

そして、買手業者は、販売情報画面上にて、選択した販売情報（ここでは、販売情報bとする。）の左端の「選」項目をチェックし（"レ"）、画面右上部分の「新規」をクリックする。これにより、端末装置120xの画面は、上記図6  
5 9の販売情報画面から図72に示すような登録画面へと移行する。この登録画面も、サーバ側にて作成されるものである。

買手業者は、登録画面により、選択した販売情報bを再度確認し、希望する"スターチス"の希望購入箱数をキーボード入力する。このとき、その希望購入箱数の一部の登録も行うことができる。例えば、本来の希望購入箱数は100箱で  
1 0 あるが、販売情報bの「残箱数」が様々な取引のタイミングで変動することにより該残箱数が80箱となったとしても、その80箱を購入したい場合、画面左下部の「Yes」及び「No」項目のうち「Yes」項目をチェックすればよい。また、画面左上部分の「合計金額」には、買手業者が入力した希望購入箱数にあたいする、物流費をも含めた購入総額が表示される。

1 5 そして、買手業者は、画面右上部分の「登録」をクリックする。これにより、販売情報bに対する購入登録情報は、サーバ側に送られる。したがって、サーバ側において、販売情報bの売手業者と、該販売情報bに購入登録した買手業者との間の取り引きが成立（成約）することになる。

尚、上記図4の販売情報画面及び図72の登録画面での「ディスカウント」項目の"D"や、「新規」及び「登録」等の表示は、アイコン機能と同様に、その文字部をクリックすると、その文字部に対応した処理が実行されるようになされており、ここでは文字表示としているが、これに限らず絵柄等で表示するようにしてもよい。また、上記図72の点線にて示すように、商品の購入総額と物流費を個別に出力し、表示するようにしてもよい。この場合、図中の"合計金額"に  
2 0  
2 5 は物流費を含まない商品の購入総額が表示され、"物流費"に該購入総額とは別に物流費が表示されることになる。

つぎに、本実施の形態での最も特徴とする”物流費”及び”ディスカウント率情報”の表示について具体的に説明する。ここで説明する構成については、上記図 6 7 に示したサーバ側の端末装置 1 4 0 が備えている物流費管理機能により実現される。

- 5     サーバ側の DBM 3 3 0 には、上述したように、買手業者及び売手業者の所在地が物流情報として管理されていると共に、上記図 6 9 に示したような各売手業者の販売情報 a, b, . . . が管理されている。

1 0     また、DBM 3 3 0 には予め、図 7 3 に示すような、買手業者の所在地毎（仙台、東京、. . .）に対応したテーブル群 T (1), T (2), . . . , T (n) が設定されている。これらのテーブル群 T (1), T (2), . . . , T (n) の設定は、市場運営者或いは売手業者が行う。

1 5     テーブル群 T (1), T (2), . . . , T (n) は、各々が同様の構成としており、例えば、仙台的買手業者についてのテーブル群 T (1) は、各々の売手業者（生産地）毎（北海道、岩手県、宮崎県、. . .）の物流費のディスカウント率情報からなるテーブル T (1)<sub>1</sub>, T (1)<sub>2</sub>, . . . , T (1)<sub>m</sub> から構成されている。

そこで、ある買手業者側からサーバ側に対して、上記図 7 0 の販売情報画面による取引開始要求が発行されると、サーバ側では、例えば、図 7 4 に示すようなフローチャートに従った処理が実行される。

- 2 0     先ず、サーバ側は、取引開始要求のあった買手業者の所在地を、DBM 3 3 0 から取得する（ステップ S 4 0 1）。ここでは、該買手業者の所在地を”仙台”とする。

2 5     次に、DBM 3 3 0 に設定されているテーブル群 T (1), T (2), . . . , T (n) から、買手業者の所在地（=仙台）に対応するテーブル群 T (1) を検索する（ステップ S 4 0 2：上記図 7 3 [1] 及び [2] 参照）。

次に、ステップ S 4 0 2 にて検索したテーブル群 T (1) を用いて、上記図 6 9 に示したような DBM 3 3 0 にて管理している販売情報 a, b, . . . の各々

に対して、物流費を求める（ステップS 4 0 3～S 4 0 5）。

具体的には、例えば、販売情報 a の売手業者の所在地は、該販売情報 a の「産地」項目から得ることができる（上記図 6 9 [ 3 ] 参照）。ここでは、“北海道”となっている。そこで、ステップ S 4 0 2 にて検索したテーブル群 T ( 1 ) の  
5 テーブル T ( 1 )<sub>1</sub> , T ( 1 )<sub>2</sub> , . . . , T ( 1 )<sub>m</sub> から、“北海道”に対応するテーブル、すなわち“仙台”～“北海道”間の物流費についてのテーブル T ( 1 )<sub>1</sub> を検索する（ステップ S 4 0 3 : 上記図 6 9 [ 4 ] 参照）。そして、そのテーブル T ( 1 )<sub>1</sub> に設定されている物流費の情報から、最も価格の高い物流費を取得する（ステップ S 4 0 4）。ここでは、1 箱～1 0 箱の物流費である“  
1 0 4 0 0 円／箱”が得られる（上記図 6 9 [ 5 ] 参照）。これらのステップ S 4 0 3 及びステップ S 4 0 4 を、全ての販売情報 a , b , . . . に対して行う。

尚、ステップ S 2 0 4 で取得する物流費については、例えば、販売情報 a の「残箱数」（上記図 6 9 [ 5 ] 参照）に対応する物流費を取得するようにしてもよい。この場合、ここでは「残箱数」が“1 0 0 箱”となっているため、5 0 箱～  
1 5 1 0 0 箱の物流費である“3 5 0 円／箱”が得られることになる。

そして、上記図 6 9 の販売情報 a , b , . . . 、及びそれらに対応してステップ S 4 0 4 にて取得した物流費等から、上記図 7 0 の販売情報画面を構成して、これを買手業者側に送信する（ステップ S 4 0 6）。

したがって、買手業者側の端末装置 1 2 0 x には、上記図 7 0 の販売情報画面  
2 0 が表示され、買手業者は、希望する生花（ここでは“スターチス”）に対応する販売情報を参照する。ここで、買手業者が、“スターチス”に対応する販売情報 a と販売情報 b に注目したとする。販売情報画面には「物流費」項目をも含まれているため（上記図 7 0 [ 6 ] 参照）、買手業者は、販売情報 a では 1 箱 4 0 0 円の物流費を要し、販売情報 b では 1 箱 5 0 0 円の物流費を要することを把握す  
2 5 ることができる。このとき、買手業者が、それらの販売情報 a 及び販売情報 b の売手業者でのディスカウント率を参照したい場合、「ディスカウント」項目の“D”の文字部分をクリックする（上記図 7 0 [ 7 ] 参照）。ここでは、買手業者

にて販売情報 a の「ディスカウント」項目の” D ” がクリックされたものとする。このクリック操作は、販売情報 a のディスカウント表示要求として、サーバ側に送信される。

サーバ側は、買手業者側からのディスカウント表示要求を認識すると（ステップ S 4 0 7）、ステップ S 4 0 2 にて検索したテーブル群 T ( 1 ) のテーブル T ( 1 )<sub>1</sub>, T ( 1 )<sub>2</sub>, . . . , T ( 1 )<sub>m</sub> から、該ディスカウント表示要求に該当するテーブル T ( 1 )<sub>1</sub>（販売情報 a の「産地」項目に対応したテーブル）を検索する（ステップ S 4 0 8）。そして、ステップ S 4 0 8 にて検索したテーブル T ( 1 )<sub>1</sub> を買手業者側に送信する（ステップ S 4 0 9）。

したがって、買手業者側の端末装置 1 2 0 x には、上記図 7 1 ( a ) に示したようなディスカウント率情報がポップアップウィンドウ表示されることになる。買手業者は、この表示を参照して、販売情報 a の売手業者側（北海道）から、自側（仙台）までの物流費のディスカウント率を参照する。また、買手業者は、一方の販売情報 b についても同様にして、その「ディスカウント」項目の” D ” をクリックすることで、上記図 7 1 ( b ) に示したようなディスカウント率を参照する。これにより、買手業者は、これらのディスカウント率から、宮崎県の販売情報 b の方が北海道の販売情報 a に対して、遠隔地にあり且つ希望単価が高いにも係わらず、ディスカウント率が高いことから安く購入できる、ということを把握することができる（上記図 7 1 [ 8 ] 及び [ 9 ] 参照）。すなわち、1 箱中の

本数が 2 0 本とした場合、その購入金額は物流費も含めて、

販売情報 a の場合（北海道）：

$$(20\text{本} \times 100\text{箱} \times 100\text{円/本}) + (100\text{箱} \times 350\text{円/箱}) = 235000\text{円}$$

販売情報 b の場合（宮崎県）：

$$(20\text{本} \times 100\text{箱} \times 110\text{円/本}) + (100\text{箱} \times 100\text{円/箱}) = 230000\text{円}$$

、ということを把握することができる。そこで、買手業者は、販売情報 b の「選」項目をチェックして、画面上の「新規」部分をクリックする（上記図 7 0 [ 1 0 ] 及び [ 1 1 ] 参照）。このクリック操作は、販売情報 b の購入希望要求とし

て、サーバ側に送信される。

サーバ側は、買手業者側からの購入希望要求を認識すると（ステップS 4 1 0）、販売情報bから上記図7 2の登録画面を構成して、これを買手業者に送信する（ステップS 4 1 1）。

- 5       したがって、買手業者側の端末装置1 2 0 xには、上記図7 2の登録画面が表示されることになる。買手業者は、「希望購入箱数」項目に” 1 0 0 ”を入力する（上記図7 2 [ 1 2 ] 参照）。この入力情報は、サーバ側に送信される。

- 1 0       サーバ側は、買手業者側からの「希望購入箱数」の入力を認識すると（ステップS 4 1 2）、該入力情報と、販売情報bに対応したテーブルT（1）。（上記図7 1（b）参照）とから、物流費を含めた現在の合計金額（購入金額）を算出し、これを買手業者側に送信する（ステップS 4 1 3）。このとき、上述したように、商品の購入総額（物流費を含まない購入総額）と物流費を個別に出力するようにしてもよい。

- 1 5       したがって、買手業者側の上記図7 2の登録画面上において、「合計金額」項目には、サーバ側にて算出された合計金額が表示されることになる（上記図7 2 [ 1 3 ] 参照）。買手業者は、この合計金額を参照し、実際に購入するか否かを判断する。そして、実際に購入希望する場合には、画面上の「登録」部分をクリックする（上記図7 2 [ 1 4 ] 参照）。また、必要に応じて、1 0 0 箱以下でも購入する意思があるかを否か示すために、「Y e s」及び「N o」の項目の何れ  
2 0       かをチェックする（上記図7 2 [ 1 5 ] 参照）。これらの操作は、登録要求としてサーバ側に送信される。

- 2 5       そして、サーバ側が、買手業者側からの登録要求を認識すると（ステップS 4 1 4）、買手業者と売手業者間での取り引きが成立することになる（成約）。この成約情報は、売手業者側に通知される（ステップS 4 1 5）。これを受けた売手業者は、買手業者との取引が確定したことを認識する。

上述のように、本実施の形態では、買手業者側にて、各々の売手業者が発した



販売情報に対する物流費と、そのディスカウント率とを画面上にて参照可能なように構成したことにより、全国各地の買手業者は、全国各地に点在する売手業者（生産地）と取引を行った場合に発生する物流費、及び該売手業者での物流費のディスカウント率を容易に参照することができる。これにより、各々の買手業者は、物流費を含めた購入総額がいくらになるのか、どの売手業者と取引するのが最適であるか等を予め考慮した取引を行うことができる。また、ディスカウント率によっては、遠隔にある売手業者から取引した方が希望する生花を安く手に入れることができる等も把握することができるため、取引する売手業者がある地域に特定されてしまうことはない。したがって、新たな取引を引き発生させることができ、広範囲での流通の活性化を実現できる。

また、物流費を含む購入金額をも画面上で参照可能なように構成したことにより、買手業者は、自分が入力した希望購入箱数での購入金額を即確認することができ、効率よく取引を行うことができる。

尚、上記図 7 0 の販売情報画面において、「物流費」項目と「ディスカウント」項目を設けるように構成したが、これに限らず、例えば、「ディスカウント」項目のみ設けるようにしてもよい。この場合、「ディスカウント」項目の”D”の文字部分がクリックされたときに、その物流費が参照可能となる。或いは、上記図 7 0 の販売情報画面には、「物流費」項目と「ディスカウント」項目を共に設けず、その代わりに、上記図 7 2 の登録画面に設けるようにしてもよい。すなわち、上記図 7 2 の登録画面において、物流費及びそのディスカウント率を参照可能なようにしてもよい。

また、上記図 7 3 に示したようなディスカウントテーブルについては、買手業者によっては、ある特定のディスカウントテーブルを用意し、それを用いるようにしてもよい。具体的には例えば、頻繁に取引のある買手業者に対しては、通常のディスカウント率よりも更にディスカウントした物流費を設定したテーブルを用いるようにしてもよい。また、取引対象となる生花の属性（鉢もの、切り花、

容積、重量等) 毎、或いは、季節毎や物流業者毎に、使用するディスカウントテーブルを切り換えるようにしてもよい。さらに、同一地域内の他の買手業者も含めた先渡し取引の累積量に基づいてディスカウントするようなテーブル(物流費ディスカウントテーブル)を用いるようにしてもよい。或いは、複数の物流会社

5 毎に、上記のような物流費ディスカウントテーブルを用いるようにしてもよい。また、上記図 7 3 に示したようなディスカウントテーブルの代わりに、例えば、図 7 5 に示すように、出荷量毎のマトリックステーブルを用いるようにしてもよい。

また、本実施の形態では、対象商品を”生花”としたが、これに限らず、例えば、野菜や果物等のような商品にも有効である。すなわち、出荷量や出荷日が常

1 0 に変動することにより輸送等の物流費が固定的でない商品の取引や、生鮮商品以外においても、取引相手がその都度変わるような非固定的な物流網による商品取引に有効である。

また、本発明の目的は、上述した第 1 ～第 9 の各実施の形態のサーバ及び端末の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記憶した記憶媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ(又はCPU

1 5 やMPU等)が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読みだして実行することによっても、達成されることは言うまでもない。この場合、記憶媒体から読み

2 0 出されたプログラムコード自体が上述した各実施の形態の機能を実現することとなり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することとなる。プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、ROM、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモ리카ード等を用いることができる。また、コン

2 5 ピュータが読みだしたプログラムコードを実行することにより、上述した各実施の形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているOS等が実際の処理の一部又は全部を行い、その

処理によって各実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された拡張機能ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部又は全部を行い、その処理によって上述した各実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

### 産業上の利用可能性

- 1 0 以上説明したように本発明によれば、買手側が発する注文情報（購入情報）に基づく予約相対取引処理、売手側が発する販売情報に基づく予約相対取引処理、及び複数の注文情報と複数の販売情報を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引処理を、端末装置の画面上で行えるように構成することで、所謂先渡取引をネットワーク上で可能にしたので、買手側及び売手側は共に卸売
- 1 5 市場に出向くことなく、商品の販売計画や調達計画を立てることができ、自端末装置にて所望する商品の売買取引を行うことができる。これにより、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側に与えることができるようになるため、従来にない効率的な商品取引を行うことができる。

- また、購入情報と販売情報の成約決定の際には、複数の販売情報（又は購入情報）の処理順を所定条件に従って決定し、その順に対象販売情報（又は購入情報）に紐付けられた複数の購入情報（又は販売情報）の処理順を所定条件に従って決定して処理を進めるように構成したので、大量の商品の取引であっても、効率的な商品の売買取引を行うことができる。
- 2 0

- また、買手側が、複数の売手が発した販売情報に対して、それに含まれる情報のうち任意の情報を第1又は第2の取引条件として特定できるようにして、第2の取引条件に従った取引処理で未成約であった販売情報を、自動的に第1の取引条件に従った取引処理に移行し、再度その取引処理で処理できるように構成した
- 2 5

ので、買手側は、希望する商品を厳密に条件付けた購入（第２の取引条件による購入）と、その条件範囲を広げた購入（第１の取引条件による購入）とを１度の操作で行うことができる。これにより、成約率を向上させることができ、取引効率も飛躍的に向上させることができる。

- ５      また、買手側が、複数の売手が発した販売情報に対して、それに含まれる情報のうち任意の情報を取引条件として特定するときの画面を、機能一覧表示部、情報表示部、及び条件入力部引処理の３部分で構成して、機能一覧表示部により、各取引処理から任意の取引処理を選択し実行できるようにし、情報表示部により、取引処理で発生した各種情報（注文情報や販売情報等）を参照できるようにし、条件入力部引処理により、取引処理で発生した各種情報から任意の情報を容易に抽出（検索）できるようにしたので、売手側と買手側は共に、商品の出荷前の取引を行うことができ、必要な情報を参照或いは利用しながら複数の取引を同時に行うこともできる。また、所望する商品の情報を容易に抽出し、それを参照することができる。さらに、パーソナルコンピュータ等を利用することで、取引の効率を飛躍的に向上させることができる。
- １０      また、各取引処理の実行により発生した販売残商品の取引、或いは、先取りや引荷等の緊急のニーズに基づき発生した取引（緊急取引）についても、端末装置の画面上で行えるように構成したので、大量の商品を多様な手段で販売することができると共に、販売する商品の流れの一元管理を行うことができ、大量の商品を効率的に販売する必要のある業者における業務効率を飛躍的に向上させることができる。
- １５      また、見込み（予測）の販売量等の情報に基づいた取引により商品を販売する販売形態（確定前販売処理）、確定した販売量等の情報に基づいた取引により商品を販売すると共に引荷等の緊急取引を行う販売形態（確定後販売処理）、及び
- ２０      、これらの販売形態の実行の結果残った商品を競り等の対象にして現品販売する販売形態（現品販売処理）を端末装置上で実行可能とし、ある販売形態によって発生した結果が、そのときの環境の変化に伴って、その次の販売形態に反映する

ように構成したので、販売形態を変えた取引をネットワーク上で行うことができ、今迄にない販売及び調達の機会を売手側及び買手側のみならず、商品を出荷する生産者にも与えることができるようになる。このため、従来にない効率的な商品取引、特に、効率的な販売を行うことができる。

- 5      また、各々が異なる取引形態を有する各取引処理に関する情報を同一画面上で同時に参照しながらの取引を行えるように構成したので、さらなる効率的な商品取引を行うことができる。

- 10      また、複数の購入情報と複数の販売情報を紐付けて成約決定する際には、クラスタリング処理により購入情報の集合と販売情報の集合を形成し、同じ購入条件の購入情報の集合と販売情報の集合の間で、所定の条件の従って購入情報と販売情報の紐付けを行うように構成したので、多様な売買要求に従ったかたちで、複数の購入情報と複数の販売情報の紐付けを行うことができ、短時間に効率的に取引成立の割合を高めることができる。

- 15      また、取引先との売買取引の成立により発生する物流費（取引先との間の輸送費等）の情報を、電子的に参照可能なように構成したので、商品の流通の偏りを解消することができ、売買取引の活性化をも図ることができる。特に、生花や青果物等の生鮮商品のように、出荷量や出荷日が常に変動することにより輸送等の物流費が固定的でない商品の売買取引に用いて有効である。

## 請 求 の 範 囲

1. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報  
5 情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、
- 上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理手段と、  
上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理手段と、  
複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り  
1 0 合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理手段とを備えることを特徴とする商品取引装置。
2. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、  
1 5 上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、請求の範囲第1項に記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。
3. 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決  
2 0 定する商品取引システムであって、
- 上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、  
上記ホストは、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理機能と、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理機能  
2 5 と、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理機能とを有することを特徴とする商品取引システム。

4. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、

- 5 上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理ステップと、  
上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理ステップと、  
複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理ステップとを含むことを特徴とする記憶媒体。

1 0

5. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、

- 複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理手段を備え、

上記取引処理手段は、上記複数の販売情報の処理順を所定条件に従って決定する第1の決定手段と、上記複数の購入情報の処理順を所定条件に従って決定する第2の決定手段とを含むことを特徴とする商品取引装置。

- 2 0 6. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、請求の範囲第5項に記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。

- 2 5 7. 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出し、

上記ホストは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理機能を

5 有し、

上記取引処理機能は、上記複数の販売情報の処理順を所定条件に従って決定する第1の決定機能と、上記複数の購入情報の処理順を所定条件に従って決定する第2の決定機能とを含むことを特徴とする商品取引システム。

1 0 8. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う処理ステップを含み、

1 5 上記処理ステップは、上記複数の販売情報の処理順を所定条件に従って決定する第1の決定ステップと、上記複数の購入情報の処理順を所定条件に従って決定する第2の決定ステップとを含むことを特徴とする記憶媒体。

2 0 9. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、

複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理手段を備え、

2 5 上記取引処理手段は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定手段と、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定手段と、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を



上記第 1 の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行手段とを含むことを特徴とする商品取引装置。

- 1 0. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

上記複数の端末装置の少なくとも 1 つの端末装置は、請求の範囲第 9 項に記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。

- 1 1. 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、

- 1 5 上記ホストは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理機能を有し、

- 2 0 上記取引処理機能は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第 1 の取引条件として特定する第 1 の特定機能と、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第 2 の取引条件として特定する第 2 の特定機能と、上記第 2 の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第 1 の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行機能とを含むことを特徴とする商品取引システム。

- 2 5 1 2. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記処理ステップは、

複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り

合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理ステップを含み、

- 上記取引処理ステップは、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定ステップと、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定ステップと、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行ステップとを含むことを特徴とする記憶媒体。

- 1 3. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、

- 上記購入情報に基づく予約相対取引を行う第1の取引処理機能、上記販売情報に基づく予約相対取引を行う第2の取引処理機能、及び複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引を行う第3の取引処理機能の何れかを選択的に実行するための機能一覧表示部と、

上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報を表示する情報表示部と、

- 上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報から任意の情報を抽出する際の条件を入力する条件入力部とを含む画面を有することを特徴とする商品取引装置。

1 4. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

- 上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、請求の範囲第13項に記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。

1 5. 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

5 上記ホストは、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第 1 の取引処理機能と、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第 2 の取引処理機能と、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第 3 の取引処理機能とを有し、

1 0 上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力するものであって、上記第 1 の取引処理機能、上記第 2 の取引処理機能、及び上記第 3 の取引処理機能の何れかを選択的に実行する機能一覧表示部と、上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報を表示する情報表示部と、上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報から任意の情報を抽出する際の条件を入力する条件入力部とを含む画面を有することを特徴とする商品取引システム。

1 6. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、

2 0 上記購入情報に基づく予約相対取引を行う第 1 の取引処理機能、上記販売情報に基づく予約相対取引を行う第 2 の取引処理機能、及び複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引を行う第 3 の取引処理機能の何れかを選択的に実行するための機能一覧表示部と、

2 5 上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報を表示する情報表示部と、

上記機能一覧表示部で選択された機能の実行により発生する情報から任意の情報を抽出する際の条件を入力する条件入力部とを含む画面を表示するステップを含むことを特徴とする記憶媒体。

- 5 17. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、

上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理手段と、

上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理手段と、

- 10 複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理手段と、

上記第1～第3の取引処理手段の少なくとも何れかの実行で発生した販売残商品に対する取引の処理、或いは、上記第1～第3の取引処理手段によらない販売のための取引の処理を行う第4の取引処理手段とを備えることを特徴とする商品

- 15 取引装置。

18. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

- 20 上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、請求の範囲第17項に記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。

19. 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

- 25 上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、

上記ホストは、上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処

理機能と、上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理機能と、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理機能と、上記第1～第3の取引処理機能の少なくとも何れかの実行で発生した販売残商品に対する取引の処理、或いは、上記第1～第3の取引処理機能によらない販売のための取引の処理を行う第4の取引処理機能とを有することを特徴とする商品取引システム。

20. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記取引処理ステップは、

上記購入情報に基づく予約相対取引の処理を行う第1の取引処理ステップと、  
上記販売情報に基づく予約相対取引の処理を行う第2の取引処理ステップと、  
複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う第3の取引処理ステップと、

上記第1～第3の取引処理ステップの少なくとも何れかの実行で発生した販売残商品に対する取引の処理、或いは、上記第1～第3の取引処理ステップによらない販売のための取引の処理を行う第4の取引処理ステップとを含むことを特徴とする記憶媒体。

20

21. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、

確定した情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定後販売処理手段と、

上記確定後販売処理手段の実行で発生した販売残商品の販売処理を行う現品販売処理手段とを備えることを特徴とする商品取引装置。

2 2. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、

5 確定前の見込みの情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定前販売処理手段と、

確定した情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定後販売処理手段と、

上記確定前販売処理手段及び確定後販売処理手段の少なくとも何れかの実行で  
1 0 発生した販売残商品の販売処理を行う現品販売処理手段とを備えることを特徴とする商品取引装置。

2 3. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムであって、 上記複数の  
1 5 端末装置の少なくとも1つの端末装置は、請求の範囲第2 1 項又は第2 2 項に記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。

2 4. 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から  
出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報から商品の売買の成約  
2 0 を決定する商品取引システムであって、

上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、

上記ホストは、確定した情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行うための確定後販売処理機能と、上記確定後販売処理機能の実行で発生し  
2 5 た販売残商品の販売処理を行うための現品販売処理機能とを備えることを特徴とする商品取引システム。

25. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理を行う商品取引方法であって、

5 確定した情報に基づいた上記販売情報を出力することで販売処理を行う確定後販売処理ステップと、

上記確定後販売処理ステップの実行で発生した販売残商品の販売処理を行う現品販売処理ステップとを含むことを特徴とする商品取引方法。

10 26. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、

上記取引処理ステップは、請求の範囲第25項に記載の商品取引方法の処理ステップを含むことを特徴とする記憶媒体。

15 27. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、少なくとも第1の取引処理及び第2の取引処理を画面上にて実行することで、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、

上記第1の取引処理に関する情報を表示する第1の取引情報表示部と、

20 上記第2の取引処理に関する情報を表示する第2の取引情報表示部とを含む画面を有することを特徴とする商品取引装置。

28. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

25 上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、請求の範囲第27項に記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。

2 9. 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

5 上記ホストは、第 1 の取引処理を行う第 1 の取引処理機能と、第 2 の取引処理を行う第 2 の取引処理機能との少なくとも 2 つの取引処理機能を有し、

上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力するものであって、上記第 1 の取引処理に関する情報を表示する第 1 の取引情報表示部と、上記第 2 の取引処理に関する情報を表示する第 2 の取引情報表示部とを含む画面  
1 0 を有することを特徴とする商品取引システム。

3 0. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、少なくとも第 1 の取引処理及び第 2 の取引処理を画面上にて実行することで、商品の売買の成約を決定するための取引処理を行う商品取引方法  
1 5 であって、

上記第 1 の取引処理に関する情報と、上記第 2 の取引処理に関する情報とを同一画面上に表示するステップを含むことを特徴とする商品取引方法。

3 1. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入  
2 0 情報に基づいて、少なくとも第 1 の取引処理及び第 2 の取引処理を画面上にて実行することで、商品の売買の成約を決定するための取引処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、

上記取引処理ステップは、請求の範囲第 3 0 項に記載の商品取引方法の処理ステップを含むことを特徴とする記憶媒体。

2 5

3 2. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための商品取引方法



であって、

上記複数の購入情報から、該購入情報に含まれる購入条件に従った集合を形成し、

上記複数の販売情報から、上記購入条件に従った集合を形成し、

- 5    上記購入情報の集合と、それに対応する上記販売情報の集合との間で、各々の集合に含まれる購入情報と販売情報を紐付けて上記売買の成約を決定する処理ステップを含むことを特徴とする商品取引方法。

- 3 3. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための商品取引方法であって、

上記複数の購入情報に対して、上記売買の成約を決定するための処理順を所定の条件に従って決定し、

- 1 5    上記複数の販売情報から、上記処理順に従った処理対象購入情報に含まれる購入条件に従った集合を形成し、

上記対象購入情報と、上記販売情報の集合に含まれる販売情報との間で、購入情報と販売情報を紐付けて上記売買の成約を決定する処理ステップを含むことを特徴とする商品取引方法。

- 2 0    3 4. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための商品取引方法であって、

上記複数の販売情報に対して、上記売買の成約を決定するための処理順を所定の条件に従って決定し、

- 2 5    上記複数の購入情報から、上記処理順に従った処理対象販売情報に含まれる販売条件に従った集合を形成し、

上記対象販売情報と、上記購入情報の集合に含まれる購入情報との間で、販売

情報と購入情報を紐付けて上記売買の成約を決定する処理ステップを含むことを特徴とする商品取引方法。

- 3 5. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定する商品取引装置であって、

上記複数の購入情報から、該購入情報に含まれる購入条件に従った集合を形成する第1の集合形成手段と、

- 1 0 上記複数の販売情報から、上記購入条件に従った集合を形成する第2の集合形成手段と、

上記第1の集合形成手段にて形成された集合と、それに対応する上記第2の集合形成手段にて形成された集合との間で、購入情報と販売情報を紐付けて上記売買の成約を決定する取引決定手段とを備えることを特徴とする商品取引装置。

- 1 5 3 6. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定する商品取引装置であって、

上記複数の購入情報に対して、上記売買の成約を決定するための処理順を所定の条件に従って決定する処理順決定手段と、

- 2 0 上記複数の販売情報から、上記処理順決定手段により決定された処理順に従った対象購入情報に含まれる購入条件に従った集合を形成する集合形成手段と、

上記対象購入情報と、上記集合形成手段にて形成された集合に含まれる販売情報との間で、購入情報と販売情報を紐付けて上記売買の成約を決定する取引決定手段とを備えることを特徴とする商品取引装置。

2 5

- 3 7. 商品の売買取引のための販売情報を出力する複数の端末装置と、商品の売買取引のための購入情報を出力する複数の端末装置と、各々の端末装置から出力

される複数の販売情報及び購入情報に基づいて商品の売買の成約を決定するホストとが接続されてなる商品取引システムであって、

上記ホストは、請求の範囲第 3 5 項又は第 3 6 項に記載の商品取引装置の機能を有することを特徴とする商品取引システム。

5

3 8. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための複数の販売情報及び複数の購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、

上記処理ステップは、請求の範囲第 3 2 項～第 3 4 項の何れかに記載の商品取引方法の処理ステップを含むことを特徴とする記憶媒体。

1 0

3 9. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて売買取引の成立を決定するシステムを管理する装置であって、

上記売買取引の成立により発生する売手側と買手側間の物流ルートに基づいた物流費の情報を予め記憶する記憶手段と、

1 5

上記売買取引が行われるときに、その対象となる売手側と買手側間の物流ルートに対応した物流費情報を上記記憶手段から取得して出力する出力手段とを備えることを特徴とする商品取引装置。

2 0 4 0. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて売買取引の成立を決定するシステムにおける、上記複数の端末装置の少なくとも 1 つの端末装置であって、

上記売買取引の成立により発生する売手側と買手側間の物流ルートに基づいた物流費の情報を、上記売買取引での取引先に応じて表示する表示手段を備えることを特徴とする商品取引装置。

2 5

4 1. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入

情報に基づいて、商品の売買取引の成立を決定するシステムであって、

請求の範囲第 39 項又は第 40 項に記載の商品取引装置を含むことを特徴とする商品取引システム。

- 5 42. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて、商品の売買取引の成立を決定するシステムであって、

上記複数の端末装置の少なくとも 1 つの端末装置は、請求の範囲第 39 項又は第 40 項に記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。

- 10 43. 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報から商品の売買取引の成立を決定する商品取引システムであって、

上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出し、

- 15 上記ホストは、上記売買取引の成立により発生する売手側と買手側間の物流ルートに基づいた物流費の情報を予め記憶する記憶手段と、上記端末装置により上記売買取引が行われるときに、その対象となる売手側と買手側間の物流ルートに対応した物流費情報を上記記憶手段から取得して上記端末装置に対して送信する送信手段とを備えることを特徴とする商品取引システム。

20

44. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報に基づいて売買取引の成立を決定するための商品取引方法であって、

上記売買取引の成立により発生する売手側と買手側間の物流ルートに基づいた物流費の情報をメモリに予め記憶する記憶ステップと、

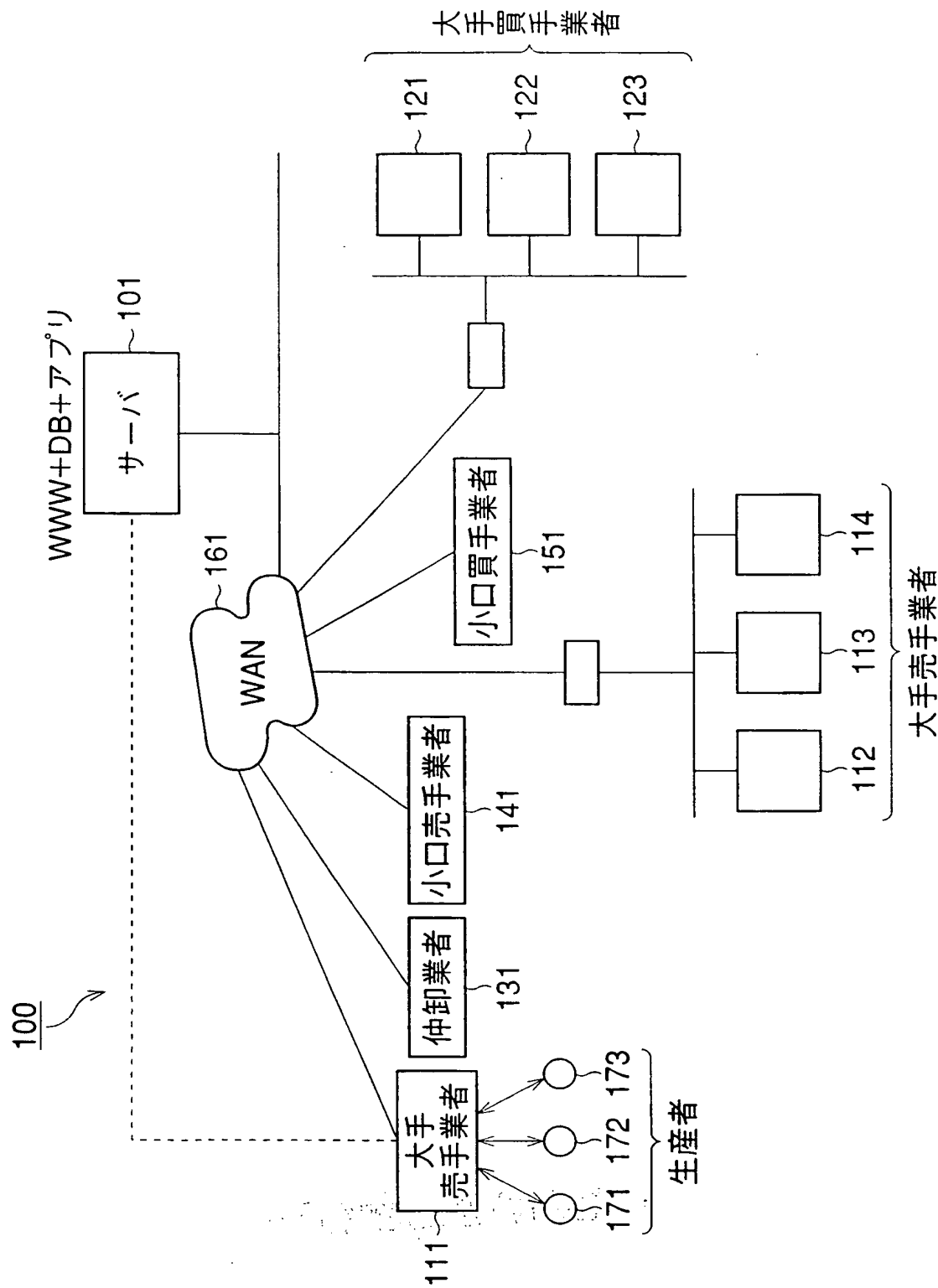
- 25 上記売買取引が行われるときに、その対象となる売手側と買手側間の物流ルートに対応した物流費情報を上記メモリから取得して出力する出力ステップとを含むことを特徴とする商品取引方法。

4 5. 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報及び購入情報情報に基づいて、商品の売買取引の成立を決定するための処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、

- 5 上記処理ステップは、請求の範囲第 4 4 項に記載の商品取引方法の処理ステップを含むことを特徴とする記憶媒体。

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

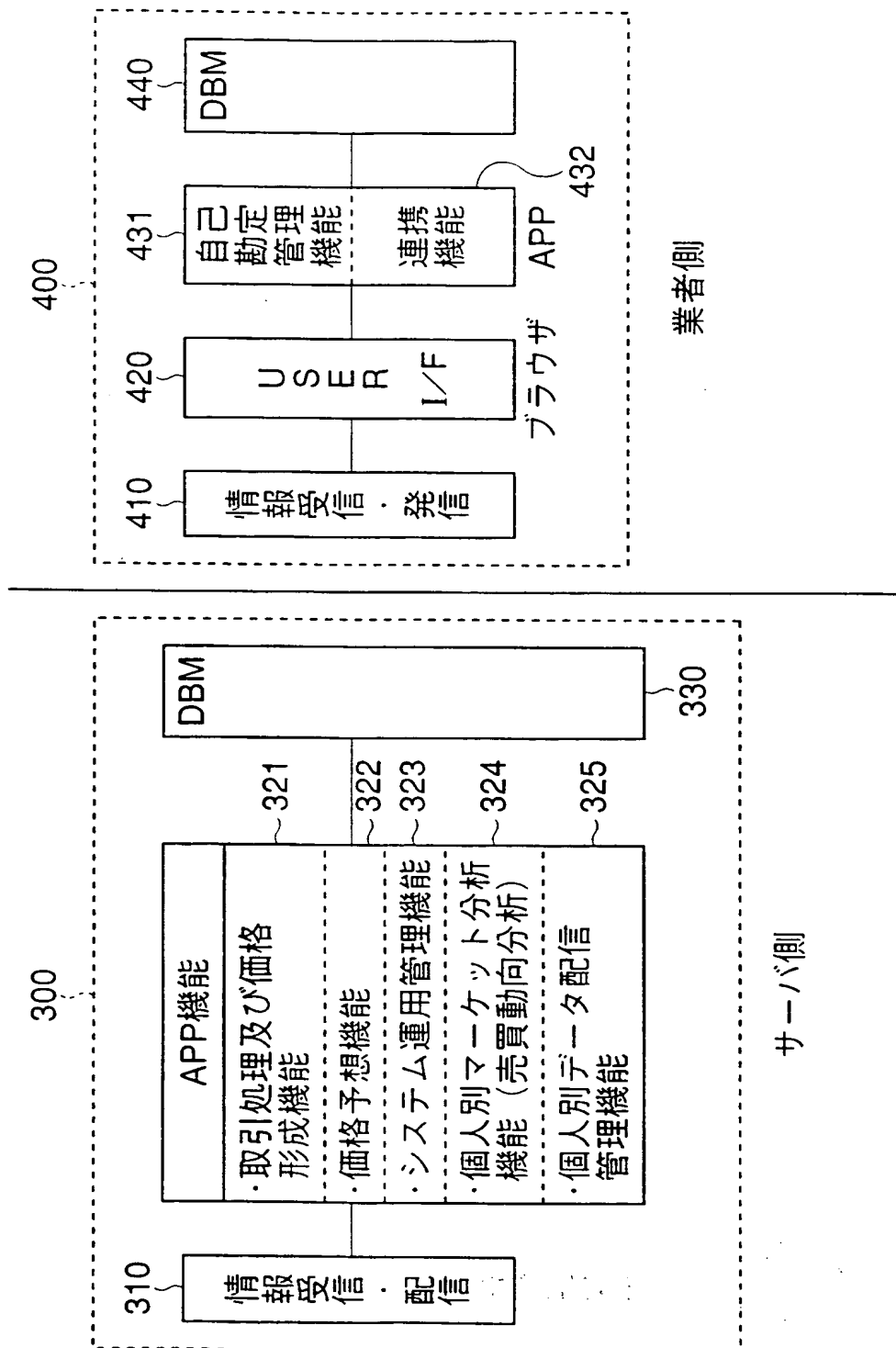
第1図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第2図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第3図

注文	予約	一般I	一般II	成約・着荷	集統計	お知らせ	終了

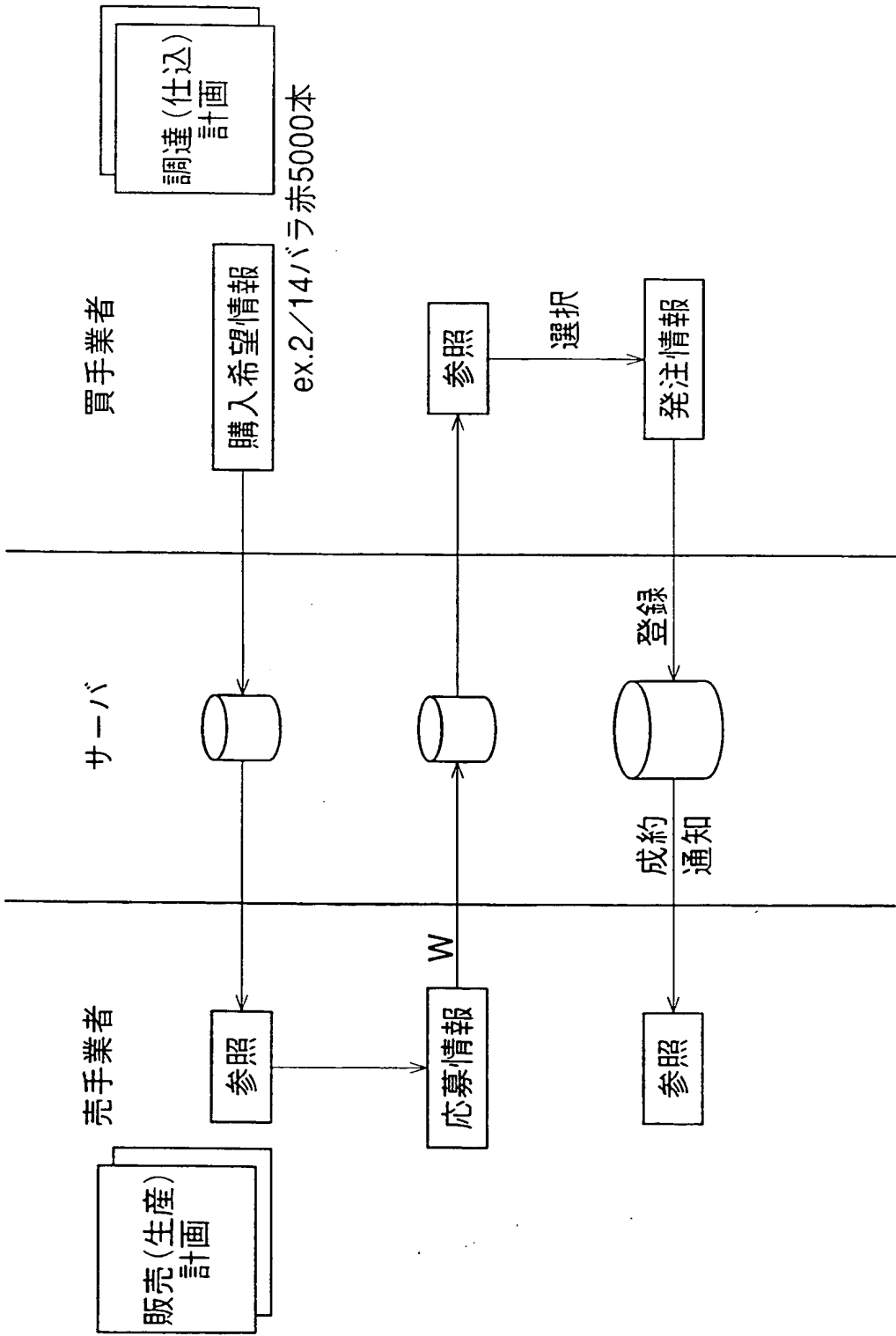
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第4図

注文	予約	複写	一般	成約・着荷	集統計	お知らせ	終了
----	----	----	----	-------	-----	------	----

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第5図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



## 第6図

注文情報一覧画面

新規変更 &lt; &lt; &lt; &gt; &gt; &gt; 削除

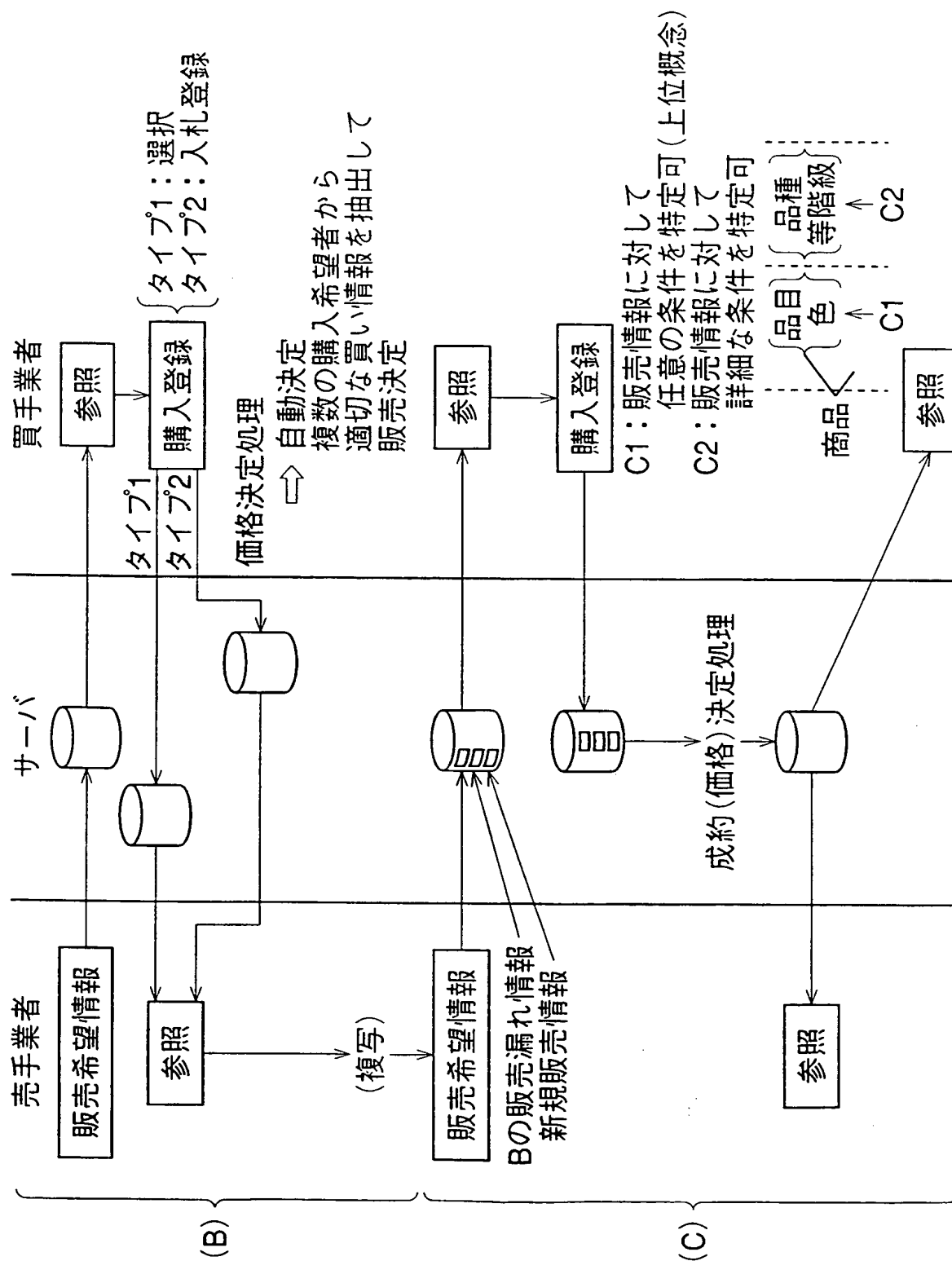
66件検索しました。1-20を表示しています。合計本数：3,103,680本 未選定合計本数：2,959,740本 合計金額：309,905,900円

返	発荷日	品目	品名	色	等級	希望産地	総本数	未選定	単位	希望Y	応募	cm	g	輪付	切前	格切日	注文番号	備考
<input type="checkbox"/>	97/07/28	ガーベラ	スタンダード	オレンジ	2L	愛知県	100	100	本	23	0	0				97/07/26	0000002575	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	キク 小菊		白	特級	茨城県	200	200	本	30	0	0				97/07/26	0000002521	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	キク 小菊		黄	特級	茨城県	600	600	本	35	0	0				97/07/26	0000002388	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	キク 小菊		その他	特級	茨城県	400	400	本	30	0	0				97/07/26	0000002394	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	キク 大輪	精露	白	秀L	愛知県	1,200	1,200	本	50	0	0				97/07/26	0000002524	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	スターチス	ソピア	複色	特L	長野県	100	100	本	40	0	0				97/07/26	0000002366	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	スターチス	クリスタルイエローチース	黄	秀L	北海道	200	200	本	45	0	0				97/07/26	0000002338	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	スターチス	フラッシュピンク スターチス	ピンク	秀L		300	300	本	45	0	0				97/07/26	0000002343	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	ソリダゴ			A L	長野県	140	140	本	25	0	0				97/07/26	0000002558	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	ダイアンサス 燕子	ヨウキヒ	ピンク	2L	北海道	100	100	本	30	0	0				97/07/26	0000002301	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの涙	複色フルー	A 2L	岩手県	20	20	本	180	0	0				97/07/26	0000002386	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの涙	黄	A 2L	岩手県	30	30	本	150	0	0				97/07/26	0000002384	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの涙	複色フルー	2L	長野県	160	160	本	140	0	0				97/07/26	0000002439	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの涙	複色ピンク	2L	長野県	60	60	本	160	0	0				97/07/25	0000002432	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの涙	複色ピンク	L	長野県	150	150	本	100	0	0				97/07/26	0000002443	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの涙	複色ピンク	2L	長野県	20	20	本	160	0	0				97/07/26	0000002436	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの涙	複色ピンク	L	長野県	100	100	本	40	0	0				97/07/26	0000002286	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	バラ スプレー	ブライドインジョイ	オレンジ	L	愛知県	100	100	本	50	0	0				97/07/26	0000002282	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	バラ スプレー	ファンタジースプレーバラ	淡ピンク	M	愛知県	100	100	本	10	0	0				97/07/26	0000002305	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	フリージア 一重	アラジン	黄	秀L	北海道	200	200	本	10	0	0				97/07/26	0000002305	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	ガーベラ	スタンダード	ピンク	2L	愛知県	300	300	本	28	0	0				97/08/02	0000002673	

検索 条件取消 新規

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

圖 7-2



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第8図

出荷情報一覧画面

新規・変更 < > >> 削除

8件検索しました。1-18を表示しています。合計本数：121,550本 合計金額：77,820,000円 残合計本数：177,840本 残合計金額：64,402,500円

選	出荷日	品目	品種	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	残箱数	単位	希望	cm	g	梱付
<input type="checkbox"/>	97/09/01	スターチス	シニョーアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	100		本	100	99		
<input type="checkbox"/>	97/09/01	スターチス	シニョーアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	100		本	100	99		
<input type="checkbox"/>	97/09/01	デルフィニウム ベラドンナ系	ベラドンナ フォルカーフリーデン	濃ブルー	秀	岩手県		100	100		本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/09/02	カーネーション スプレー	バーバラ ライトピンクパーバラ	淡ピンク	秀	北海道		100	100		本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/09/02	キク 大輪	精露	白	秀	北海道		100	100		本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/10/10	シュコンアスター 孔雀アスター	プラズベリー	白	秀	北海道		100	100		本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/10/10	スターチス ハイブリッド	ミスティー ブルー	紫	秀	宮崎県		100	100		本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/10/10	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	北海道		100	100		本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/10/31	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	岩手県		100	100		本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/10/31	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	岩手県		100	100		本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/12/01	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	30		本	85	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	30		本	90	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	スターチス	シニョーアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀2L	和歌山県		100	10		本	65,120	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	スターチス	シニョーアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀2L	北海道		100	85		本	70	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	デルフィニウム ベラドンナ系	ベラドンナ フォルカーフリーデン	濃ブルー	秀2L	北海道		50	10		本	150	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	ヒマワリ	サンリッチ レモン	未定	秀	岩手県		50	10		本	50	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/03	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	50		本	95	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	100		本	100	80		

出荷情報検索画面

検索 条件取消 新規

出荷日  ~  情報登録日

品目

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第9図

注文

予約

一般

一般

成約・発荷

集統計

お知らせ

終了

出荷／応札情報一覧画面

3件検索しました。1-3を表示しています。残合計本数：36,000本

選

発荷日

品目

ローテローゼ (=アサミレッド)

品種

97/12/01

バラ

スタンダード

97/12/15

カーネーション

スプレー

カサブランカ

97/12/15

キク

大輪菊

秋の友

色

等級

売り手

産地

生産者名

赤

秀2L

静岡県

赤

秀4L

愛知県

白

秀

福岡県

入数

箱数

残箱数

単位

希望¥

cm

60

20

20

本

160

70

100

500

300

本

80

100

100

100

500

本

150

100

新規

<<

<

>

>>

検索

条件取消

出荷／応札情報組検索画面

発荷日

～

品目

品種

規格 (cm)

色

産地

生産者等級

色

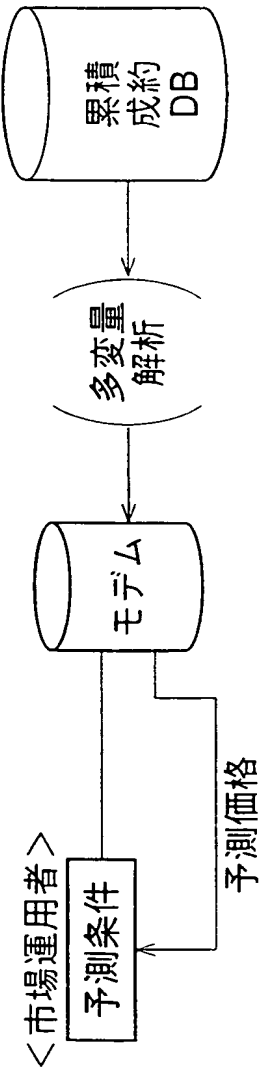
産地

9 / 74

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



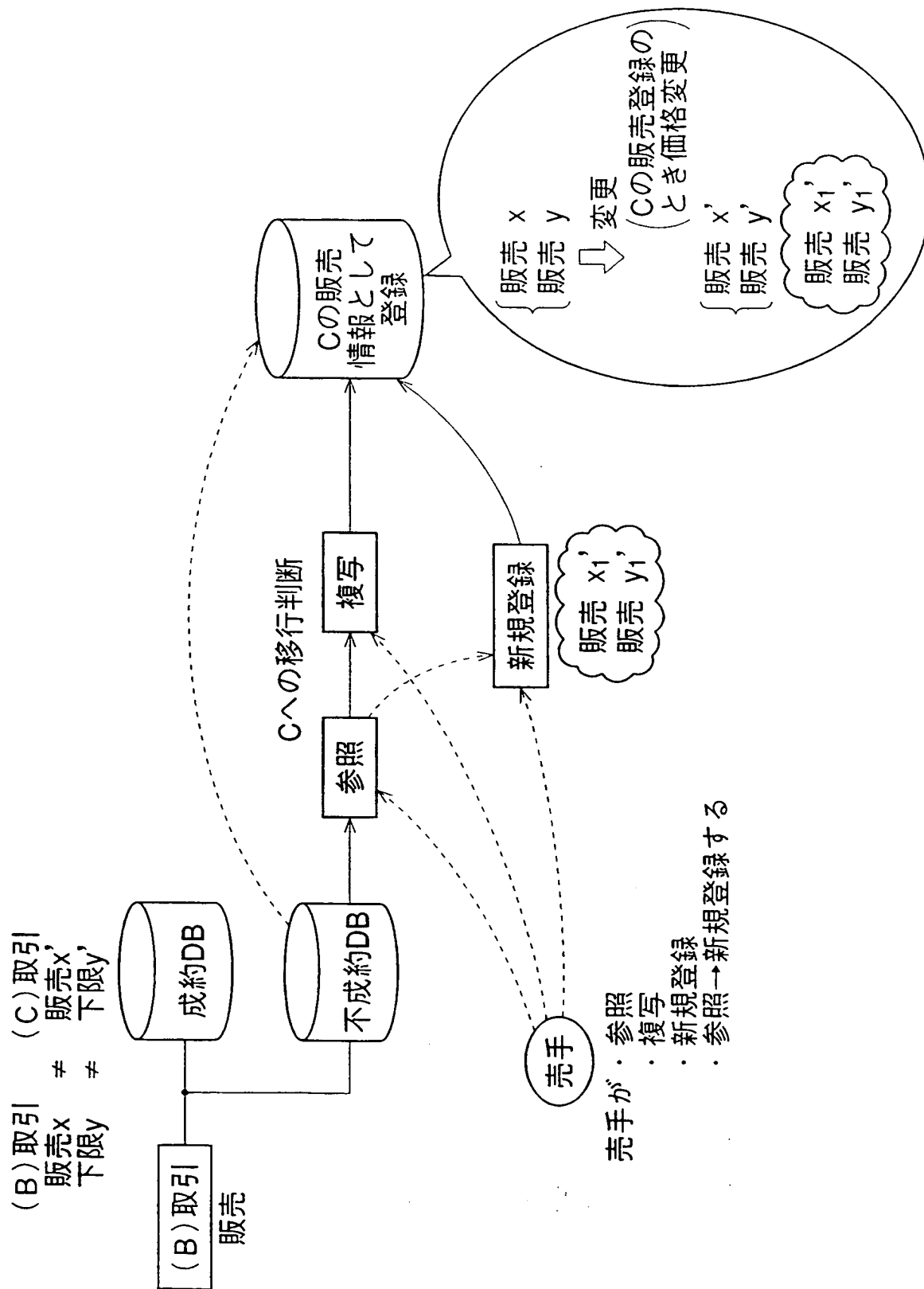
第10図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

**THIS PAGE BLANK**

第11図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第12図

不成約出荷情報一覧画面

複写 << < > >>

72件検索しました。合計本数：102,150本 合計金額：126,203,380円 残合計本数：78,060本 残合計金額：124,749,830円

選	発荷日	品目	品種	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	残箱数	単位	希望Y	cm	g	轉付	切前	出荷番号	備考
<input type="checkbox"/>	97/07/28	ユリ 鉄砲百合	希 (のぞみ) テッポウユリ	白	L	長野県		100	10	8	本	25	100	1	1	1	0000000024	一結
<input type="checkbox"/>	97/07/28	ユリ 鉄砲百合	希 (のぞみ) テッポウユリ	白	2L	長野県		100	15	15	本	80	100	1	1	1	0000000025	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク スプレー菊	アルプス	白	1級	愛知県		100	3	2	本	60	90				0000002266	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク スプレー菊	トウアーマリン SPギク	ピンク	特 級	愛知県		100	3	3	本	80	90				0000002271	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク スプレー菊	トウアーマリン SPギク	ピンク	1級	愛知県		100	3	1	本	65	90				0000002273	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク 大輪	精雲	白	秀L	愛知県		200	30	28	本	70	90				0000002245	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク 大輪	精雲	白	秀M	愛知県		200	30	30	本	65	90				0000002249	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク 大輪	精雲	白	1級	長野県		100	30	30	本	70	90				0000002254	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク 大輪	精雲	白	2級	長野県		100	30	10	本	50	90				0000002256	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	特 級	長野県		100	30	27	本	70	90				0000002259	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	1級	長野県		100	30	20	本	60	90				0000002261	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	2級	長野県		100	50	50	本	55	90				0000002262	

不成約出荷情報検索画面

検索 条件取消

○発荷日  ○情報登録日   
○品目  ○品種  ○色   
○生産者等級  ○規格 (cm)  ○生産者名  ○出荷番号

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第13図

販売情報一覧画面

新規・変更 << < > >> 削除

30件検索しました。21-30を表示しています。合計本数:90,400本 合計金額:7,479,500円

選	発荷日	品目	品名	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	総本数	単位	希望	下限	cm	g	精付	切前
<input type="checkbox"/>	97/08/08	キク 大輪	精雪	白	秀	北海道		160	100	16,000	本	100	50	100			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	キク スプレー菊	アルプス	白	秀	北海道		160	50	8,000	本	150	100	100			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	キク スプレー	翠玉	グリーン	1級	愛知県		100	1	100	本	65	65	90			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	キク スプレー菊	バイキング	黄	特級	愛知県		100	3	300	本	80	80	90			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	バラ	ノブレス	未定	特級	長野県		100	27	2,700	本	70	70	90			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	バラ	ノブレス	未定	1級	愛知県		100	2	200	本	60	60	90			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	キク スプレー	翠玉	グリーン	1級	愛知県		100	1	100	本	65	65	90			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	5	500	本	100	100	100			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	5	500	本	100	100	100			
<input type="checkbox"/>	97/08/08	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀4L	北海道		100	100	10,000	本	100	100	100			

販売情報検索画面

検索 条件取消 新規

発荷日  ○情報登録日   
 品目  ○品種  ○色   
 生産者等級  ○規格 (cm)  ○生産者名  ○販売番号

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第14図

注文

予約

履歴

一般

成約・着荷

集統計

お知らせ

終了

集統計情報表示一覧画面

集統計開始日：97/11/1

日付	平均価格	最高価格	最低価格	総本数	日付	平均価格	最高価格	最低価格	総本数
97/11/01	0	0	0	0	97/11/17	0	0	0	0
97/11/02	0	0	0	0	97/11/18	0	0	0	0
97/11/03	0	0	0	0	97/11/19	0	0	0	0
97/11/04	0	0	0	0	97/11/20	0	0	0	0
97/11/05	0	0	0	0	97/11/21	0	0	0	0
97/11/06	0	0	0	0	97/11/22	0	0	0	0
97/11/07	0	0	0	0	97/11/23	0	0	0	0
97/11/08	0	0	0	0	97/11/24	0	0	0	0
97/11/09	0	0	0	0	97/11/25	0	0	0	0
97/11/10	0	0	0	0	97/11/26	0	0	0	0
97/11/11	0	0	0	0	97/11/27	0	0	0	0
97/11/12	115	123	100	1,270	97/11/28	0	0	0	0
97/11/13	0	0	0	0	97/11/29	0	0	0	0
97/11/14	0	0	0	0	97/11/30	0	0	0	0
97/11/15	0	0	0	0	97/12/02	0	0	0	0
97/11/16	0	0	0	0					

集統計情報検索画面

着荷日97年11月1日

品目キク大輪菊

生産者等級

産地

品種

色

表示形態

表示区分

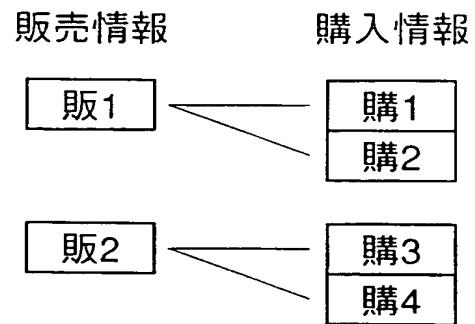
日別

検索

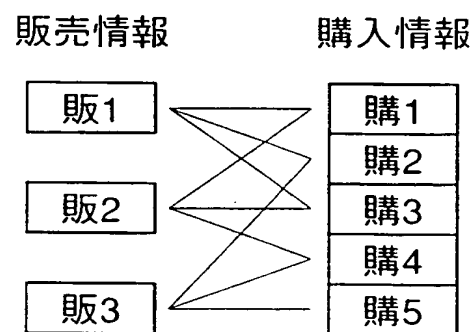
条件取消

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第15図

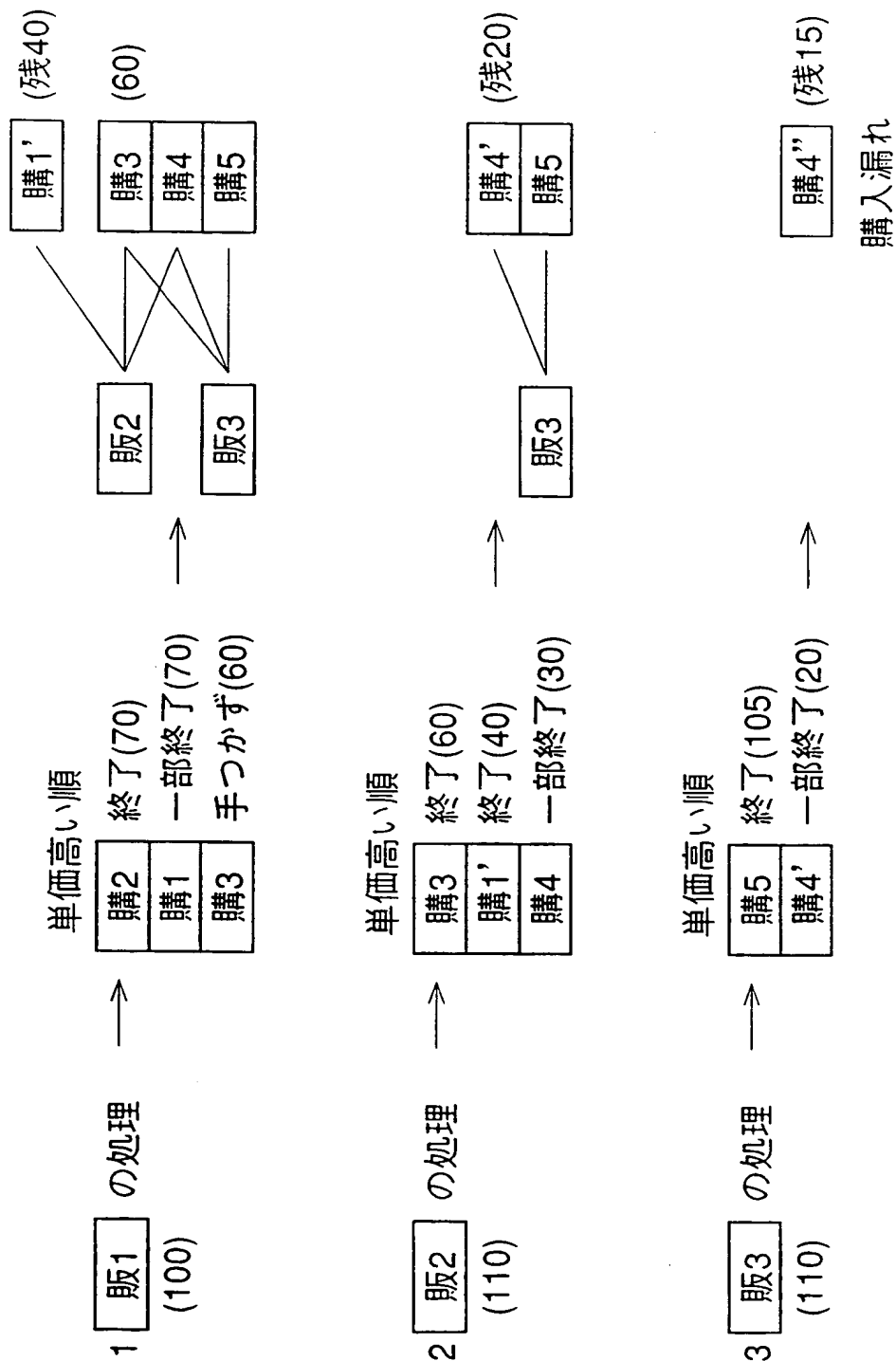


第16図



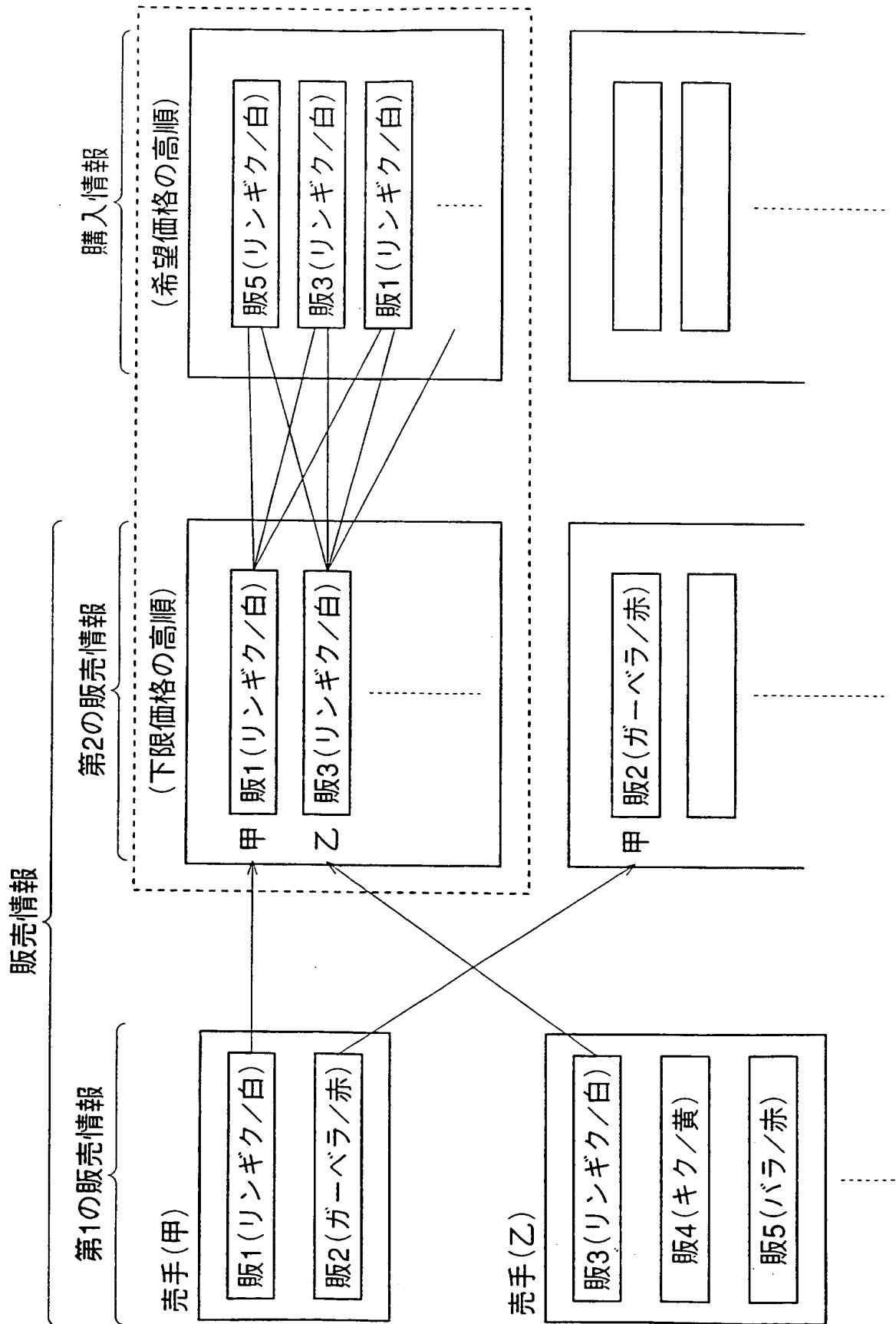
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第17図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

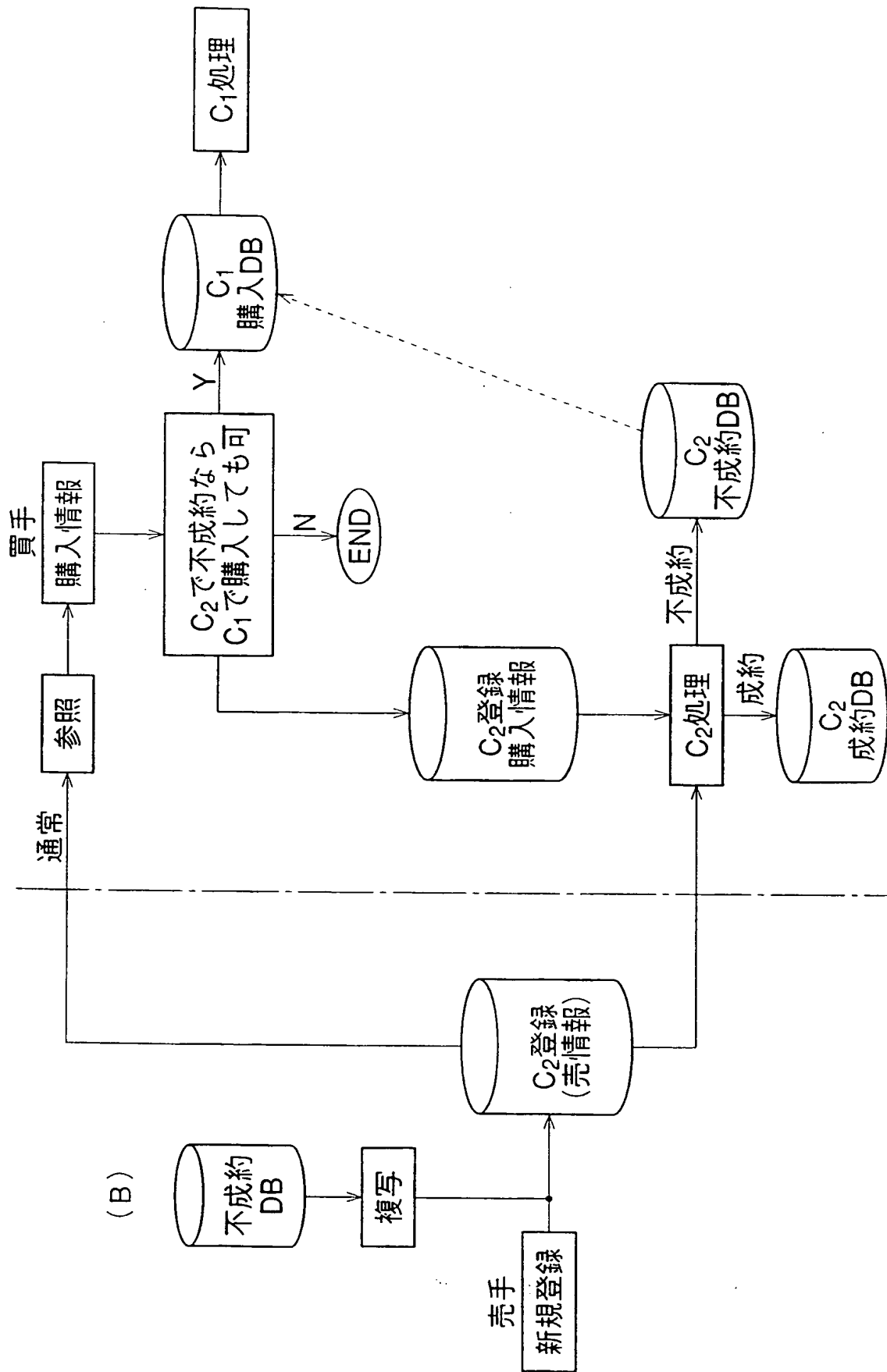
第18図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第19図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

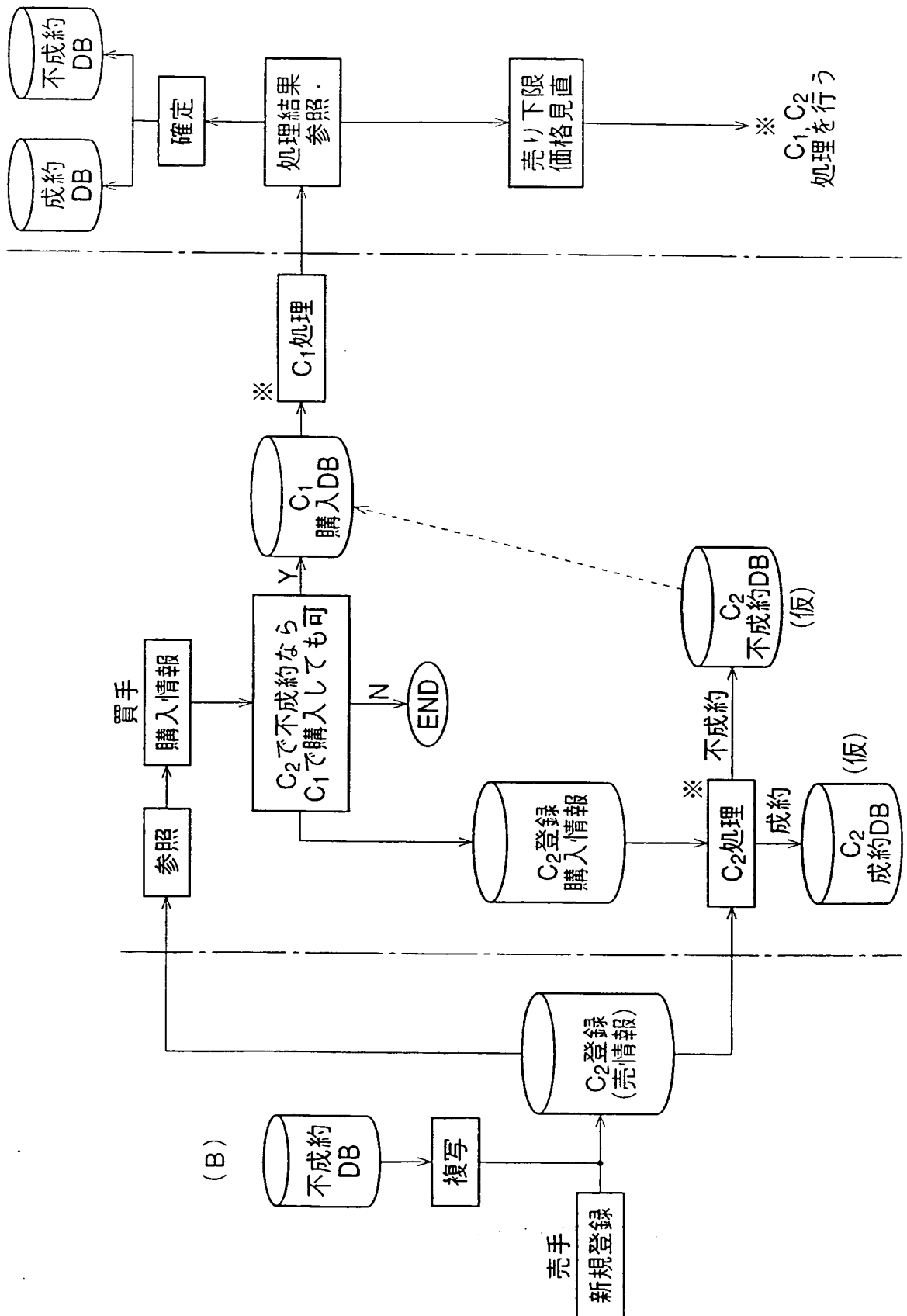
圖 20

C <sub>2</sub> 購入登録				
購入情報	①	本数		

C<sub>1</sub>取引を行う場合は、「レ」点をつける

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

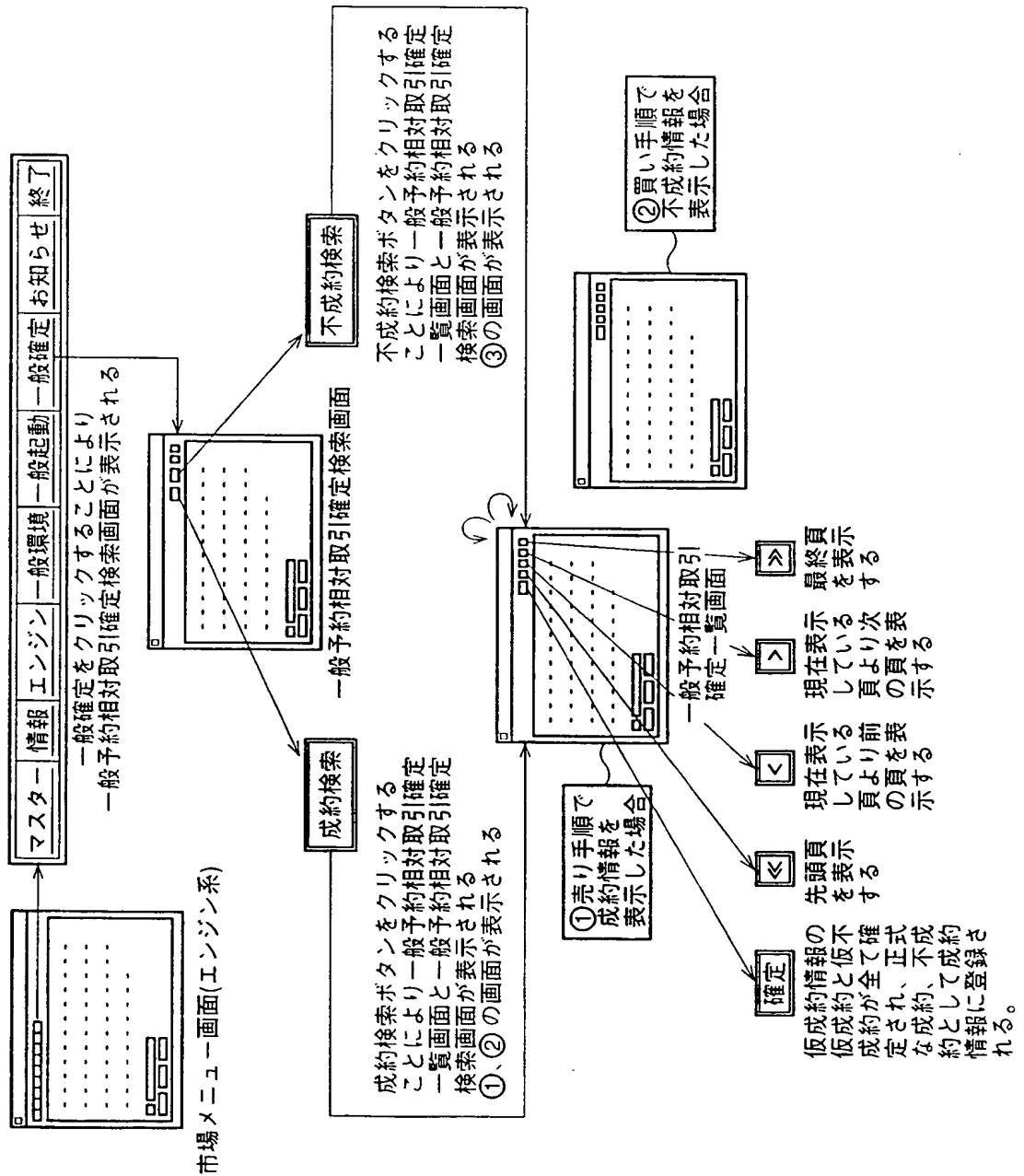
第21図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第22圖

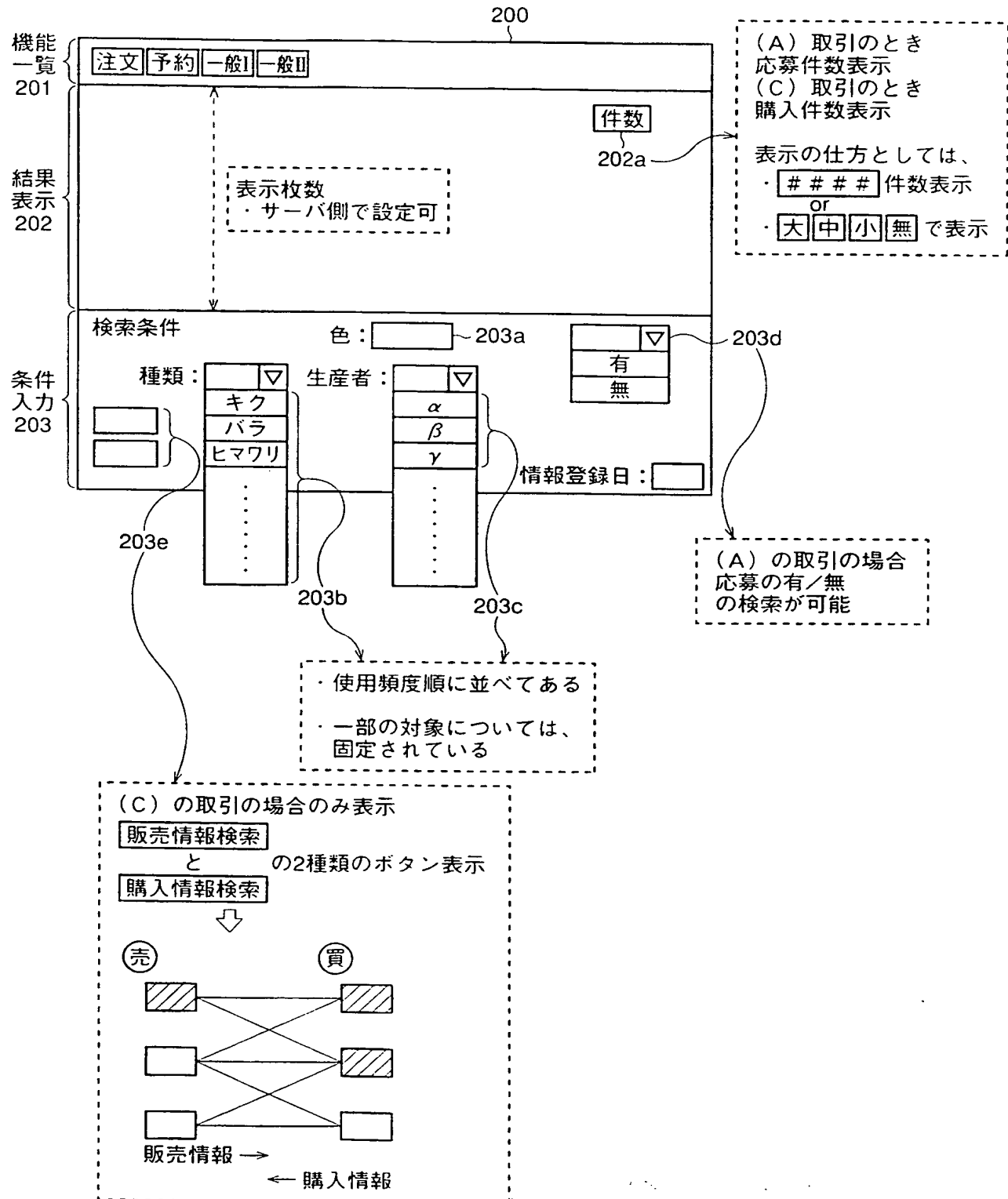
### 一般予約相對取引確定



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

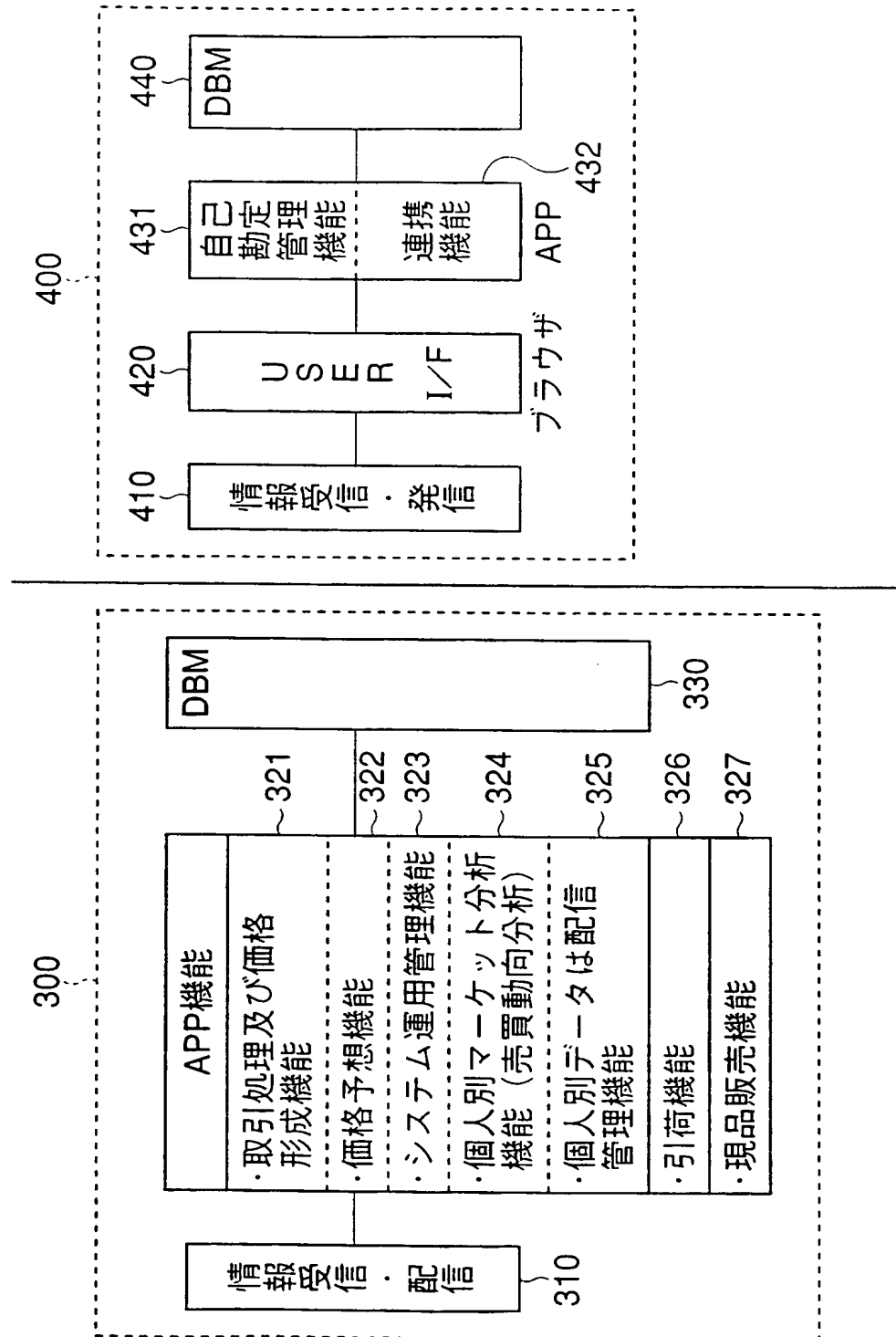


## 第23図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第24図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第25図  
配荷管理画面

商品属性	既決定取引数量				残数量		EC取引	
	A取引	B1取引	引荷	競り	B2取引	C取引		
ｽﾌﾟﾚｰ菊 2L 黄	5 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	0 <input type="checkbox"/>	20 <input type="checkbox"/>				
ｽﾌﾟﾚｰ菊 2L 緑								
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

引荷処理画面

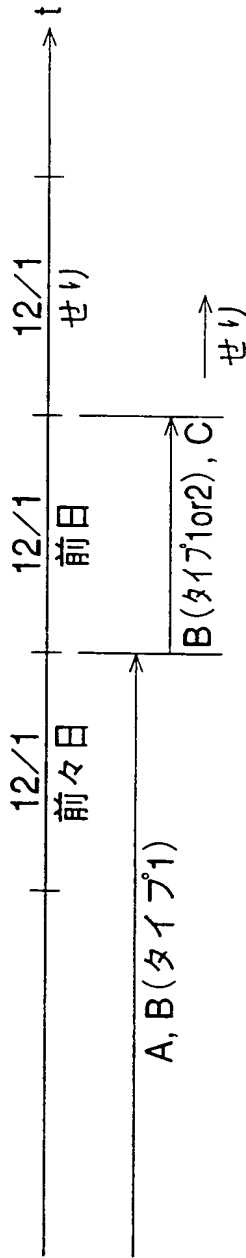
商品属性	買手	単価	箱数
ｽﾌﾟﾚｰ菊 2L 黄	A社	100	5
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

(B2/C)取引処理画面

B2/C			
商品属性	単価	指数	下限値
ｽﾌﾟﾚｰ菊 2L 黄	A90	5	35
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第26図



（地方市場  
経済連  
農協、農事法人  
輸入業者、卸売業者、商社）

生産者	売手（農協）	市場	買手
生産調整 hearing	生産計画	ディーラー tel @ : 200本（すでに売れた）	A, B (タイプ1) (i)
午前中、花を切る 確定情報 Fax Tel	確定 出荷量 1000本 配信 Fax	ディーラー A, B 200本 150本 C 650 B (タイプ1or2), C	500本 (ii)
引荷の取引		150本 緊急品	(iii)
せり当日		せりにかける 150本	(iv)

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

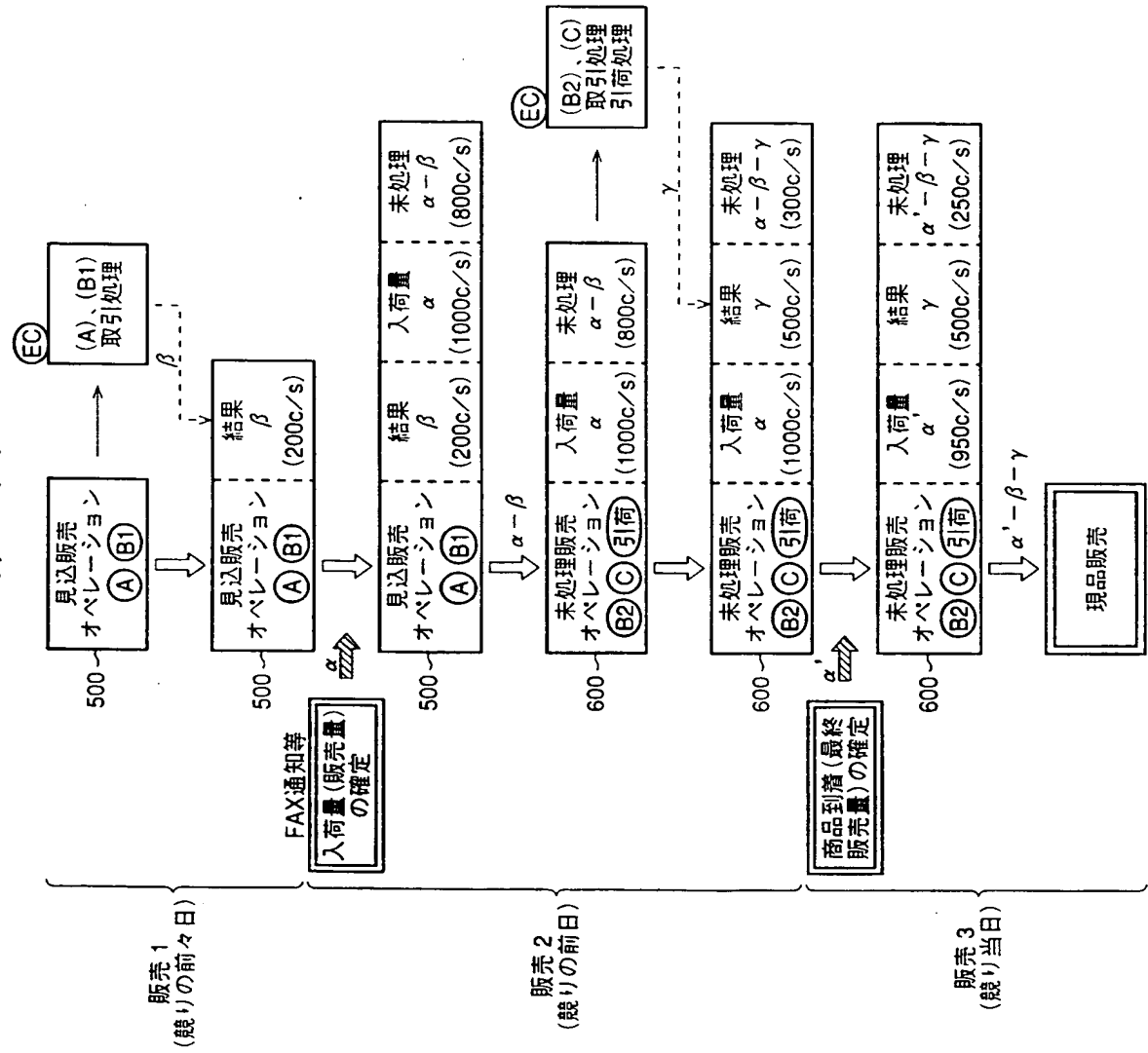


第27図

入荷量	A, B <sub>1</sub> (i)	引荷 (iii)	残りせり (iv)	B <sub>2</sub> , C (ii)
せり前々日 (12/1)	X <sub>1</sub> (200)			
せり前日 (12/2)	X <sub>1</sub> (200)		1000-X <sub>1</sub> (800)	
	X <sub>1</sub> (200)	X <sub>2</sub> (100)	1000-X <sub>1</sub> -X <sub>2</sub> (700)	
	X <sub>1</sub> (200)	X' <sub>2</sub> (50)	1000-X <sub>1</sub> -X <sub>2</sub> -X' <sub>2</sub> (650)	X <sub>3</sub> (500)
せり当日 (12/3)	X <sub>1</sub> (200)		1000-X <sub>1</sub> -X <sub>2</sub> -X' <sub>2</sub> -X <sub>3</sub> (150)	せりに必要な 数量を決める

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第28図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

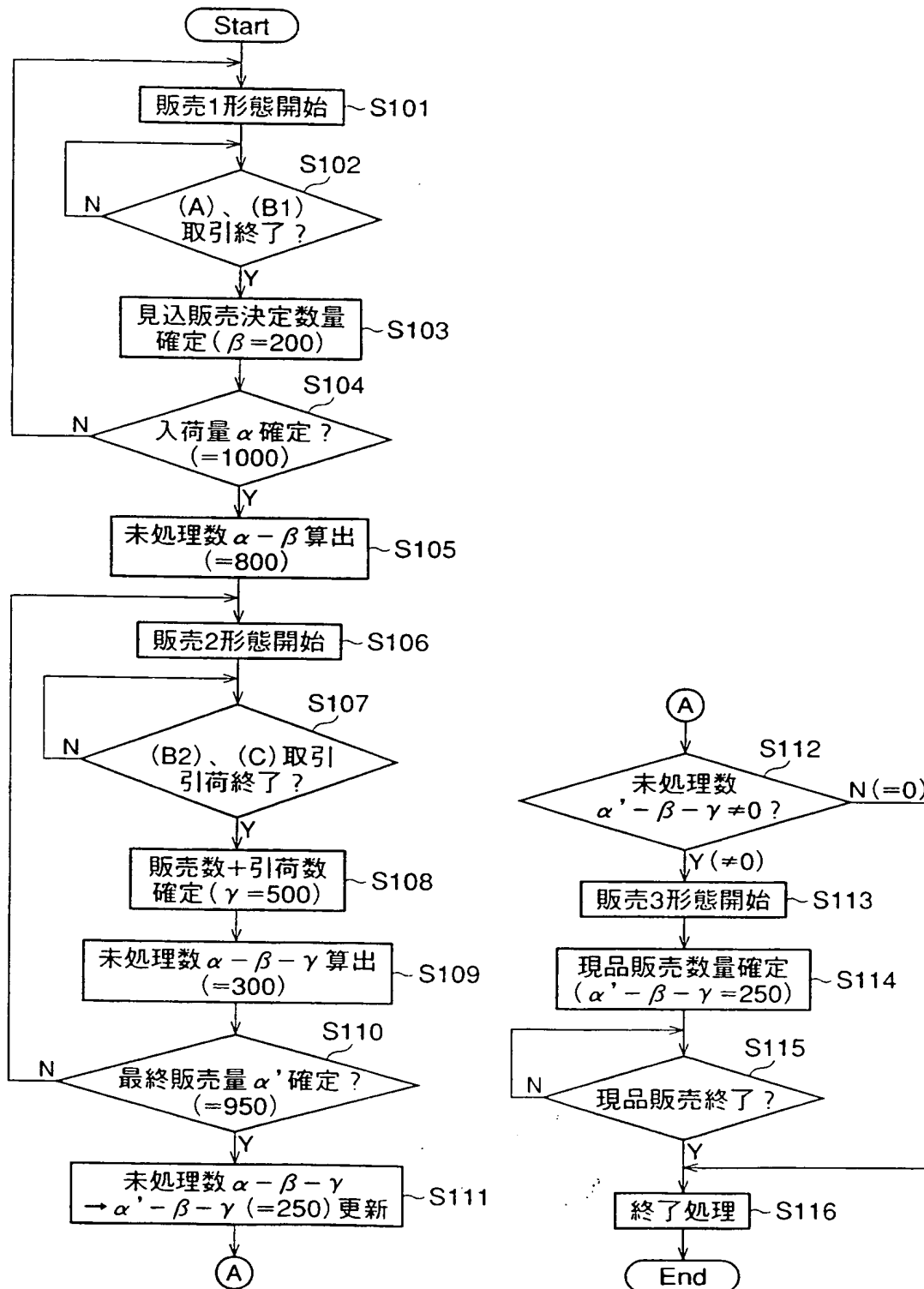
第29図

配荷管理トップ画面

ユーザID	XXXXXX		着荷日	平成9年12月15日(月)	
産地	コード	産地名	品種	コード	品種名
		愛知渥美町			アルプス
生産者名	コード	生産者名	色	コード	色
		○○○○○			黄
品目	コード	品目名	等階級	コード	等階級
		キク			2L
形態	コード	形態			
		スプレー			
			配荷画面		
			配荷画面終了		

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第30図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第31図

見込販売オペレーション画面 ((A)、(B1)取引実行中)

商品の属性	入荷量	(A)取引	(B1)取引	結果	未処理数
スプレー菊 アルプス2L 黄		ⓔC 100c/s	ⓔC 100c/s		

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第32図

見込販売オペレーション画面 ((A)、(B1)取引確定時)

商品の属性	入荷量	(A)取引	(B1)取引	結果	未処理数
スプレー菊 アルプス2L 黄		(EC) 100c/s	(EC) 100c/s	200c/s @85	

**THIS PAGE BLANK (Uspto)**

第33図

見込販売オペレーション画面（入荷量確定時）

商品の属性	入荷量	(A)取引	(B1)取引	結果	未処理数
スプレー菊 アルプス2L 黄	1000c/s	100c/s	100c/s	200c/s @85	800c/s

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第34図

未処理販売オペレーション画面 ((B2)、(C)取引、引荷実行前)

商品の属性	入荷量	(B2)取引	(C)取引	引荷	結果	未処理数
スプレー菊 アルプス2L 黄	1000c/s	ⒺC	ⒺC			800c/s

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第35図

未処理販売オペレーション画面 ((B2)、(C)取引、引荷実行中)

商品の属性	入荷量	((B2))取引	((C))取引	引荷	結果	未処理数
スプレー菊 アルパス2L 黄	1000c/s	((EC)) 150c/s	((EC)) 150c/s	200c/s		800c/s

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第36図

未処理販売オペレーション画面 ((B2)、(C)取引、引荷確定時)

商品の属性	入荷量	(B2)取引	(C)取引	引荷	結果	未処理数
スプレー菊 アルプス2L 黄	1000c/s	150c/s	150c/s	200c/s	500c/s	800c/s

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第37図

未処理販売オペレーション画面（現品数確定時）

商品の属性	入荷量	(B2)取引	(C)取引	引荷	結果	未処理数
スプレー菊 アルパス2L 黄	950c/s	150c/s	150c/s	200c/s	500c/s	250c/s

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第38図

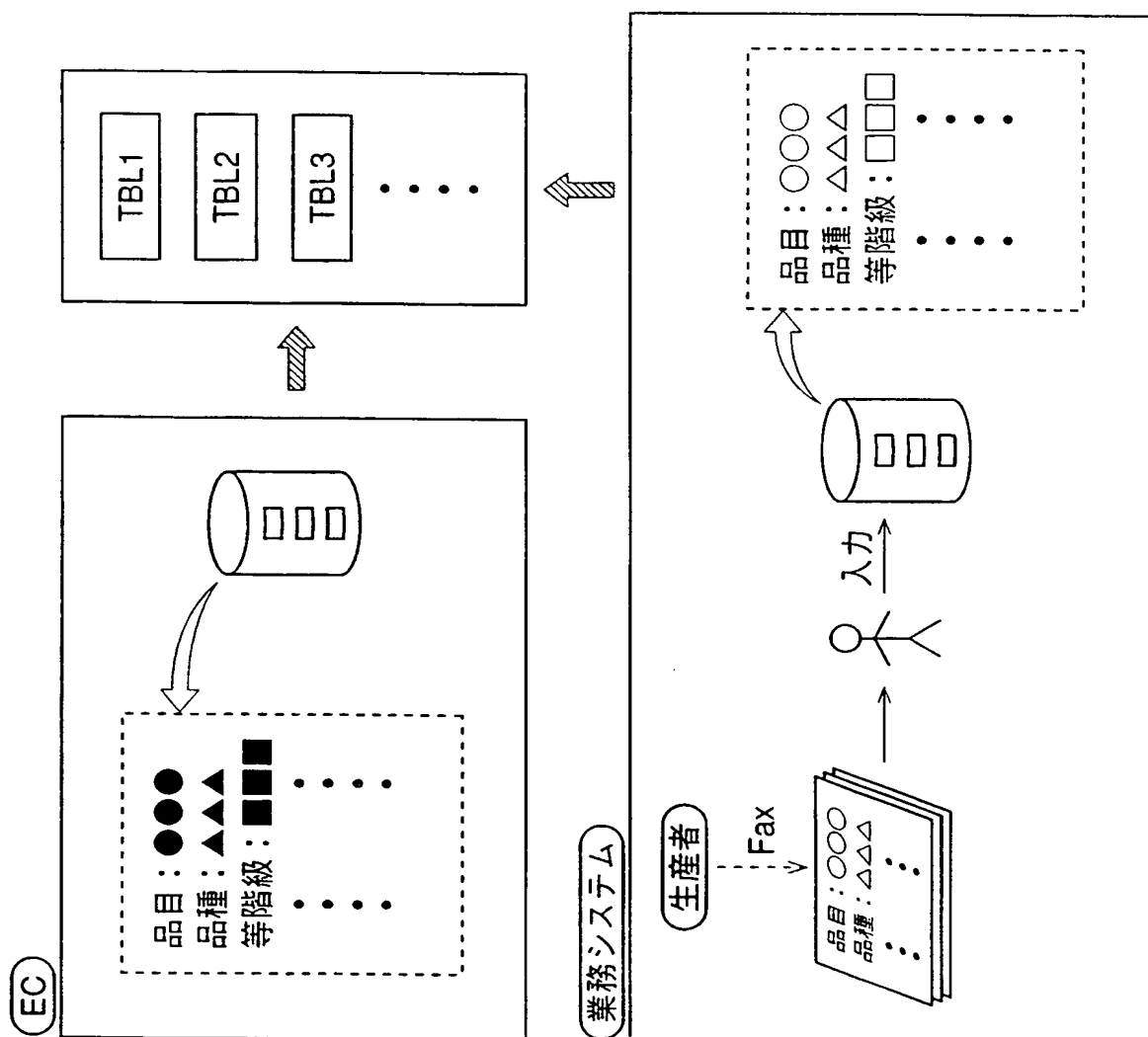
未処理販売オペレーション画面（複数行で表示した場合の一例）

商品の属性	入荷量	(B2)取引	(C)取引	引荷	結果	未処理数
スプレー菊 アルプス2L	1000c/s					
		(EC) 150c/s	(EC) 150c/s	200c/s	500c/s	
						300c/s
	950c/s					250c/s

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第39図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第40図

210

新規変更

<<

<

>

>>

削除

221

222

230

検索

条件取消し

注文・応募・出荷・販売番号

規格

生産者等級級

C取引 生産者

産地

色

登録日

品種

品目

A取引 応募

B取引 生産者

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第41図

注文情報一覧

66件検索しました。1-20を表示しています。合計本数：3,103,680本 未選定合計本数：2,959,740本 合計金額：309,905,900円

選	発荷日	品目	品種	色	等級	希望産地	総本数	未確定	単位	希望¥	応募	cm	g	梱付	切前	締切日	注文番号	備考
<input type="checkbox"/>	97/07/28	ガーベラ スタンダード	リズム ガーベラ (肌色)	オレンジ	2L	愛知県	100	100	本	23	0	0	0			97/07/26	0000002575	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	キク 小菊	コギク (白)	白	特級	茨城県	200	200	本	30	0	0	0			97/07/26	0000002521	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	キク 小菊	コギク (キイロ・クリーム)	黄	特級	茨城県	600	600	本	35	0	0	0			97/07/26	0000002388	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	キク 小菊	コギク [ソノタ]	その他	特級	茨城県	400	400	本	30	0	0	0			97/07/26	0000002394	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	キク 大輪	精露	白	秀し	愛知県	1,200	1,200	本	50	0	0	0			97/07/26	0000002524	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	スターチス	ソピア	複色	特し	長野県	100	100	本	40	0	0	0			97/07/26	0000002366	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	スターチス	クリスタルイエローチース	黄	秀し	北海道	200	200	本	45	0	0	0			97/07/26	0000002338	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	スターチス	フラッシュピンク スターチス	ピンク	秀し		300	300	本	45	0	0	0			97/07/26	0000002343	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	ソリダゴ			A L	長野県	140	140	本	25	0	0	0			97/07/26	0000002558	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	ダイアンサス 標子	ヨウキヒ	ピンク	2L	北海道	100	100	本	30	0	0	0			97/07/26	0000002301	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの液	複色ブルー	A 2L	岩手県	20	20	本	180	0	0	0			97/07/26	0000002385	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの露	黄	A 2L	岩手県	30	30	本	150	0	0	0			97/07/26	0000002384	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの露	複色ブルー	2L	長野県	160	160	本	140	0	0	0			97/07/26	0000002439	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの粧	複色ピンク	2L	長野県	60	60	本	160	0	0	0			97/07/25	0000002432	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの粧	複色ピンク	L	長野県	150	150	本	100	0	0	0			97/07/26	0000002443	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの緒	複色ピンク	2L	長野県	20	20	本	160	0	0	0			97/07/26	0000002436	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	バラ スプレー	ブライドインジョイ	オレンジ	L	愛知県	100	100	本	40	0	0	0			97/07/26	0000002286	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	バラ スプレー	ファンタジースプレーバラ	淡ピンク	M	愛知県	100	100	本	50	0	0	0			97/07/26	0000002282	
<input type="checkbox"/>	97/07/28	フリージア 一重	アラジン	黄	秀し	北海道	200	200	本	10	0	0	0			97/07/26	0000002305	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	ガーベラ スタンダード	シャンパーニー	ピンク	2L	愛知県	300	300	本	28	0	0	0			97/08/02	0000002673	

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第42図

出荷情報一覧

8件掲載しました。1-18を表示しています。合計本数：121,550本 合計金額：77,820,000円 残合計本数：177,840本 残合計金額：64,402,500円

選	発荷日	品目	品種	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	残箱数	単位	希望*	cm	g	給付
<input type="checkbox"/>	97/09/01	スターチス	シニユアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	100	100	本	100	99		
<input type="checkbox"/>	97/09/01	スターチス	シニユアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	100	100	本	100	99		
<input type="checkbox"/>	97/09/01	デルフイニウム ベラドンナ系	ベラドンナ フォルカーフリーデン	濃ブルー	秀	岩手県		100	100	100	本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/09/02	カーネーション スプレー	バーバラ ライトピンクパーバラ	淡ピンク	秀	北海道		100	100	100	本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/09/02	キク 大輪	精露	白	秀	北海道		100	100	90	本	100	100		
<input type="checkbox"/>	97/10/10	シュコンアスター 孔雀アスター	ブラスベリー	白	秀	宮崎県		10	5	4	本	100	100	10	3
<input type="checkbox"/>	97/10/10	スターチス ハイブリッド	ミスティー ブルー	紫	秀	北海道		100	100	95	本	100	99	10	1
<input type="checkbox"/>	97/10/10	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	岩手県		100	100	100	本	100	100	10	2
<input type="checkbox"/>	97/10/31	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	岩手県		100	100	100	本	100	100	10	2
<input type="checkbox"/>	97/10/31	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	岩手県		100	100	100	本	200	100	10	2
<input type="checkbox"/>	97/12/01	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	30	25	本	85	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	30	25	本	90	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	スターチス	シニユアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀2L	和歌山県		100	10	8	本	65,120	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	スターチス	シニユアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀2L	北海道		100	85	85	本	70	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	デルフイニウム ベラドンナ系	ベラドンナ フォルカーフリーゲン	濃ブルー	秀2L	北海道		50	10	10	本	150	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/02	ヒマワリ	サンリッチ レモン	茶定	秀	岩手県		50	10	10	本	50	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/03	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	50	10	本	95	80		
<input type="checkbox"/>	97/12/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	100	100	本	100	80		

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



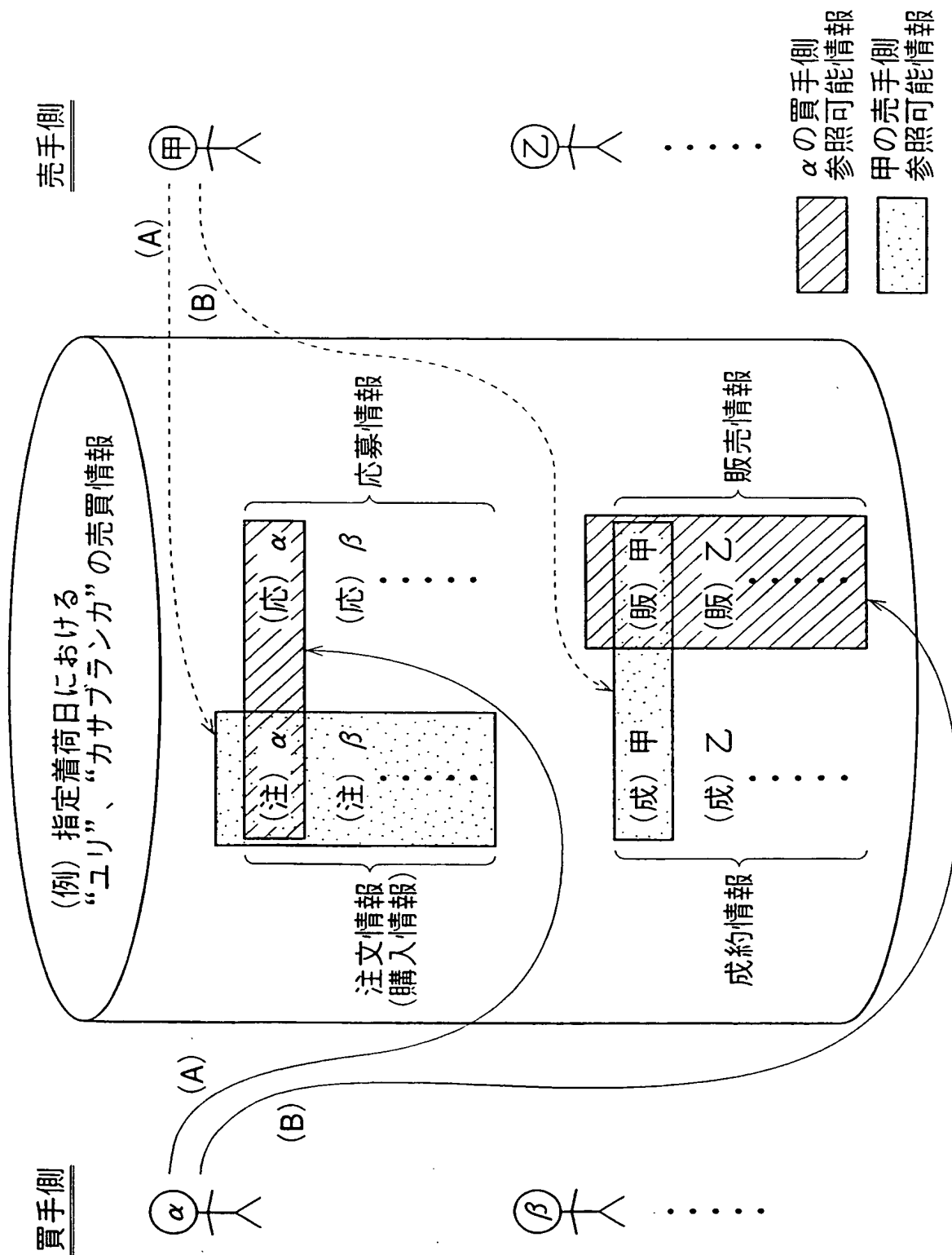
第43図

出荷／応札情報一覧

3件授受しました。1-3を表示しています。残合計本数：36,000本									
<input checked="" type="checkbox"/>	選	発荷日	品目	品種	色	等級	売り手	産地	生産者名
<input type="checkbox"/>	97/12/01	バラ	スタンダード	ローテローゼ (=アサミレッド)	赤	秀2L		静岡県	
<input type="checkbox"/>	97/12/15	カーネーション	スプレーカサブランカ		赤	秀4L		愛知県	
<input type="checkbox"/>	97/12/15	キク	大輪菊	秋の友	白	秀		福岡県	
		入数	箱数	残箱数	単位	希望 ¥	cm		
		60	20	20	本	150	70		
		100	500	300	本	80	100		
		100	100	500	本	150	100		

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第44図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

# 第45図

買手側取引画面

210

新規・変更 << < > >> 削除

221

出荷/応札情報一覧

1件検索しました。1-1を表示しています。残合計本数：250本

選	欄荷日	品目	品種	色	等級	売り手	産地	生産者名	人数	箱数	残箱数	単位	希望 ¥	cm	g	輪付	切前	出荷番号	備考
<input type="checkbox"/>	97/12/13	ユリオリエントアル	カサブランカ	白	秀3L	上野1課	埼玉県		10	30	25	本	700	120		6		0000002923	基固め

注文情報一覧

0件検索しました。0-0を表示しています。合計本数：0本 未選定合計本数：0本 合計金額：0円

選	欄荷日	品目	品種	色	等級	産地	総本数	未選定	単位	希望 ¥	円算	cm	g	輪付	切前	締切日	注文番号	備考
---	-----	----	----	---	----	----	-----	-----	----	------	----	----	---	----	----	-----	------	----

222

登録日

品目

A取引 円算

登録日

品種

B取引 生産者

産地

色

C取引 生産者

注文・円算・出荷・販売番号

生産者等級

C取引 生産者

規格

検索

条件取消し

230

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

# 第46図

## 売手側取引画面

221

出荷情報一覧

2件検索しました。1-2を表示しています。合計本数：3,000本 合計金額：650,000円 残合計本数：2,750本 残合計金額：585,000円

出	発荷日	品目	品種	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	残箱数	単位	希望¥	cm	g	輪付	切前	出荷番号	備考
<input type="checkbox"/>	97/12/13	バラスタンダード	ノブレス	淡ピンク	秀3L	埼玉県		50	50	48	本	200	70				0000002944	
<input type="checkbox"/>	97/12/13	バラスタンダード	ノブレス	淡ピンク	80C	山形県		50	10	7	本	300	80				0000002947	

222

注文/応募情報一覧

1件検索しました。1-1を表示しています。買い手 合計本数：2,000本 未選定合計本数：2,000本 未選定応募合計金額：260,000円 売り手 合計金額：240,000円

出	発荷日	品目	生産者名	品種	色	等級	産地	総本数	入数	箱数	単位	希望¥	応募¥	cm	g	輪付	切前	注文番号	応募番号	備考
<input type="checkbox"/>	97/12/13	バラスタンダード		ノブレス	淡ピンク	秀2L	埼玉県	2,000	2,000	120	本	120	1					0000003423		
<input type="checkbox"/>	97/12/13			ノブレス	淡ピンク	秀2L	埼玉県	50	40	130	本	70						0000009004		

223

条件取消し

検索

注文・応募・出荷・販売番号

生産者等級

規格

登録日

産地

色

品種

A取引 応募

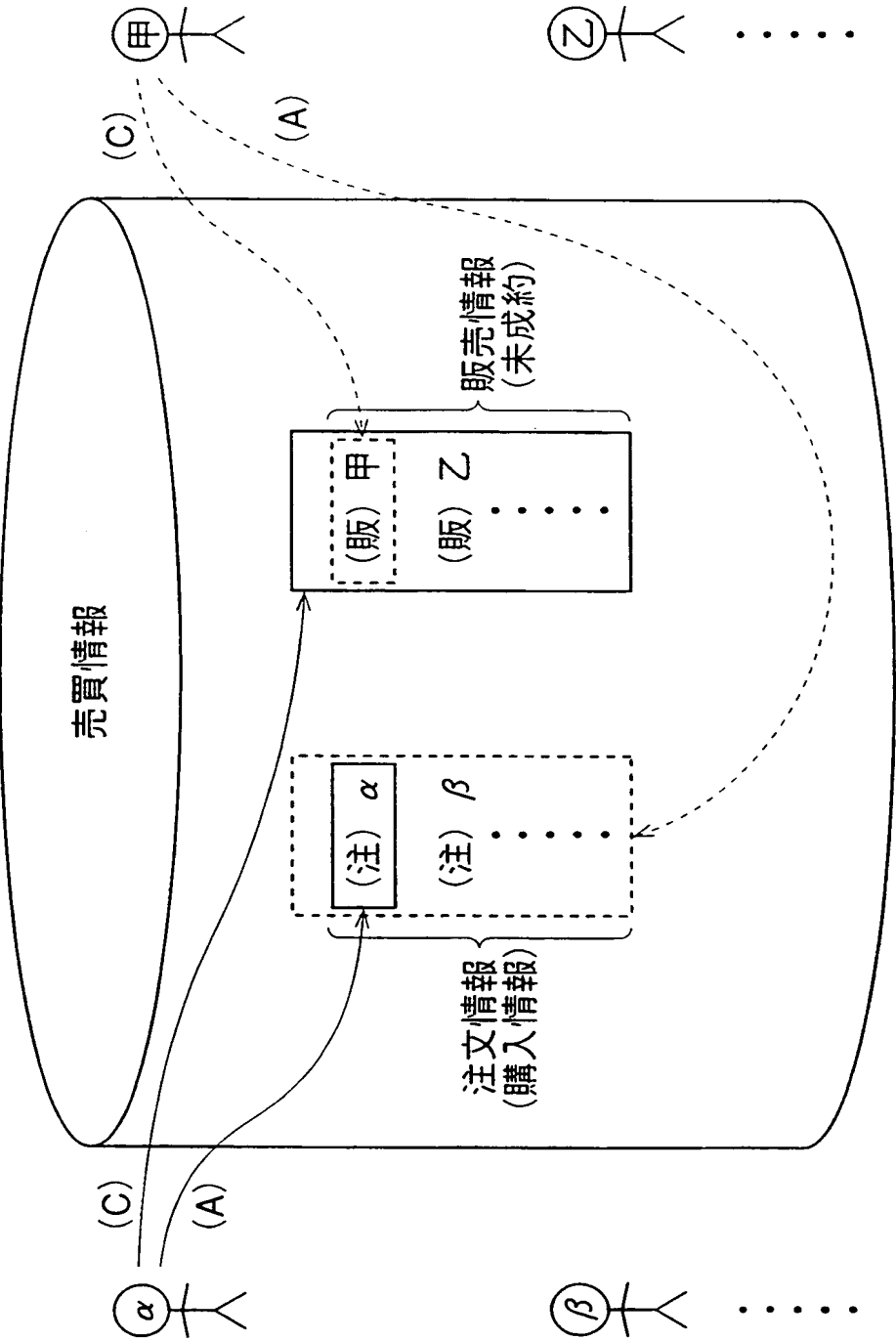
B取引 生産者

C取引 生産者

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第47図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

# 第48図

## 買手側取引画面

210

新規・変更 << < > >> 削除

221

販売情報一覧

11件検索しました。合計販売本数: 1,000本 合計購入本数: 0本(0本) 合計購入金額: 0円

選	品目	品種	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	総本数	単位	希望 ¥	件数	cm	g	輪付	切前	販売番号	備考
<input type="checkbox"/>	キク小菊	コギク (アカ)	赤	(無し)	上野1標	山形県	100	10	1,000	本	100	0	100	0	100		0000004603	

222

注文情報一覧

0件検索しました。0-0を表示しています。合計本数: 0本 未選定合計本数: 0本 合計金額: 0円

選	発荷日	品目	品種	色	等級	産地	未選定	単位	希望 ¥	応募	cm	g	輪付	切前	W等級	格切日	注文番号	備考
---	-----	----	----	---	----	----	-----	----	------	----	----	---	----	----	-----	-----	------	----

230

検索 条件取消し

222

発荷日

品目

A取引 応募

登録日

品種

B取引 生産者

産地

色

C取引 生産者

注文・応募・出荷・販売番号

生産者等級

規格

230

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第49図

売手側取引画面

新規変更
◀
<
>
▶
削除

210

販売情報一覧

2件検索しました。1-2を表示しています。合計本数：400本 合計金額：24,000円

選	発荷日	品目	品種	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	総本数	単位	希望¥	下限¥	cm	g	輪付	切前	写	販売番号	備考
<input type="checkbox"/>	97/08/04	アルプス	白	1級	愛知県			100	2	200		60	60	90				◎	0000004333	
<input type="checkbox"/>	97/08/04	アルプス	白	1級	愛知県			100	2	200		60	60	90				◎	0000004361	

221

注文/応募情報一覧

1件検索しました。1-1を表示しています。買い手 合計本数：2,000本 未選定合計本数：2,000本 未選定応募合計金額：260,000円

選	発荷日	品目	生産者名	品種	色	等級	産地	総本数	入数	箱数	単位	希望¥	応募¥	cm	g	輪付	切前	注文番号	備考
<input type="checkbox"/>	97/12/13	ノブレス	淡ピンク	秀2L	埼玉県			2,000	2,000	1	本	120						0000003423	
<input type="checkbox"/>	97/12/13	ノブレス	淡ピンク	秀2L	埼玉県			50	40	130	本	70						0000009004	

222

登録日
産地

品目
品種

A取引
応募

注文・応募・出荷・販売番号

生産者等級
規格

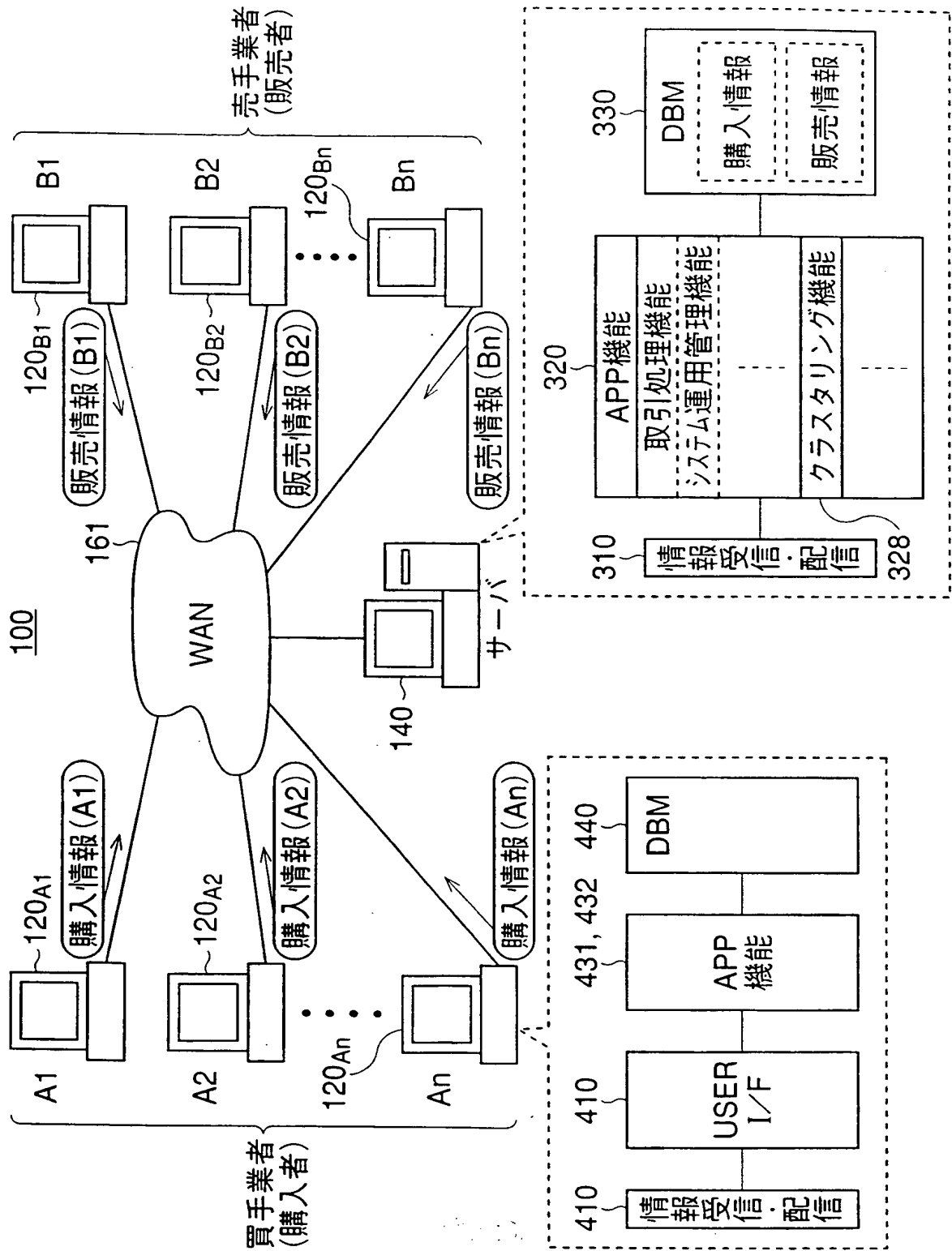
C取引
生産者

検索
条件取消し

230

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第50図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第51図

《購入情報》										
	品目	品種	色	等級級	産地	購入本数	購入希望価格			
購入情報(A1)	ヒマワリ	／	オレンジ	／	／	1000本	110円			
購入情報(A2)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	12000本	85円			
購入情報(A3)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	5000本	130円			
購入情報(A4)	スターチス	シュニユアータ	紫	秀	北海道	8000本	90円			
購入情報(A5)	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	岩手県	12000本	140円			
購入情報(A6)	スターチス	シュニユアータ	紫	秀	北海道	7000本	100円			
購入情報(A7)	キク 大輪	／	白	／	／	10000本	100円			
購入情報(A8)	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	愛知県	15000本	80円			
購入情報(A9)	ヒマワリ	／	オレンジ	／	／	10000本	120円			
・										
・										
・										

(クラスタa)  
キク大輪・白  
購入情報(A2)  
購入情報(A3)  
購入情報(A7)  
・

(クラスタb)  
ヒマワリ・オレンジ  
購入情報(A1)  
購入情報(A5)  
購入情報(A8)  
購入情報(A9)  
・

(クラスタc)  
スターチス・紫  
購入情報(A4)  
購入情報(A6)  
・

・  
・  
・

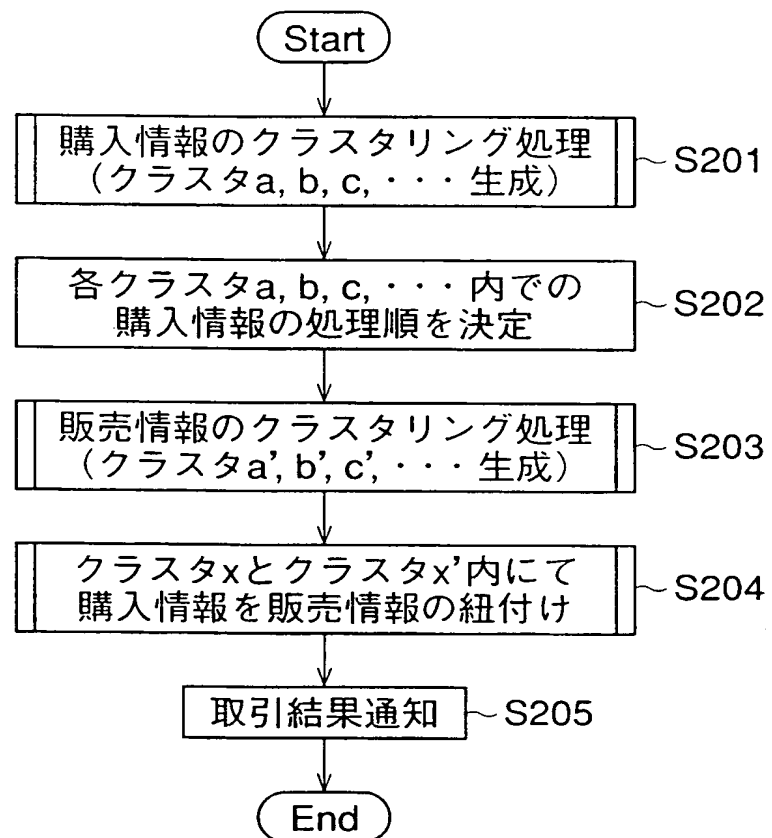
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第52図

〈販売情報〉									(クラスタa')		
	品目	品種	色	等級	産地	販売本数	販売希望価格	最低販売価格	(クラスタb')		
販売情報 (B1)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	10000本	100円	80円	キク大輪・白		
販売情報 (B2)	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	岩手県	8000本	100円	90円	販売情報 (B1)		
販売情報 (B3)	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	岩手県	11000本	130円	100円	販売情報 (B5)		
販売情報 (B4)	スターチス	シュニユアータ	紫	秀	北海道	7000本	110円	80円	販売情報 (B6)		
販売情報 (B5)	キク 大輪	精雲	白	秀	愛知県	10000本	120円	90円	販売情報 (B9)		
販売情報 (B6)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	3000本	90円	80円	:		
販売情報 (B7)	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	愛知県	5000本	130円	110円	(クラスタb')		
販売情報 (B8)	スターチス	シュニユアータ	紫	秀	和歌山県	7000本	100円	80円	ヒマワリ・オレンジ		
販売情報 (B9)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	4000本	140円	85円	販売情報 (B2)		
...									販売情報 (B3)		
...									販売情報 (B7)		
...									:		
...									(クラスタc')		
									スターチス・紫		
									販売情報 (B4)		
									販売情報 (B8)		
									:		
									...		

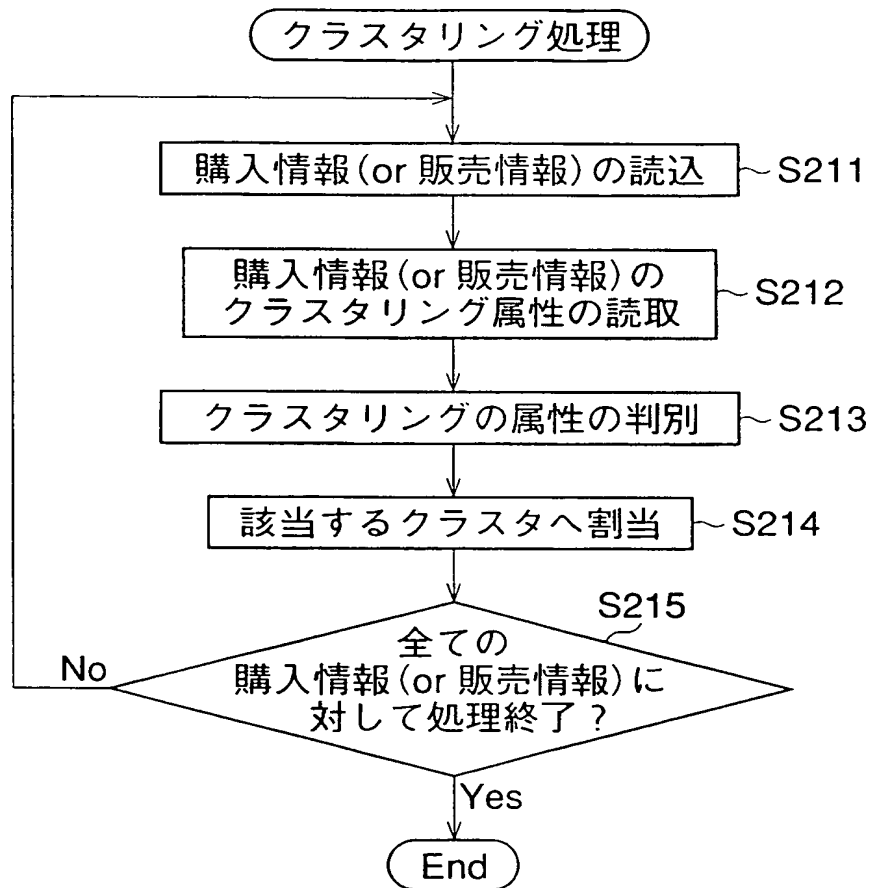
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第53図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第54図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第55図

《クラスタa'(キク大輪・白)》

	品目	品種	色	等階級	産地	販売本数	販売希望価格	最低販売価格
販売情報(B1)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	10000本	100円	80円
販売情報(B5)	キク 大輪	精雲	白	秀	愛知県	10000本	120円	90円
販売情報(B6)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	3000本	90円	80円
販売情報(B9)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	4000本	140円	85円

(b)

1000本

4000本

《クラスタa(キク大輪・白)》

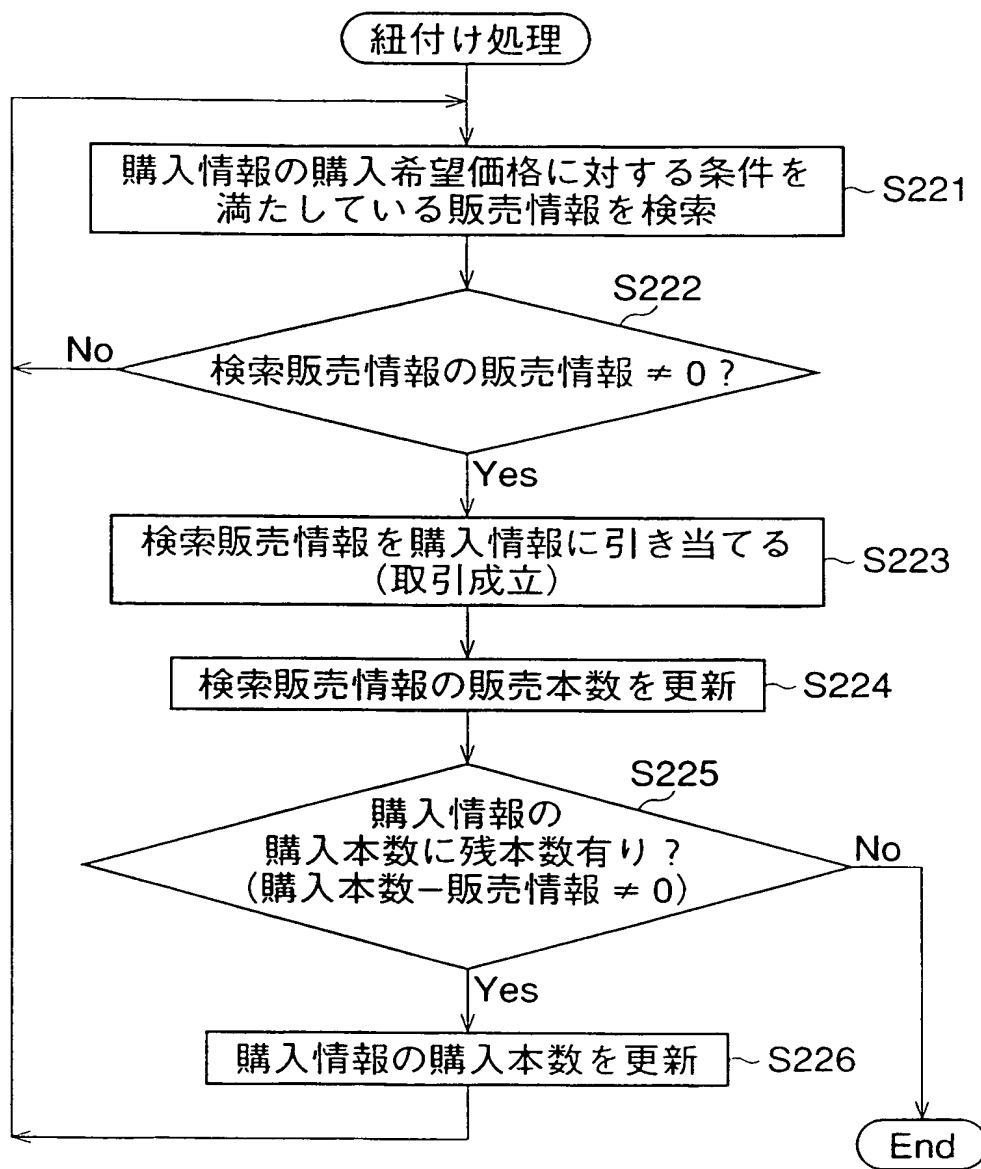
	品目	品種	色	等階級	産地	購入本数	購入希望価格
購入情報(A3)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	5000本	130円
購入情報(A2)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	12000本	85円
購入情報(A7)	キク 大輪		白			10000本	100円

処理順

(a)

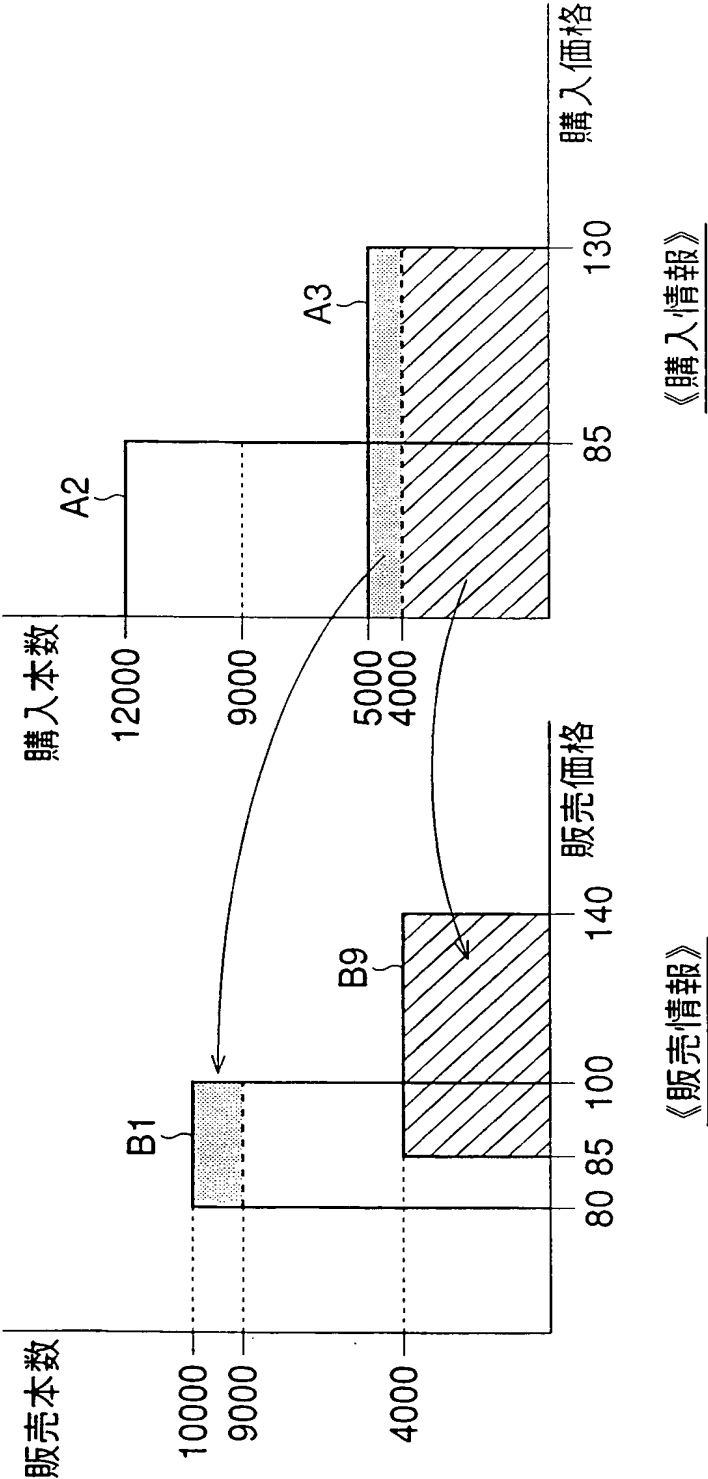
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第56図



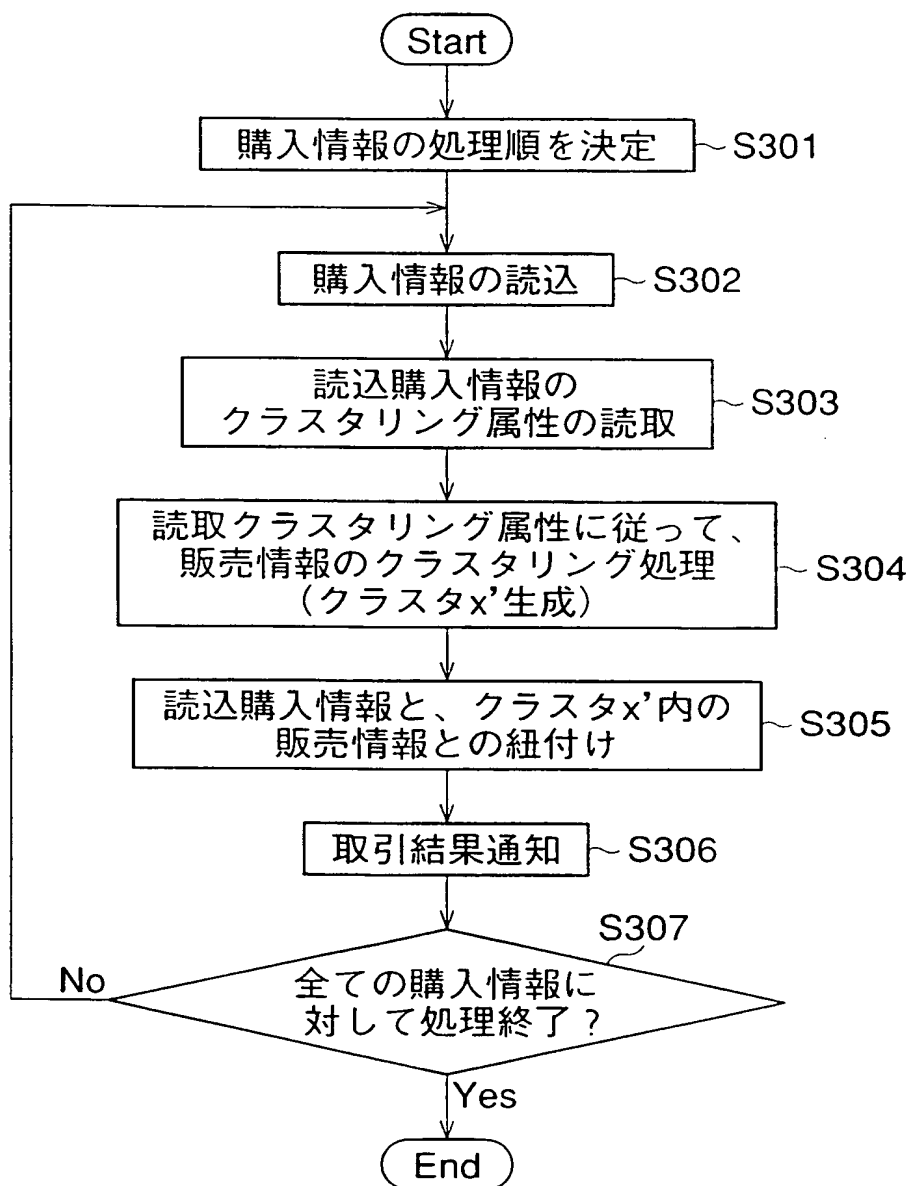
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第57図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第58図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



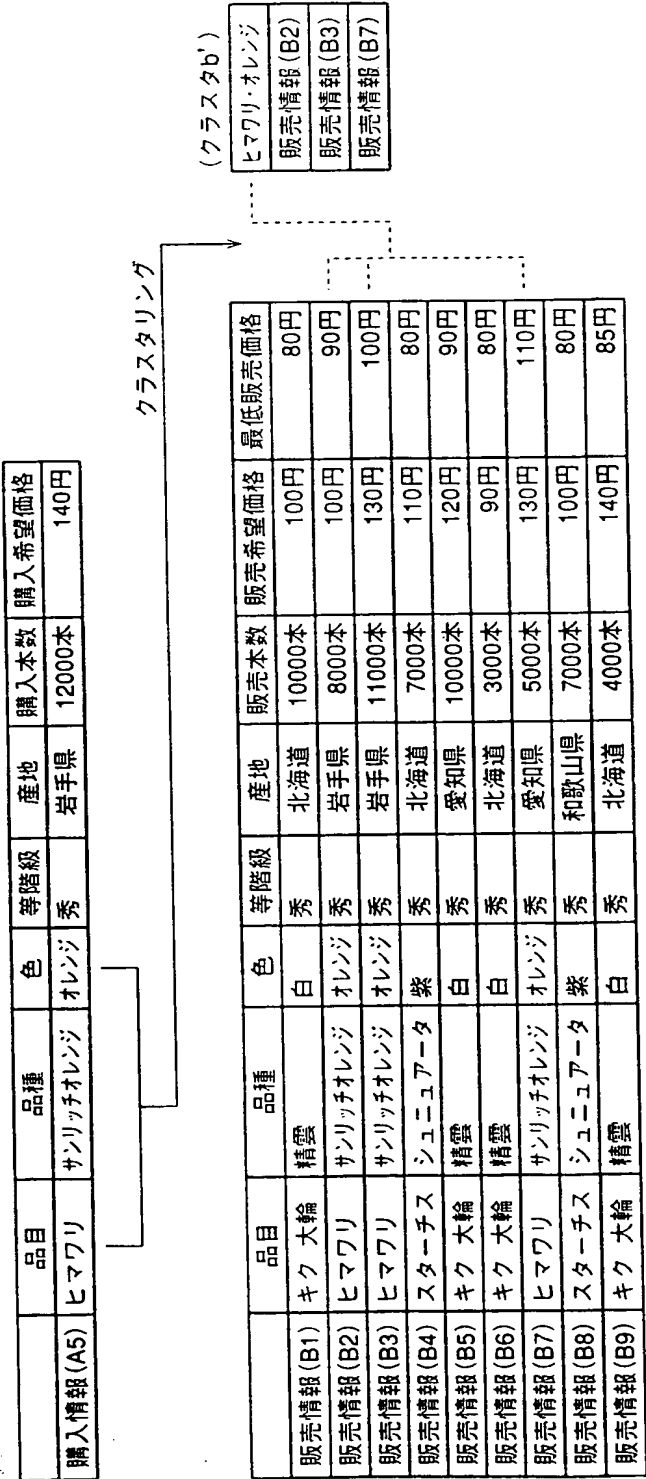
## 第59図

	品目	品種	色	等階級	産地	購入本数	購入希望価格
購入情報(A5)	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	岩手県	12000本	140円
購入情報(A3)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	5000本	130円
購入情報(A6)	スターチス	シュニユアータ	紫	秀	北海道	7000本	100円
購入情報(A4)	スターチス	シュニユアータ	紫	秀	北海道	8000本	90円
購入情報(A6)	スターチス	シュニユアータ	紫	秀	北海道	7000本	100円
購入情報(A2)	キク 大輪	精雲	白	秀	北海道	12000本	85円
購入情報(A8)	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	愛知県	15000本	80円
購入情報(A9)	ヒマワリ		オレンジ			10000本	120円
購入情報(A1)	ヒマワリ		オレンジ			1000本	110円
購入情報(A7)	キク 大輪		白			10000本	100円

処理順

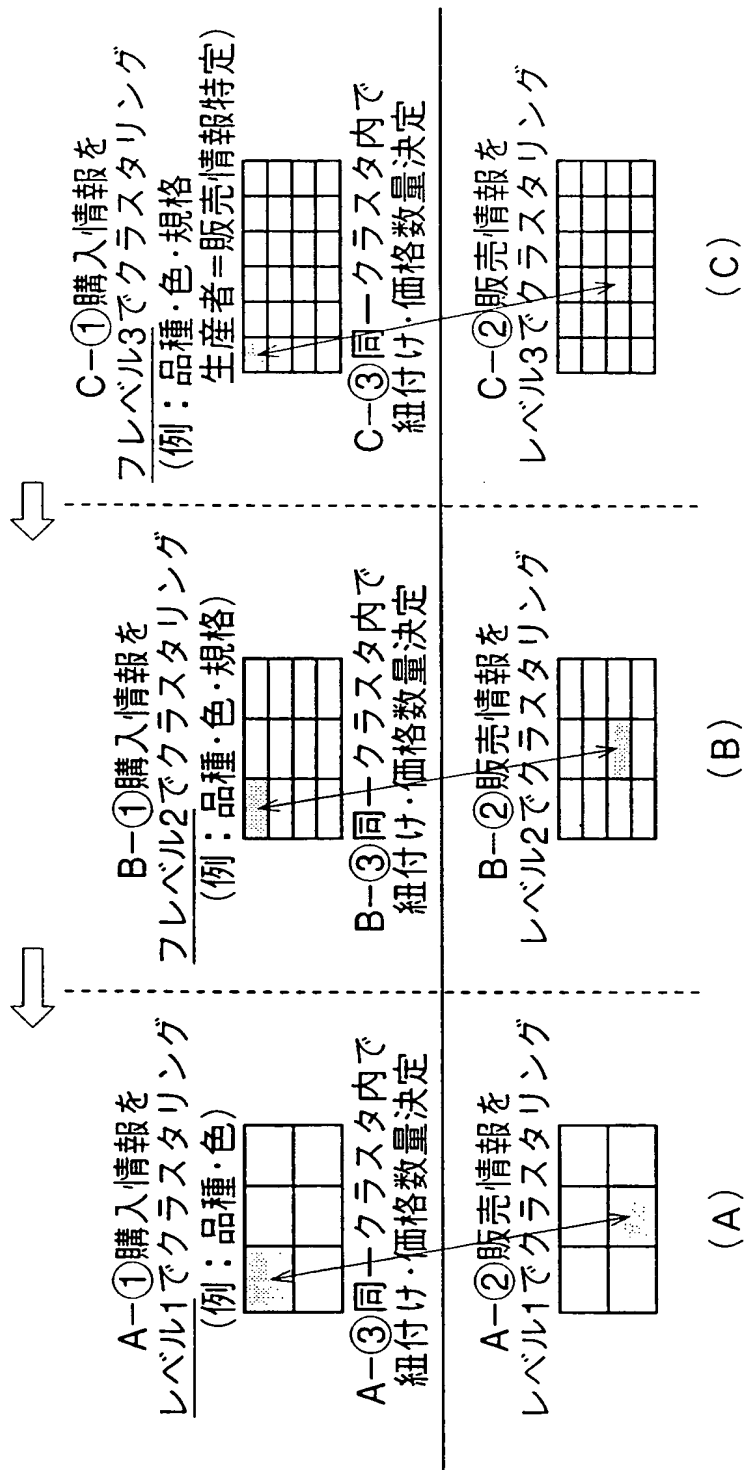
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第60図



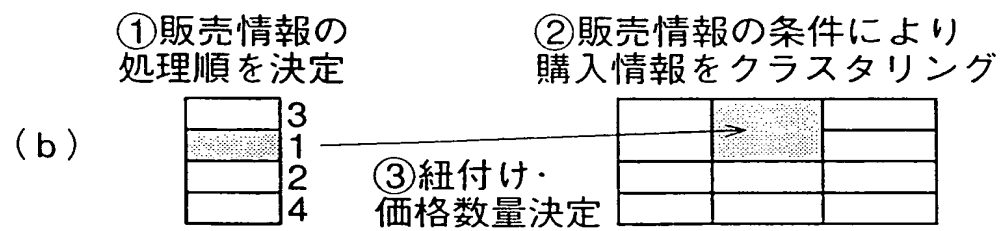
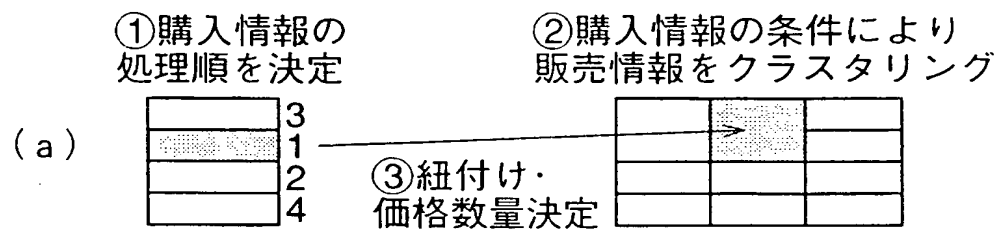
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第61図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

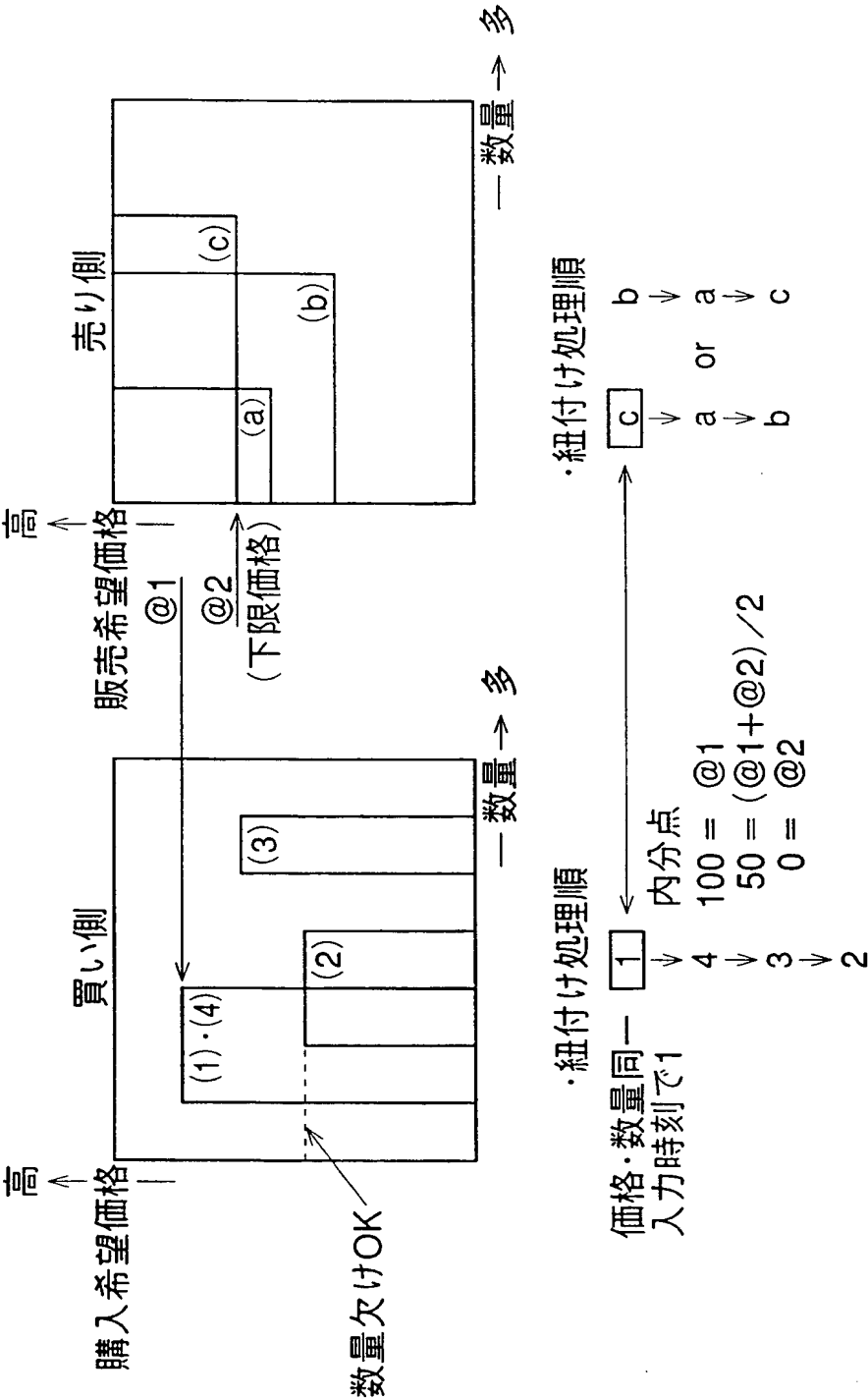
## 第62図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



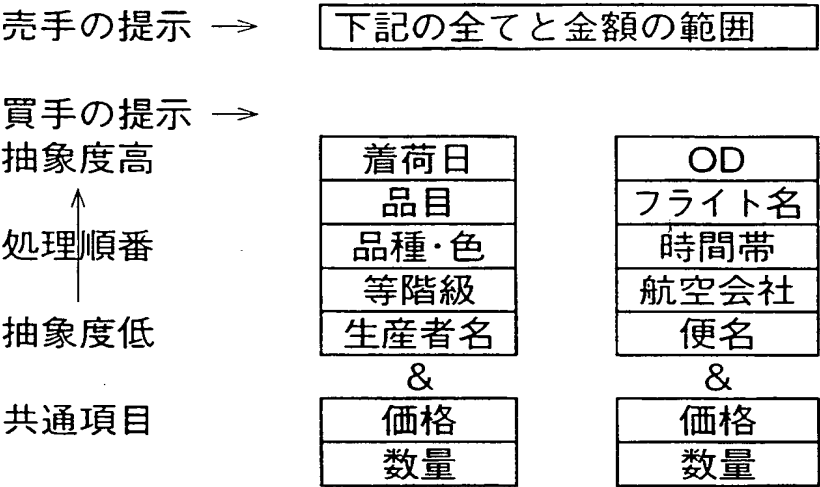
第63図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第64図

●花の例      ●航空券の例



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第65図

仲介者がクラスタ用意(特定OD)-

■ 買い情報 (羽熊間)

クラスタレベル1	買い手1端末		買い手2端末		買い手3端末	
	フライト日	29・30日	フライト日	29・30日	フライト日	30日
	午前午後	終日	午前午後	午前	午前午後	午後
	航空会社		航空会社	AN	航空会社	JA
クラスタレベル2	便名		便名		便名	
クラスタレベル3	12月29日	AN641	12月29日	AN641	12月30日	JA191
クラスタレベル4	12月29日	AN645	12月29日	AN645	12月30日	JA193
	12月29日	AN649	12月30日	AN641		
	12月30日	AN641	12月30日	AN645		
	12月30日	AN645				
買い条件	12月30日	AN649	価格		数量(席)	
	12月30日	JA191				
	12月30日	JA193				
	12月30日	JA195				
		20000円		24000円		
		2席		1席		

処理順

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第66図

買いがクラスタ生成

		買手1	買手2	買手3	買手4
フライト日		29・30日	30日	30日	30日
フライト時刻			10～15時	午前中	
航空会社		JA		JAかAN	JA193
価格		18000円	20000円	24000円	24000円
席数		10	20	4	2
12月29日	AN641	19800円200席			
12月29日	AN645	24800円150席			
12月29日	AN649	24800円100席			
12月30日	AN641	19800円200席			
12月30日	AN645	24800円150席			
12月30日	AN649	24800円100席			
12月30日	JA191	19800円150席			
12月30日	JA193	24800円100席			
12月30日	JA195	24800円100席			

↑処理順 I

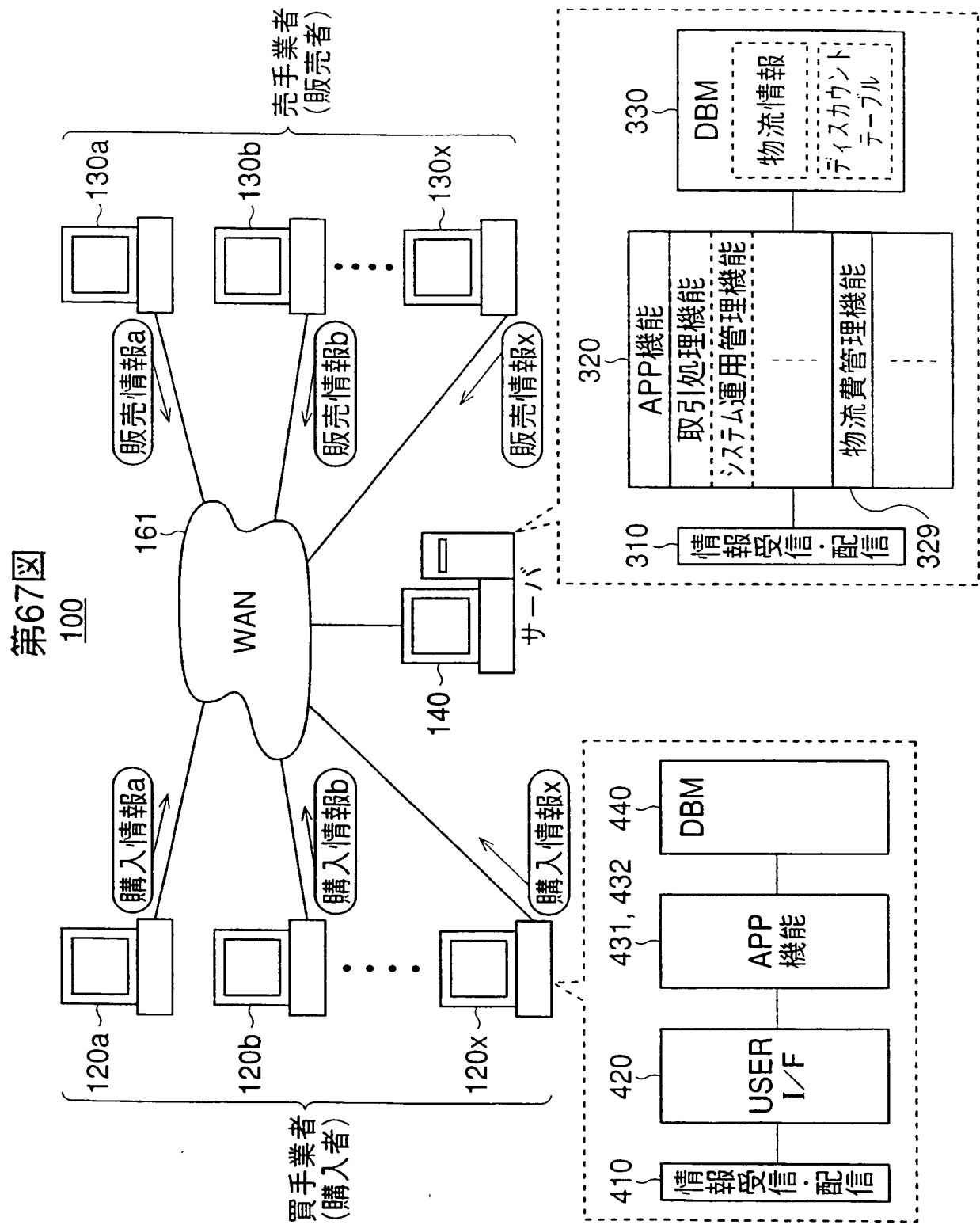
(販売情報から処理)

処理順 II (購入情報から処理)

- ④
- ③
- ②
- ①

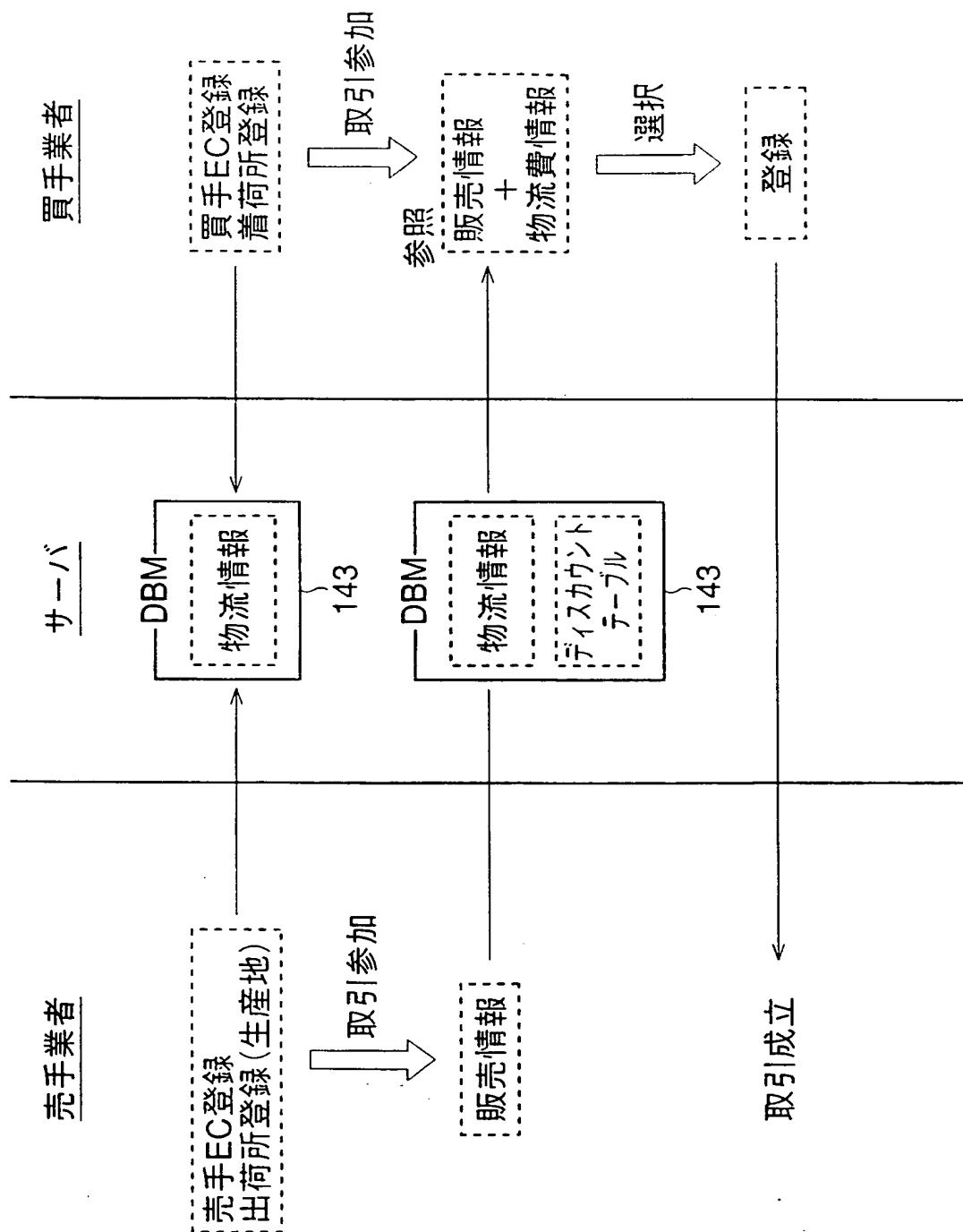
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**





**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第68図



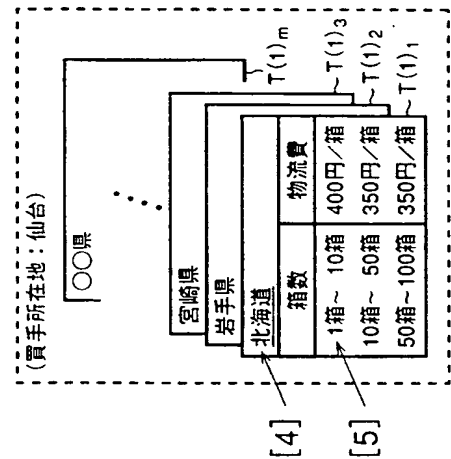
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第69図

[3]

	出荷日	品目	品種	色	等級級	産地	生産者名	入数	箱数	残箱数	単位	希望¥	cm	g	輪付
販売情報a	97/09/01	スターチス	シニユアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道	〇〇〇〇	100	100	100	本	100	99		
販売情報b	97/09/01	スターチス	シニユアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	宮崎県	〇〇〇〇	100	100	100	本	110	99		
販売情報c	97/10/10	キク 大輪	精雲	白	秀2L	北海道	〇〇〇〇	10	5	4	本	200	100		
販売情報d	97/09/02	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	岩手県	〇〇〇〇	100	100	95	本	100	100		2
販売情報e	97/09/01	スターチス	シニユアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	愛知県	〇〇〇〇	100	100	100	本	100	100		1
販売情報f	97/09/02	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	オレンジ	秀	宮崎県	〇〇〇〇	100	100	100	本	130	100		2

販売情報



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第70圖

販売情報画面

[11]

[10]

## 出荷情報一覽

8件検索しました。1-18を表示しています。

8件検察しました。1-18を表示しています。  
 合計本数: 121,550本 合計金額: 77,820,000円 残合計本数: 177,840本 残合計本数: 64,402,500円

[illegible][illegible]

- 販売情報 -

- 販売情報 -

69/74

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第71図

北海道	
箱数	物流費
1箱～10箱	400円/箱
10箱～50箱	350円/箱
50箱～100箱	350円/箱

← [8]

(a)

宮崎県	
箱数	物流費
1箱～10箱	500円/箱
10箱～50箱	200円/箱
50箱～100箱	100円/箱

← [9]

(b)

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第72図

登録画面

[13] 合計金額  円

物流費

[14]

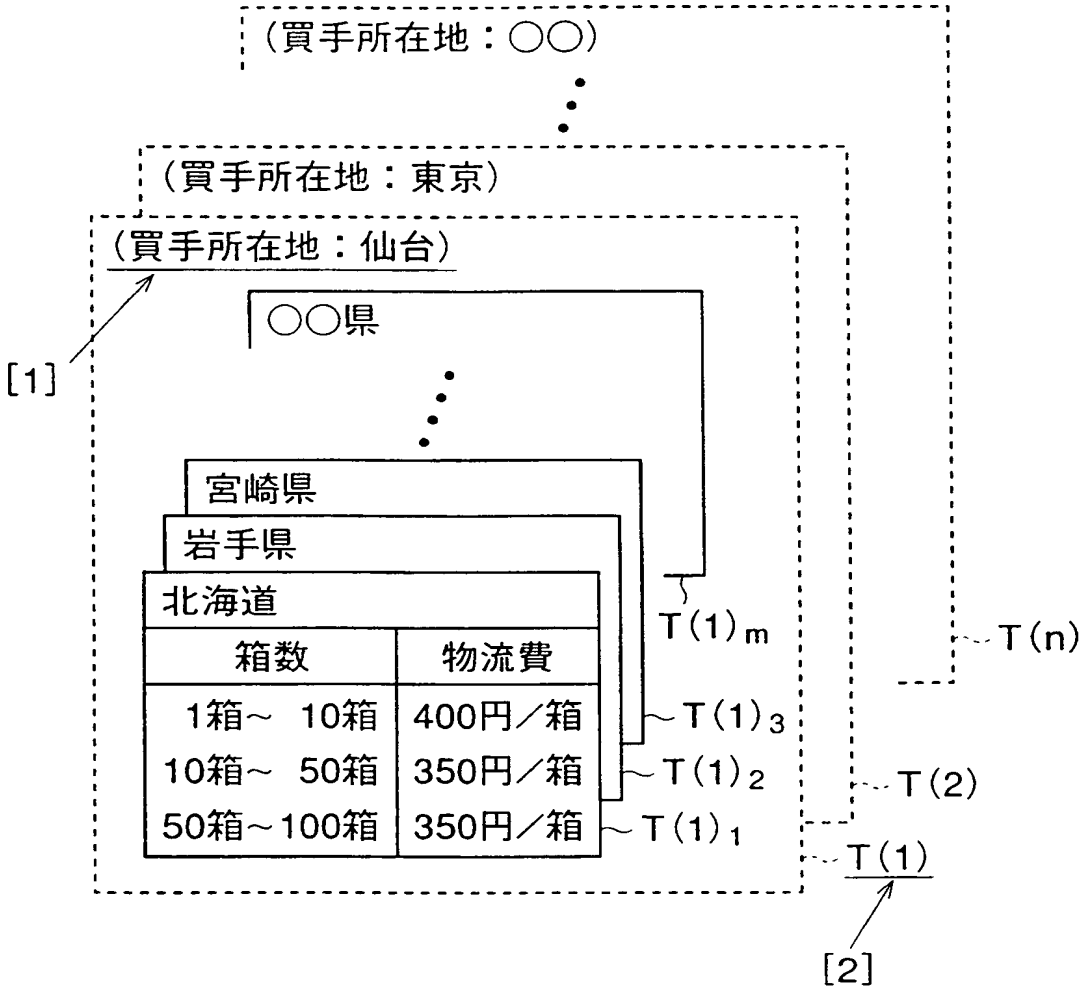
着荷日	品目	品目	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	残箱数	単位	希望¥	cm	g	輪付
97/09/01	スターチス	シニユアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	宮崎県	〇〇〇〇	100	100	100	本	120	99		

希望購入箱数  箱 ← [12]

希望購入箱数以下でも購入? Yes ☒ ← [15] No ☐

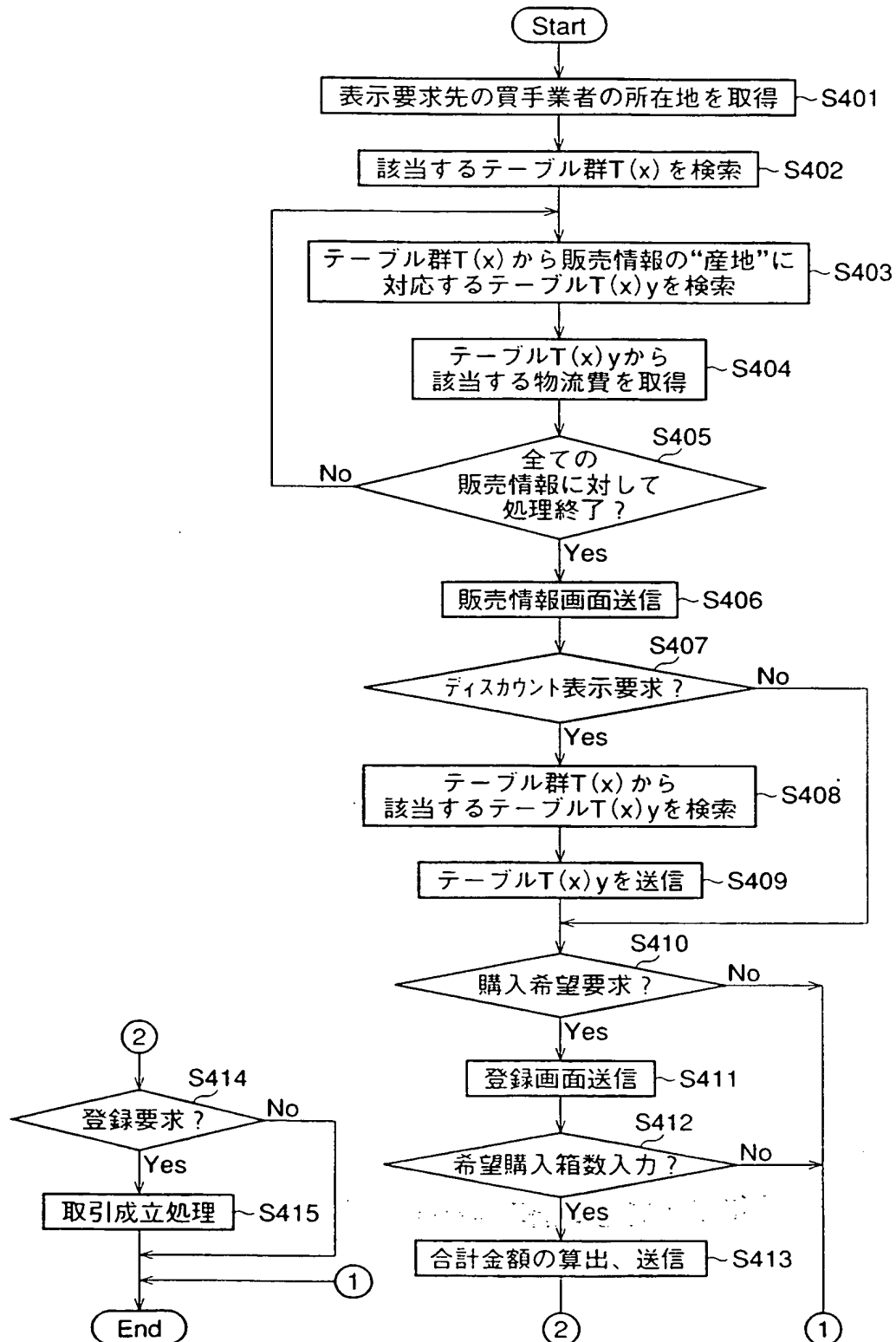
**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

第73図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 第74図



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



第75図

50箱～100箱						
10箱～50箱						
1箱～10箱						
買手側		北海道	仙 台	岩手県		宮崎県
売手側		北海道	仙 台	岩手県		
		北海道	100円／箱	150円／箱	180円／箱	400円／箱
		仙 台	150円／箱	100円／箱	130円／箱	350円／箱
		岩手県	180円／箱	130円／箱	100円／箱	330円／箱

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP98/05522

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>6</sup> G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>6</sup> G06F17/60

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-1999  
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-1999 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-1999

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

WPI (DIALOG)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP, 5-314139, A (Reuters Ltd.), 26 November, 1993 (26. 11. 93), Full text ; Figs. 1 to 36	1-8
X	Full text ; Figs. 1 to 36	13-31
Y	Full text ; Figs. 1 to 36 (Family: none)	32-45
	EP, 0434224, A2 (REUTERS LIMITED), 26 June, 1991 (26. 06. 91), Full text ; Figs. 1 to 36	1-8
X	Full text ; Figs. 1 to 36	13-31
Y	Full text ; Figs. 1 to 36 (Family: none)	32-45
X	JP, 6-251022, A (Fujitsu Ltd.), 9 September, 1994 (09. 09. 94), Par. Nos. [0001] to [0013] ; Figs. 1 to 17 (Family: none)	9-12
Y	JP, 4-184678, A (Ricoh Co., Ltd.), 1 July, 1992 (01. 07. 92), Full text ; Figs. 1 to 9 (Family: none)	32-38

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search  
22 January, 1999 (22. 01. 99)

Date of mailing of the international search report  
2 February, 1999 (02. 02. 99)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP98/05522

## C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP, 9-62738, A (Kawasaki Steel Corp.), 7 March, 1997 (07. 03. 97), Par. Nos. [0001] to [0013] ; Figs. 1 to 17 (Family: none)	39-45
P, Y	JP, 10-320494, A (Toshiba Corp.), 4 December, 1998 (04. 12. 98), Full text ; Figs. 1 to 62	1-4
P, X	Full text ; Figs. 1 to 62	5-8
P, X	Full text ; Figs. 1 to 62	32-38
P, X	Full text ; particularly Par. No. [0096] ; Figs. 1 to 62 (Family: none)	39-45
P, Y	JP, 10-320481, A (K.K. Supureddo Iguru), 4 December, 1998 (04. 12. 98), Full text ; Figs. 1 to 7 (Family: none)	1-4

## 国際調査報告

国際出願番号 PCT/J P 98/05522

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>8</sup> G 06 F 17/60

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>8</sup> G 06 F 17/60

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922年-1996年  
 日本国公開実用新案公報 1971年-1999年  
 日本国登録実用新案公報 1994年-1999年  
 日本国実用新案登録公報 1996年-1999年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

WPI (DIALOG)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X X Y	J P, 5-314139, A (ロイターズ リミテッド) 26. 11月. 1993 (26. 11. 93) 全文, 第1図-第36図 全文, 第1図-第36図 全文, 第1図-第36図 (ファミリーなし)	1-8 13-31 32-45

☒ C欄の続きにも文献が列举されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&amp;」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

22. 01. 99

国際調査報告の発送日

02.02.99

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

相田 義明

5 L

9844

電話番号 03-3581-1101 内線 3562

C (続き) . 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X X Y	EP, 0434224, A2 (REUTERS LIMITED) 26. 6月. 1991 (26. 06. 91) 全文, 第1図-第36図 全文, 第1図-第36図 全文, 第1図-第36図 (ファミリーなし)	1-8 13-31 32-45
X	JP, 6-251022, A (富士通株式会社) 09. 9月. 1994 (09. 09. 94) 段落番号【0001】-【0013】, 第1図-第17図 (ファミリーなし)	9-12
Y	JP, 4-184678, A (株式会社リコー) 01. 7月. 1992 (01. 07. 92) 全文, 第1図-第9図 (ファミリーなし)	32-38
Y	JP, 9-62738, A (川崎製鉄株式会社) 07. 3月. 1997 (07. 03. 97) 段落番号【0001】-【0013】, 第1図-第17図 (ファミリーなし)	39-45
P, Y P, X P, X P, X	JP, 10-320494, A (株式会社東芝) 04. 12月. 1998 (04. 12. 98) 全文, 第1図-第62図 全文, 第1図-第62図 全文, 第1図-第62図 全文, 特に段落番号【0096】, 第1図-第62図 (ファミリーなし)	1-4 5-8 32-38 39-45
P, Y	JP, 10-320481, A (株式会社スプレッドイーグル) 04. 12月. 1998 (04. 12. 98) 全文, 第1図-第7図 (ファミリーなし)	1-4